



MIE

UNIVERSITY

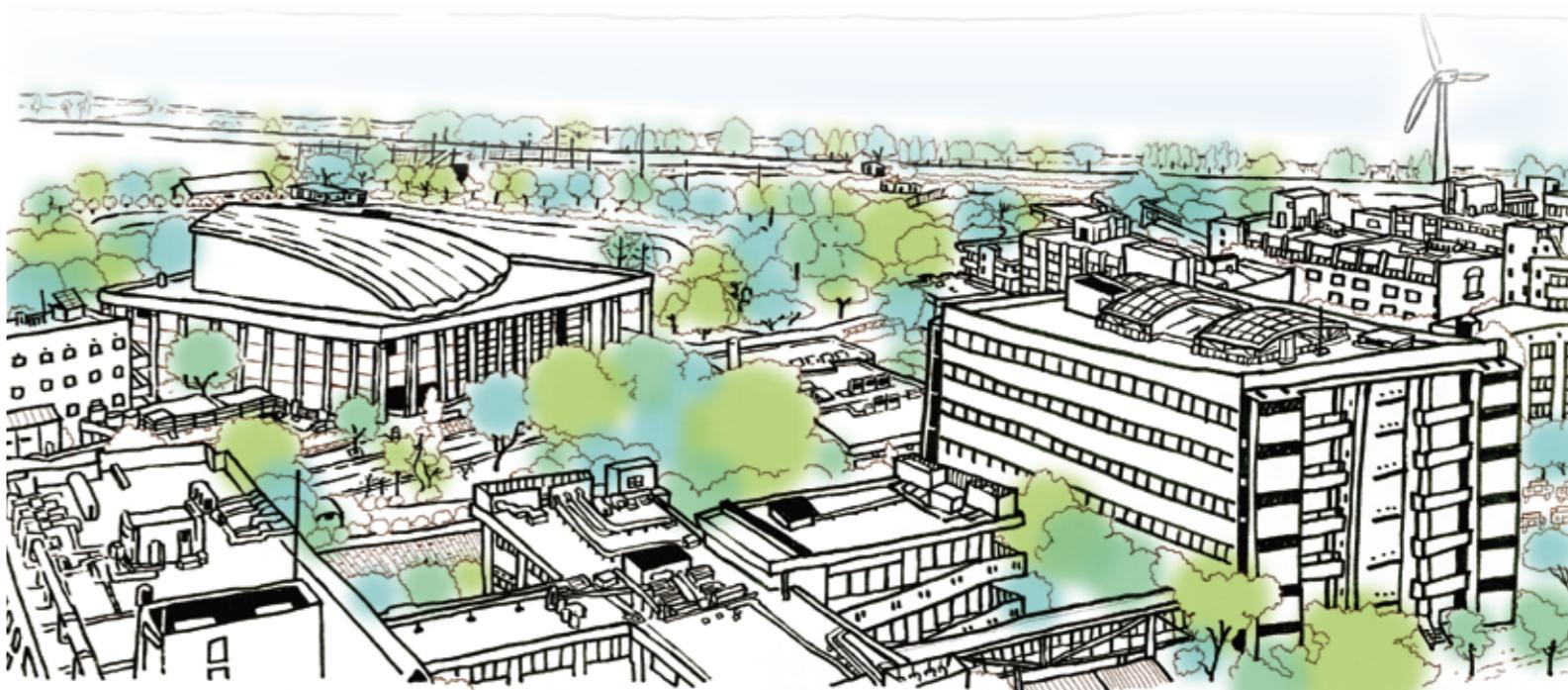
三重大学

MIE UNIVERSITY GUIDE BOOK 2025

大学案内



入学試験に関するお問い合わせ

国立大学法人 三重大学 学務部入試チーム
〒514-8507 津市栗真町屋町1577TEL(059)231-9063 URL:<https://www.mie-u.ac.jp/exam/>

三重から世界へ 世界から三重へ 未来を拓く地域共創大学

未来を拓く地域共創大学
地域に根ざし、世界に誇れる教育・研究に取り組み、人と自然の調和・共生の中で、
社会との共創に向けて切磋琢磨する。



CONTENTS

2 学長メッセージ	17 学部・学科INDEX	27 医学部	47 大学院地域イノベーション学研究科	65 三重大学の学生支援システム	83 入試情報
3 三重大学×SDGs	19 人文学部	28 医学科	49 キャンパスライフ	66 支援方針	85 三重大学へのアクセス
5 三重大学の“今”を学べる キーワード	20 文化学科	29 看護学科	51 キャンパスマップ	67 生活サポート	86 インターネット出願のご案内
11 三重大学の概要	21 法律経済学科	31 工学部	53 空から見た三重大学	68 学費・奨学金	86 入学者選抜要項・学部案内の入手方法
13 三重大学の教育	23 教育学部	32 総合工学科	55 学生による学生支援活動	69 国際交流	
	24 学校教育教員養成課程	41 生物資源学部	56 課外活動	71 就職情報	
		42 生物資源学科	59 三重大生の一日	79 大学施設	

M E S S A G E

学長メッセージ

三重大学は“三重から世界へ　世界から三重へ　未来を拓く地域共創大学”の言葉のもと、昭和24年の建学以来、地域に根ざし、世界に誇れる教育・研究に取り組み、人と自然の調和・共生の中で、社会との共創に向けて切磋琢磨することを基本理念としています。「樹(松)のみどり」、「海のみどり」、「空のみどり」という《三翠》の自然豊かな広いキャンパスに、人文学部、教育学部、医学部、工学部、生物資源学部に地域イノベーション学研究科を加えた5つの学部、6つの研究科と大学病院が集まって、教育、研究、診療活動を行っている総合大学です。また、附属学校園、農場、演習林、水産実験所、練習船勢水丸などの附属施設も充実しています。

教育では、社会の課題を発見し(感じる力)、情報収集してその解決法を考え(考える力)、コミュニケーションを駆使して(コミュニケーション力)、その課題を解決する(行動する力)という4つの力により《生きる力》を持った人材の育成を進めています。日本の産業の縮図とも言われる三重県において、地域課題の現状やその解決に関する能動的な学びを通して、今後のグローバルな社会において生きる力を涵養します。

研究では、半導体デジタル領域、鯨類や感染症に関する未来志向の教育研究センターを設立し、次世代型電池開発や深紫外LEDの開発に係る卓越型リサーチセンターと、次世代型VLPワクチン、地域脱炭素バイオマス関連や包括的社會に向けたレジリエントな地域社会基盤の構築などに関する重点リサーチセンター・重点ユニットも併せて設置して、世界レベルの研究、オンラインの研究や未来を拓く多様な研究を展開しています。

三重大学は、県全体を活動フィールドとし、各地域の特性に応じた特色・課題を探究して、三重大学特有の教育・研究・社会貢献活動につなげています。生産業を中心とする産学連携の北勢サテライト、忍者や農林業に関する研究等の伊賀サテライト、神事・産業・医療用大麻研究の松阪多気サテライト、海女研究・海洋生物研究の伊勢志摩サテライト、農林水産業や過疎地域の学校教育等に関わる東紀州サテライトなどの地域拠点サテライトが各々のミッションを担って活動しています。

令和の新しい時代、三重大学は《知の拠点》として、学内外の組織との連携を深めます。学部間の異分野横断的な取り組みや、自治体および企業との産学官の地域連携プラットフォーム、国内外の高等教育機関との連携協定など、様々な《知のつながり》を通じて、ポストコロナ時代の教育研究活動を推進します。さらに、カーボンニュートラル等の環境問題、デジタルトランスフォーメーションの推進をはじめとする諸課題を、産学官の連携を深めて地域と共に探究し、その成果を還元して地域の発展を導いて、新しいコミュニティづくりの一役を担う地域共創大学として発展してまいります。

地域の皆様に信頼され、皆様の幸せにつながる大学づくりを進め、全国、世界に発信できる大学を目指します。皆様のご協力、ご支援をどうぞよろしくお願ひいたします。

三重大学長
伊藤正明



学生主体の環境活動



三重大学の学生は、日頃から自然環境や生活環境に意識を持った活動を積極的に行っています。の中でも、環境マインドの向上を活動理念とした学生が主体となって活動を行う組織が、三重大学環境ISO学生委員会です。環境ISO学生委員会の多年にわたる環境活動が認められ、平成29年度には「地域環境保全功労者表彰」環境大臣賞を受賞しています。この表彰は、環境保全、地域環境保全及び地域環境美化に関する顕著な功績があった団体等に対し、その功績をたたえるために環境大臣が顕彰を行うものです。国立大学の学生組織としては初めてとなる功労者表彰の受賞になりました。受賞後も、学内との連携に留まらずに地域住民や企業と連携した活動を継続しています。

三重大学に来て、一緒に環境について学び、活動を始めてみませんか。



学生の環境活動

三重大学の環境活動は、学生が主体として取り組んでいます。

学生が取り組む組織として、平成18年に発足した環境ISO学生委員会があります。

環境ISO学生委員会の活動として、ごみ減量化の提案と活動、学内の古紙再生利用、卒業生からの家電製品および家具の再利用といった3R活動や、キャンパス内の緑化や花壇の整備などの緑化活動、そして放置自転車対策活動などにも取り組んできました。学外に向けては、大学に隣接する海岸清掃や小学校への環境学習を通して地域を巻き込んだ環境活動を展開しています。これらの活動は、学内では掲示板や広報誌を通して、学外ではホームページやイベントなどにおける活動紹介を活用して学生や地域の方々に発信しています。

★ 地域環境保全功労者表彰(環境大臣賞)



3R活動



環境の取り組み



三重大学はSDGs(持続可能な開発目標)の趣旨を理解し、環境先進大学を目指して、地球環境に調和した社会の実現に向けた、カーボン・ニュートラル社会の形成などの科学技術および社会システムの教育研究を推進し、学内外の資源循環3R(Reduce、Reuse、Recycle)・循環経済(サーキュラー・エコノミー)活動にも積極的に取り組んでいます。

学生には、教育・研究を通じて「環境マインド」の育成を行い、学際的(研究が複数の学問分野にまたがり関連すること)な環境への知見と俯瞰的な視野を身につけ、幅広い教養教育から得た知識を基盤とした高い専門性の習得を目指し、教職員と共に学生が活躍できる環境先進大学を目指しています。

大学の特徴

三重大学は、平成19年11月に環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001を認証取得して環境活動を積極的に実施しています。

学生と教職員が一体となった環境活動は、今や三重大学の大切な文化としての基盤が形成されつつあります。

これら環境活動は多くの表彰を受けています。

- ★ 地球温暖化防止活動表彰(環境大臣賞)
- ★ 省エネ大賞(経済産業大臣賞)
- ★ グリーン購入大賞(環境大臣賞)
- ★ 地球環境大賞(文部科学大臣賞)
- ★ 環境コミュニケーション大賞 合計13回受賞 など

MIEUポイント

本学では、学生・教職員が学内で実施した自主的環境・省エネ活動を「見える化」し、活動内容に応じたポイントを付与して獲得し貯めたポイントに応じて、希望する物品との交換ができる仕組みを持つたMIEUポイントシステムを平成24年度から実施しています。

MIEUポイントの「MIE」は三重大学の「MIE」、「U」は「University」の意味と、「You」の意味「がんばる“あなた”」を表しています。

全学で取り組むMIEUポイント活動は2020年1月に公益財団法人日本環境協会が主催する「エコマークアワード」において奨励賞を獲得しました。



MIEUポイントが付与される主な環境活動

- 講義室や研究室照明の消灯やエアコンの適正運用
- 海岸清掃活動への参加
- 環境講義の受講
- 3R活動(P3参照)
- 緑化活動 など

KEYWORD “今”を学べる 三重大学のキーワード

三重大学の“今”を学べるキーワード

SciLets

Scientific, Local and Environmental “Talented Staff”

教育研究活動の取り組みSciLets育成事業

本学では、地域の環境を保全し、地域に多く賦存する環境価値を利活用して地域の活性化を図ることを主な目的として、社会人を対象に地域で活躍できる環境人材を育成するリカレント教育として「科学的地域環境人材(SciLets:サイレツ)育成事業」を行っています。

この事業は本学の学生も受講でき※、それぞれの学部の講義を学習しながら、自由な時間を有効に活用して、Webによるビデオ講義を受講することにより、文系的科目である環境問題・環境評価法、環境関連法・行政から、理系的科目であるエネルギー技術・自然環境保護・生物多様性まで、地域環境に関する幅広い講義を受講することができます。社会人と同様に、必修科目10科目と選択科目4科目の合計14科目を受講し、全ての理解度確認テストに合格するとアナリスト認定を取得できます。さらに、スキルが認められれば、エキスパート認定も得ることができます。令和6年3月末時点で951名の本学学生が受講しており、アナリスト認定とエキスパート認定がそれぞれ73名と6名に授与されています。なお社会人の受講者は、令和6年3月末時点で913名、アナリスト認定は422名、エキスパート認定は8名となっています。

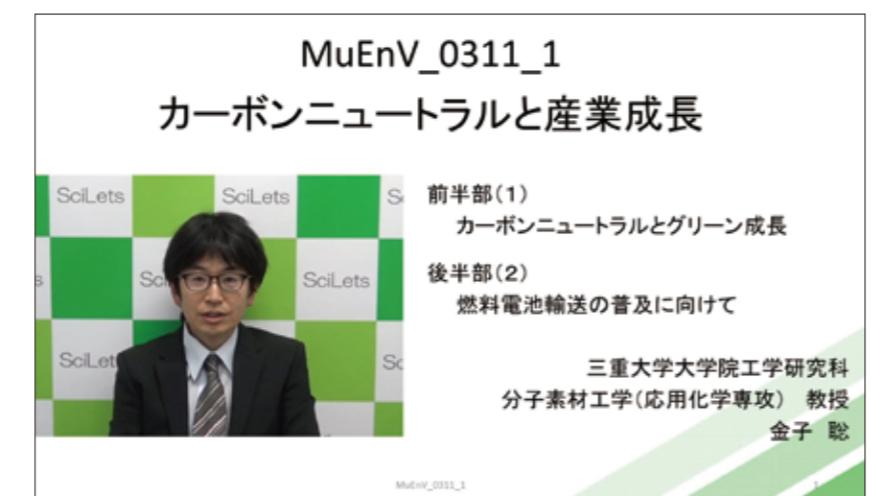
※三重大学生は14,000円の受講料等の費用負担なしで受講できます。



セミナー（参加自由）の様子



SciLets(サイレツ)育成事業のHPはこちらから→



数理・データサイエンス館(CeMDS)

Center for Mathematical and Data Science

数理・データサイエンス館(CeMDS)のHPはこちらから→



ICTを活用した数理・データサイエンス教育を推進します！

数理・データサイエンス館(CeMDS:セムズ)は、三重大学のICT教育や数理・データサイエンス教育等の発展に寄与し、また地域の関係機関や企業との教育研究拠点となり地域創生に貢献することを目的に2020年4月に開館しました。

1階メイカースペースでの様々なICT機器を利用した学修・教育環境の提供やCeMDSサポートデスクでの本学学生による対面・オンラインを通じた学修・教育支援を行っています。

1階、2階には、研究発表のポスターやICT機器で作成した作品の展示コーナーも備えています。

地域の関係機関等と連携しICTを活用したデータサイエンス教育および関連行事など、広く活動を行っています。



データサイエンス教育について

本学では、令和3年度より、全学部1年生を対象とした、リテラシーレベルの数理・データサイエンス・AI教育プログラム「データサイエンス学修プログラム」を実施し、「データを丁寧に扱うことができる人材を育成すること」を目標としています。

フロア案内

開館時間 10時～17時／土・日・祝日休館

1 階 **Maker Commons** (マイカーコモンズ)

- サポートデスク / ICTサポート、データサイエンスサポート、Learningサポート
- メイカースペース / 3Dプリンタ、レーザーカッター、ミシン、ドローンなど

2 階 **Data Science Commons** (データサイエンスコモンズ)

- レクチャールーム
- 文献検索コーナー

3 階 **Collaboration Commons** (コラボレーションコモンズ)

- 数学なんでも相談室
- 自然科学系技術部
- スタジオ

地域拠点サテライト



地域拠点サテライトのHPはこちらから→

三重大学は三重県における地域創生と地域人材の育成に取り組みます!

地域拠点サテライトの概要

地域拠点サテライトは、三重県全域を三重大学の教育研究活動の「場(フィールド)」とし、「特色ある各地域の資源」「学生たちの若い力」「大学の教育研究力」をもって、地域と大学が一体となって地域に秘められた可能性を発掘することで、地域と大学相互の発展を目指します。自治体・教育機関等との連携および協力をもとに、5つの地域サテライト(北勢サテライト、伊賀サテライト、松阪多気サテライト、伊勢志摩サテライト、東紀州サテライト)を設置し、教員や学生がフィールドワーク等の実践的な教育研究活動を行っています。

地域拠点サテライトが果たす3つの機能

1. 地域のニーズ・特色を踏まえた教育研究を地域とともに

地域ごとに異なる課題・ニーズに応えるべく、大学が有する学術的知見を活用しながら、地域とともに教育研究活動の場を創出し、地域の発展に寄与する。

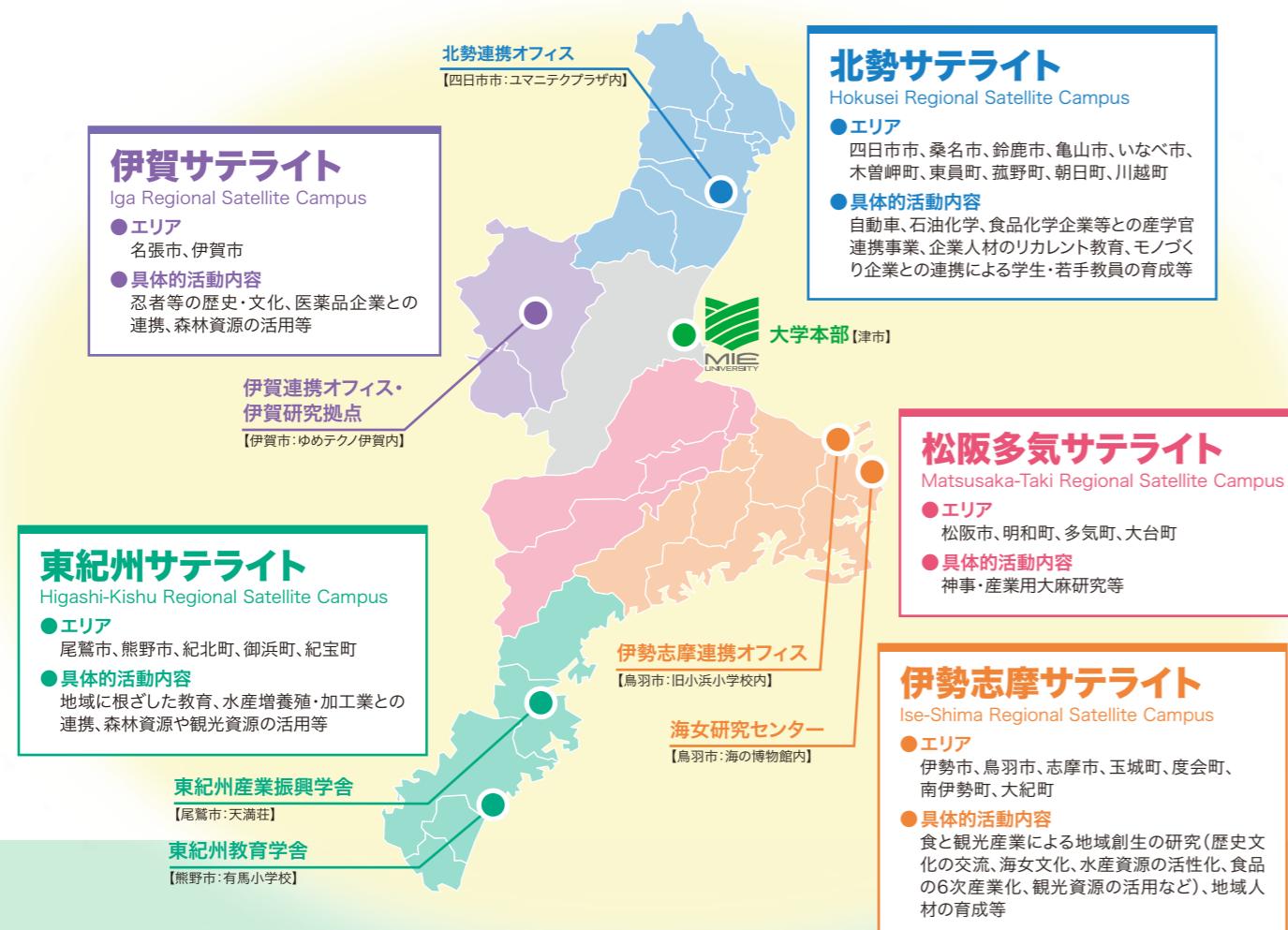
2. 教職員・学生の地域活動への参画と交流の深化

教職員・学生が地域に出向き様々な活動を展開し、地域の人々との交流を重ねて信頼関係を深めることで、三重大学が地域にとって必要不可欠な大学となる。

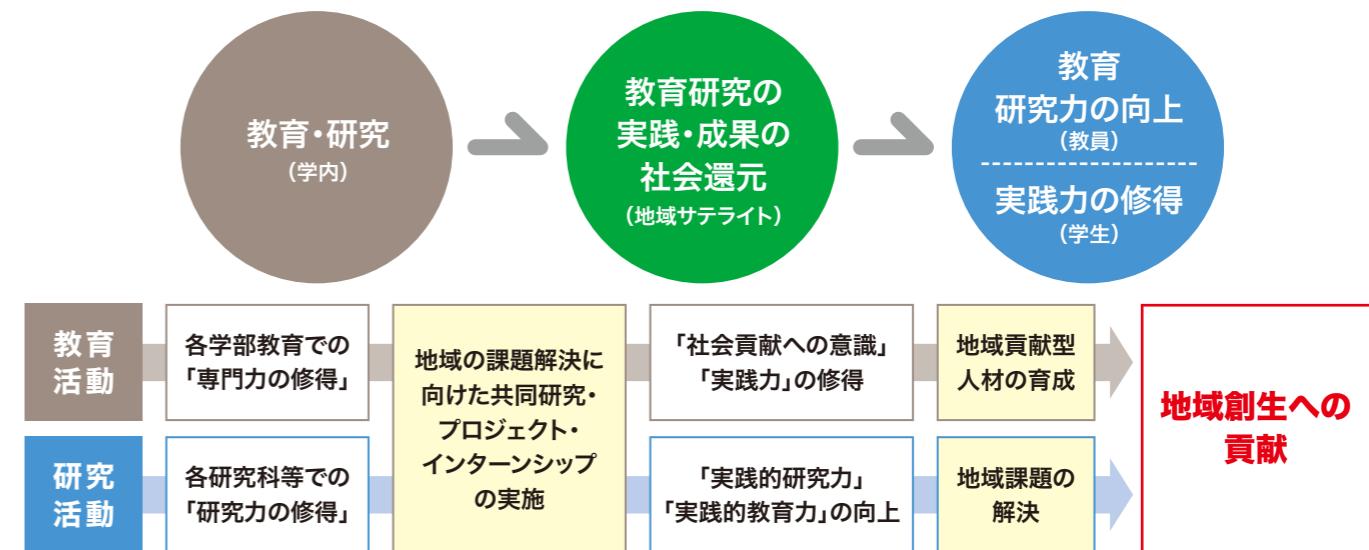
3. ありたい未来を目指し、社会的インパクトのある成果を創出

上記の取り組みを通じて、地域の問題解決と、ありたい未来の創造に資するプロジェクトを発足させ、社会的インパクトのある成果を創出する。

三重大学地域拠点サテライトは、三重県全域を教育研究フィールドとして位置付け、5つのエリアに設置した「地域サテライト」を通じて活動を展開しています。



目的 教育研究機能の強化を通じた地域創生への貢献



活動紹介

『上野天神祭への参加』

伊賀市で秋に開催される上野天神祭に留学生がだんじりの引き手として参加しました。普段触れる事のできない日本の伝統文化を体験するとともに、若者が減少してきている地域行事の担い手不足解消に貢献しました。また、商工会議所や地域の高校などの協力を得て、高校生を始めとする地域の様々な方とふれあい、地域全体との国際交流を推進しました。このように、伊賀サテライトでは教職員や学生が地域の行事へ積極的に参加して伊賀地域を盛り上げています。また、忍者研究などを通じて地域の歴史や文化の振興に貢献しています。



『紀南地域の小中学生向けDX技術体験イベントの開催』

令和5年度に採択されたプロジェクトとして、三重県紀南地域にて、農業・教育・農村社会の変革を目指す「紀南オープンフィールド構想によるみどりのアントレプレナー共創拠点」という取り組みがあります。そのキックオフシンポジウムの共催イベントとして、令和6年2月3日に紀宝町にて小中学生向けのDX技術体験イベントを開催いたしました。本プロジェクト参画機関の企業と大学が連携して、紀南地域の小中学生がドローン操縦、VR体験、AIとの会話、ロボットサッカーを行いました。その後引き続き行われたワークショップでは、大学生のサポートを受けながら小中学生が自分たちの住む地域の未来を創造し、体験したDX技術をどのように活かせるかなど活発な意見交換を行いました。



伊賀サテライト

東紀州サテライト

三重創生ファンタジスタ

三重大学は他者と協働し、地域の課題を解決する「三重創生ファンタジスタ」を養成します！



「三重創生ファンタジスタ」の養成事業

三重大学は、平成27年度に文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に採択され、地域で活躍する人材「三重創生ファンタジスタ」の養成を進めてきました。COC+は令和元年度末で終了となりましたが、引き続き三重県内の高等教育機関・地方公共団体・企業等と協働して三重創生ファンタジスタの養成を行っていきます。また、三重大学ではCOC+をきっかけとして「三重創生ファンタジスタ資格認定コース」を平成28年度より立ち上げています。

三重創生ファンタジスタ資格認定コースでは、三重県の重要施策である5つの分野の課題に対して、様々な提案ができる人材(三重創生ファンタジスタ)を、3つの科目群を学修することによって養成します。

5つの分野

- ①食と観光分野
- ②次世代産業分野
- ③医療・健康・福祉分野
- ④教育
- ⑤文化・社会・公共

3つの科目群

- ①地域志向科目群
「知る」
(再発見・再認識)
- ②地域実践交流科目群
「学ぶ」
(体験・経験を通じて学ぶ)
- ③地域イノベーション科目群
「考える」
(再構成・発信)

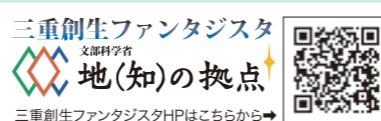
地域を学ぶ授業

「三重創生ファンタジスタ資格認定コース」には、地域について学ぶことができる授業科目が数多くあります。その中には、三重県の歴史や文化、産業について学ぶ授業、県内各地域を訪問し食文化と観光を学ぶ授業などもあります。三重県のことを知りたい、三重県内の企業を知りたいという方はぜひこれらの授業をチェックしてみてください。



●三重学(食と観光実践)

(令和元年前期集中開講)
他大学の学生と一緒に地域(熊野市等)に出かけ、2泊3日で三重の食や観光について体験しながら学びました。



三重創生ファンタジスタ資格

この資格は自治体や他の高等教育機関、企業・団体と連携して作り上げている資格であり、三重県で就職して、三重県で活躍したいと思える人にピッタリな資格です！また、三重創生ファンタジスタ資格をより充実させるため、三重の歴史や文化、産業を学ぶ授業科目や、グループワークを行い主体性を養うPBL※型集中講義も用意されています。

※PBL(Problem-based learning:問題発見解決型学習)



3つの科目群から12単位以上修得

1~2年次

地域志向科目群
4単位以上

地域の産業や実情について知る。

2~3年次

地域実践交流科目群
2単位以上

地域に入り、現状や課題を
体験的に理解する。

3~4年次

地域イノベーション科目群
2単位以上

地域の人と協働し、地域や産業の
活性化、再生プロジェクトを提案する。

(三重創生ファンタジスタ資格認定コースイメージ)

三重創生ファンタジスタ資格は、
県内就職に活きる資格を
目指しています！

三重創生ファンタジスタになる大きなメリット!!

- ①県内の様々な情報、魅力的な企業等を知ることができる！
- ②三重県のことを深く勉強した証明になる！
- ③各種イベントの運営に参加でき、社会で生きる力が身につく！
- ④様々な社会人(社長等)と知り合うことができる！



三重創生ファンタジスタクラブ(MSFC) x:@msfc_mieuniv

三重創生ファンタジスタクラブ(通称 MSFC : MieSousei Fantasista Club)は、学生主体で三重県の各現場で地域課題を見つけてその現場に入ったり、地域の方々のお手伝いをしながら地域活性化に取り組む団体です。

このクラブで活動することで論理的思考力や行動力、チームワーク力が鍛えられます。また、新しいことにチャレンジする機会が多く、自分自身の関心を広げることができます！

現在では、三重大学のある津市をはじめとして、志摩市・紀宝町等を拠点とする8つのプロジェクトを行っています。

プロジェクトの詳細は、X等をご確認ください。

現在は多くの仲間も増えたので、一人一人が三重県を盛り上げていくリーダーとなって地域活動に励んでいけるようにしたいと考えています。

VOICE

資格取得者の声

- 他学科だけでなく、他学部の人との交流や、活動を行うことを通して、異なる分野からの視点といった、自分ではない考え方を知ることができた。また、今まで知らなかった三重の魅力についても授業を通して知ることができた。4年間で学んで得た知識を就職しても活かしていきたいと思う。
- 医療や福祉といった分野の授業を受ける際に、三重県ならばどういった問題点が出るか、その対策としてはどうすればいいかを常に考えるようになりました。また、プレゼンテーションなど他者に自分の考えを伝える能力や質疑応答によるコミュニケーション能力も向上したと思います。三重県で生まれ育ったにもかかわらず、三重に関する知識が浅かったが、このコースを履修したことで、三重の知識をより深めることができ、この知識を就職先や今後三重で暮らそうと考えている人たちのために役立てたいと思いました。

VOICE

受講学生の声

- 近くにいない人と協力して発表をするため、効率良く計画を進めていく工夫を身につけました。実際、社会に出た時は近くにいない人とプロジェクトを進めていくと思われる所以で、とても勉強になりました。また、実際に地域を見たり、地元の人に聞き込みしたりして、自ら課題を見つけるということの難しさを感じました。この授業では、以上のように課題を見つけ解決策を考え発表するというプロジェクトの最初から最後までを行うことで、これから学校生活や社会に役立つ能力を身につけられたと思います。

教育活動の概要

三重大学は、世界と繋がる地域共創活動に真摯に取り組み、未来を拓く教育研究拠点として世界が注目する地域共創大学を目指しています。そのために、幅広い教養を身につけるとともに高度な専門知識や技術を有し、国際的な視野を持ち、社会のイノベーションを推進できる人材の育成を目標にしています。この目標を達成するための全学的組織として教育推進・学生支援機構が設置されており、その協力の下、全学共通教育センターや各学部においてそれぞれの特色を生かした教育プログラムが展開されています。

三重大学の教育に関する目標

幅広い教養を身につけるとともに高度な専門知識や技術を有し、国際的な視野を持ち、社会のイノベーションを推進できる人材を育成します。

三重大学ビジョン2030(抜粋)

教育においては、従来から重点を置いてきた「感じる力」「考える力」「コミュニケーション力」「行動する力」を加えた、総合的な「生きる力」を修得することによって、地域や世界の諸課題を発見・解決する人材を育成します。



さらに、環境・SDGsや防災・減災に関するリテラシーをはじめ、DXデジタルトランスフォーメーション、AIの活用や数理データサイエンスなど、文理横断的に活動し続ける人材を、行政や企業、住民の皆さんにご協力頂きながら育成したいと考えています。

三重大学のアドミッションポリシー (三重大学が求める学生像)

三重大学は、本学の一員となって学び続ける意欲を持つ、次のような学生を求めます。

- ◎入学後の修学に必要な基礎的知識と技能を有している(知識・技能)
 - ◎ものごとを多様な視点から捉え、論理的に考えることができる(思考力・判断力)
 - ◎自分の考えを的確に表現し、伝えることができる(表現力)
 - ◎人や自然に対して関心を持ち、社会に貢献したいという意欲を有している(主体性)
 - ◎他の人と相互理解を図り協力して、新しい課題に積極的に挑戦しようとする態度を有している(協働性・主体性・多様性)
- 上記の方針に基づき、学士課程においては学部ごとに、また大学院課程においては研究科ごとに、適切な選抜方法を定め、実施します。

教育の特色

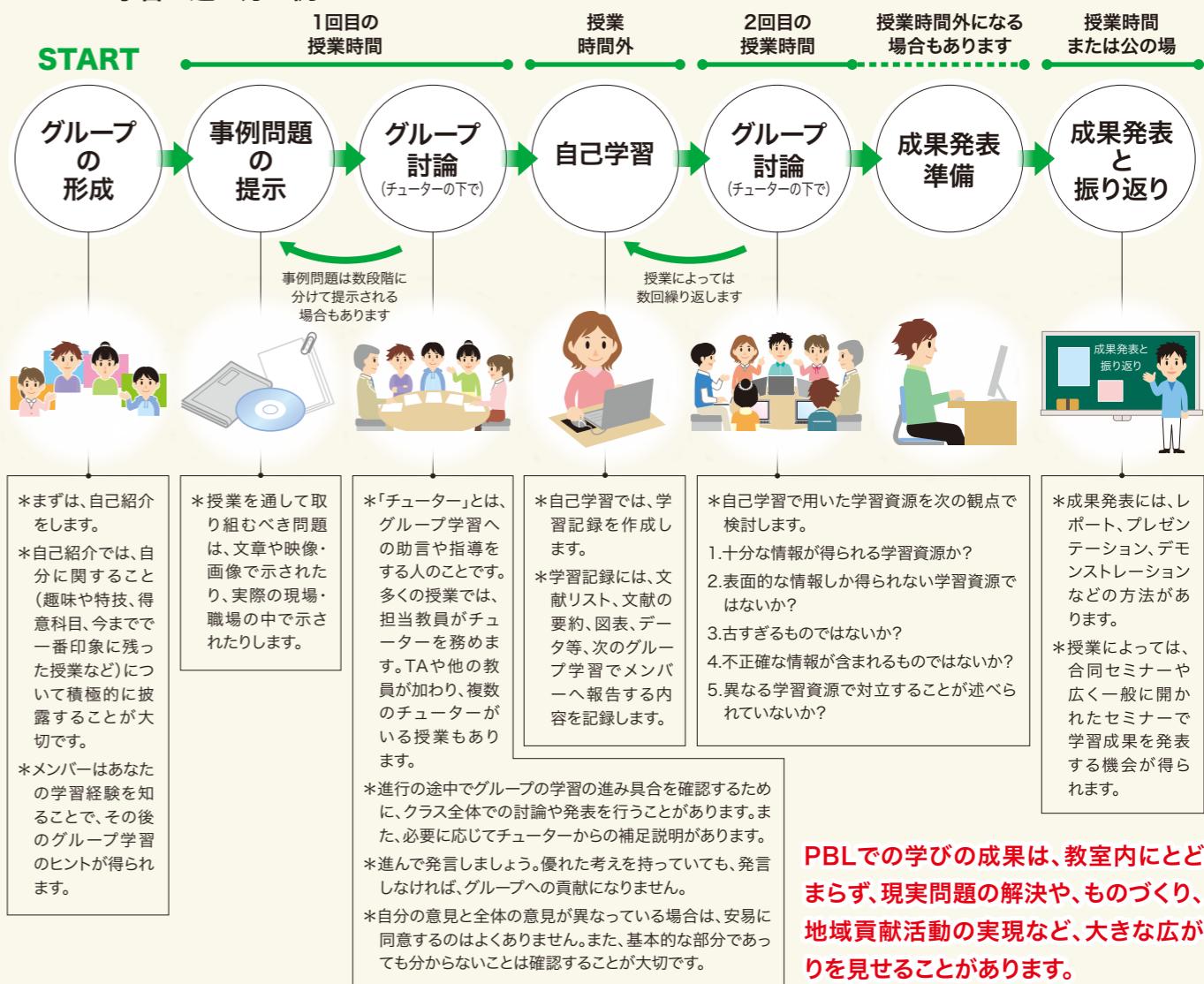
PBLって何？

PBL: Problem-based Learning / Project-based Learning

現実的な問題解決やプロジェクト達成を通して学びを深める、世界でも注目されている学習法です。

三重大学では、日本でいち早く2005年から全学的に導入されています。

PBLでの学習の進め方一例



学びのセルフマネジメント

大学では、自分の学びを自身で管理する「セルフマネジメント」が必要になります。本学では、「Moodle(ムードル)」という学習管理システムを使って、学生の皆さんにインターネットを活用して、学びをセルフマネジメントできる環境を整えています。

Moodleを使えば、場所が限定されることなく自宅からでも、資料を見たり、レポートを提出したりできます。Moodleのフォーラム(電子掲示板)やチャットで、学生と教員、学生同士がどこからでもコミュニケーションできます。



共通教育



幅広い教養の基盤に立った高度な専門知識や技術を有し、社会に積極的に貢献できる人材を育成

自律的・能動的学修力の育成 グローバル化に対応できる人材の育成

共通教育

大学基礎科目

教養基礎科目(副専攻科目)

専攻基礎科目

共通教育のカリキュラムは、

3つの科目から構成されています。

●**大学基礎科目**: 大学で学ぶために、また社会人として身につけておくべき基礎的な能力を養うために、三重大学生が共通に履修する科目です。

●**教養基礎科目(副専攻科目)**: 幅広い教養と深い知識、豊かな人間性を涵養し副専攻取得を目指す科目です。

●**専攻基礎科目**: 学部専門教育を受講するために必要となる基礎知識及び能力を身につける科目です。

これらの科目を通して、幅広く学問の知識や方法を学ぶことで自律的・能動的学修力を育成し、社会のグローバル化に対応できる総合的な判断力を培うとともに、深い教養を備えた豊かな人間性を涵養することを目指します。

大学基礎科目

教養基礎科目(副専攻科目)

専攻基礎科目

スタートアップセミナー

全学部の学生が共通して学ぶ科目

●スタートアップPBLセミナー(必修)

高校から大学への生活の転換をスムーズにし、アカデミックスキル・スタディスキルの獲得を目指して自立した学修を支援する授業です。三重大学の教育目標である4つの力についても理解します。



キャリア教育

●キャリア教育入門(必修)

「三重大学キャリア教育方針」に基づくキャリア教育です。「三重大学キャリア支援システム」を活用する内容や、各学部のディプロマポリシー(学位授与方針)に基づく事項を学びます。



外国語(英語)

●英語I大学基礎(必修)

●英語Iコミュニケーション(必修)

大学で学ぶため及び、自律的な学修を推進し社会のグローバル化に対応できるようにするために、基礎的な英語の語学力を養います。



データサイエンス

●データサイエンスI(必修)

●データサイエンスII(必修)

社会問題の解決や新たな価値の創造を行う原動力となる数理・データサイエンス・AIの基礎を理解し、関連するITスキル、統計解析スキルを身につけます。

●スポーツ健康科学A(必修)

スポーツ実践を通して他者との豊かなコミュニケーションを図るとともに、スポーツ科学や健康科学の知見に基づいて、健康的な生活ができる自己管理能力及び自律的・能動的学修力の育成を目指します。



スポーツ健康科学

情報化社会の発展に伴って、地域と密接に関わりつつ、グローバルな視点を持って活躍できる人材の育成がますます求められています。そのような人材に必要とされるのが、自国と諸外国の歴史や文化に対する深い洞察です。本分野では、歴史、文化、思想、生活をテーマとする、バラエティに富んだ科目を履修することができます。また、それによって、単一の価値観のみにとらわれない、豊かな発想と広い視野を獲得することを目指します。

環境問題は様々な分野に関わる複雑な問題です。解決の糸口を得るために、問題の本質を理解し、複合的な視点から洞察する力が必要です。また、環境問題に限らず、健康管理、原子力など科学技術的側面を持つ問題、社会的問題についても、数理科学、物理学、化学、生物学をはじめ、自然科学諸分野の知見に基づいて判断する力が必要です。そこで、本分野では環境問題や様々な自然科学の基礎理解を深め、科学的な考え方を学びます。

人体の仕組みと働き、疾患のメカニズム、医学・医療の発展、健康管理、保健衛生、社会保障など、健康・医療・福祉を多面的な観点から理解することにより、深い教養と総合的な判断力、豊かな人間性を涵養するとともに、自律的・能動的な学修姿勢の醸成、地域活性化・グローバル化に対応できる力を育成します。また、スポーツ実践を通して他者との豊かなコミュニケーションを図るとともに、スポーツ科学や健康科学の知見に基づいて、健康的な生活ができる自己管理能力を育成します。

個の成長を支え幸福を追求し、ひいては社会を維持し発展させていくための教育の諸問題を理解するためには、哲学、心理学、社会学、医学、数理科学などの幅広い知識を学びることが必要です。また、異なる考え方や価値観の人たちが、どのように合意を作り解決していくかという公共の諸問題を理解するためにも、同様のことがいえます。本分野では、教育と公共の現代的諸問題に対応し解決を図ろうとする態度を、知識習得と探求・議論を往復する対話的で深い学びによって身につけていきます。

国際社会に対応できる能力を育成するために、社会・経済に関する様々な事柄を学びます。社会は、異なる価値観を持った多数の人が集まって形成されます。家族、労働、教育、地域社会、メディアなどの多くのテーマについて学びます。また、私たちが社会で生活する上で問題となる、生産や消費売買などの経済活動について学びます。

国際・外国語分野

異なる文化や言語を持つ人々と深く交流するには、その背景にある価値観に興味と関心を持ち、尊重することが求められるとともに、自身の主張を明確に伝える語学力とコミュニケーション力が必要になります。本分野では、様々な言語をはじめ、政治経済、教育、保健医療などのテーマにも関わる授業を通して、国際理解のための技能と知識を身につけ、演習などを通じて情報収集・伝達や相互理解の方法を実践的に学ぶことで、多様な文化・言語を背景とする人々と協働する力を涵養します。

学部・学科INDEX

三重大学での学びと進路から、あなたの「学びたい！」が見つかる

学部	学科・課程・コース	学べる内容	取得可能な免許・資格 令和6年4月1日時点	ページ
人文学部 P19~P22	文化学科	世界諸地域の文化を、哲学、歴史学、考古学、美術史、図書館・情報学、言語学、文学、地理学、社会学、文化人類学といった学問分野から専門的・総合的に学びます。これを通して、広い視野から探し、変動激しい現代社会への深い理解と国際感覚に基づいた総合的判断力と行動力を身につけます。	【教員免許】●中学校教諭一種(国語・社会・英語) ●高等学校教諭一種(国語・地理歴史・公民・英語) 【その他】●図書館司書 ●学校図書館司書教諭 ●学芸員	P20
	法律経済学科	法学、政治学、経済学、経営学といった社会科学の分野について、適性や関心を確認しながら学修できるカリキュラムを用意しています。各分野の専門的知識に立脚しつつ横断的に学ぶことを通して、広い視野で問題を探求し、変動・複雑化する社会の課題に挑戦し解決に取り組む姿勢と判断力・対応力を身につけます。		P21
教育学部 P23~P26	学校教育教員養成課程	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園の教員としてふさわしい専門的知識と指導力を身につけることができます。我が国では、幼児児童生徒に対し、連続性のある多様な学びの場が用意されています。そうした様々な場に対応できる教員になるために、本学部では、教職への意欲、社会人としての教養や常識、ならびに教育と学問に対する専門性やコミュニケーション力を高めることができます。また、現代の教育現場において強く求められている適切な判断力、十分な実践力、豊かな独創性、多様なニーズに的確に応えるための総合力を身につけることができます。	【教員免許】●幼稚園教諭一種 ●小学校教諭一種 ●中学校教諭一種(国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語) ●高等学校教諭一種(国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・保健体育・家庭・情報・工業・英語) ●特別支援学校教諭一種(知的障害者、肢体不自由者、病弱者) 【その他】●学校図書館司書教諭 ●学芸員 ●保育士(幼児教育コースに限る)	P24
医学部 P27~P30	医学科	生命医科学研究を実践する能力を涵養し、医療、保健、福祉の担い手となる力を修得します。地域基盤型の実習を通して医療と社会の関係を学び、国際的な学習環境のなかで広い視野を身につけます。	【受験可能な国家資格】●医師	P28
	看護学科	看護の定義や役割、問題解決思考を学習し、看護学の実践者としての基礎を学びます。あらゆる健康レベルにある個人・家族・地域社会に対する看護を実践できるよう、専門知識や看護技術、コミュニケーション技術を修得します。	【受験可能な国家資格】●看護師 ●保健師(選択科目履修) ●助産師(選択科目履修) 【取得可能な免許】●養護教諭二種(選択科目履修、要保健師資格)	P29
工学部 P31~P40	機械工学コース	先進的ものづくりに必要な機械工学に関する講義と実技を通して、基礎(機械力学、熱力学、流体力学、材料力学、量子力学等)、応用(設計、生産加工等)、新分野(ロボット工学、生体力学、環境エネルギー機械等)が学べます。	【教員免許】●高等学校教諭一種(工業) 【卒業後、実務経験を経て得られる資格】●安全管理者	P33
	電気電子工学コース	有機ディスプレイ・電子顕微鏡・電気自動車・自然エネルギー発電システム・ロボットなど、今日の社会を支え、また、これから社会を創る電子デバイス・電気機器・情報システムを研究開発する能力を身につけます。	【教員免許】●高等学校教諭一種(工業) 【卒業すれば受験資格が得られるもの】●消防設備士(甲) 【卒業すれば資格取得が有利になるもの】●電気通信主任技術者(試験科目一部免除) ●第1級陸上無線技術士(試験科目一部免除) 【卒業すれば資格取得できるもの】●第1級陸上特殊無線技术士 ●第2級海上特殊無線技术士 【卒業後、実務経験を経て受験資格が得られるもの】●作業環境測定士 ●電気工事施工管理技士 【卒業後、実務経験を経て得られる資格】●安全管理者 ●第1種電気主任技術者	P34
	電子情報工学コース	半導体製造や人工知能(AI)を中心としたデジタル関連技術を基礎から応用まで実践的に学ぶコースです。 技術交流や共同研究を推進することで、デジタル社会の実現に貢献する高度技術者を育成します。	【教員免許】●高等学校教諭一種(工業) 【卒業すれば受験資格が得られるもの】●消防設備士(甲) 【卒業すれば資格取得が有利になるもの】●電気通信主任技術者(試験科目一部免除) ●第1級陸上無線技術士(試験科目一部免除) 【卒業すれば資格取得できるもの】●第1級陸上特殊無線技术士 ●第2級海上特殊無線技术士 【卒業後、実務経験を経て受験資格が得られるもの】●作業環境測定士 ●電気工事施工管理技士 【卒業後、実務経験を経て得られる資格】●安全管理者 ●第1種電気主任技術者	P35
	応用化学コース	新物質・新素材を開発して科学技術を発展させ、社会に貢献するために必要な、化学の基礎と実験法を学びます。これによって、エネルギー、環境、バイオ、医療などの分野に役立つ知識と実践力を身につけることができます。	【教員免許】●高等学校教諭一種(工業) 【卒業すれば受験資格が得られるもの】●消防設備士(甲) ●危険物取扱者(甲)(化学に関する授業科目を15単位以上修得すれば受験資格があります) 【卒業すれば資格取得が有利になるもの】●火薬類製造保安責任者(試験科目一部免除) 【卒業すれば資格取得できるもの】●毒劇物取扱責任者 【卒業後、実務経験を経て受験資格が得られるもの】●作業環境測定士 ●ガス溶接作業主任者 【卒業後、実務経験を経て得られる資格】●安全管理者	P36
	建築学コース	建築スケールから都市スケールに至る生活空間を対象に、建築の設計に必要な専門知識(建築計画分野、建築構造・材料工学分野、建築環境設備工学分野)の習得、建築設計図面や建築模型の製作技術の習得をめざします。	【教員免許】●高等学校教諭一種(工業) 【卒業すれば受験資格が得られるもの】●一級建築士 ●二級建築士 ●木造建築士 【卒業後、実務経験を経て受験資格が得られるもの】●建築施工管理技士 ●建築設備士 【卒業後、実務経験を経て得られる資格】●安全管理者	P37
	情報工学コース	コンピュータの仕組み(ハードウェア)や、コンピュータを用いた情報処理技術(アルゴリズムの設計とプログラミング)を学びます。企業などで、すぐに使える即戦力となる、高度な技術習得をめざします。	【教員免許】●高等学校教諭一種(工業) 【卒業すれば資格取得が有利になるもの】●情報処理技術者試験 【卒業後、実務経験を経て受験資格が得られるもの】●作業環境測定士 【卒業後、実務経験を経て得られる資格】●安全管理者	P38
生物資源学部 P41~P46	生物資源総合科学コース	生物資源学の基礎的教育として、農林環境科学概論、海洋生物学、応用生命化学概論、フードシステムチュートリアル等の科目を設定し、学生を質的に充実させ、地域を先導する力・生物資源学の俯瞰的な視野と幅広い知識を身につけます。そして、志望分野を検討中の学生に最適な選択の可能性を提供します。	(配属後の各コースを参照)	P42
	農林環境科学コース	農学専修では、農学の知識に加えて生物学の基礎理論を学び、食料問題の解決や緑豊かな環境を維持するための方策及び技術を身につけます。森林科学専修では、多面的な機能を持つ森林の特性を学び、自然環境との調和を保ちながら森林資源を持続的かつ高度に利用していくため必要な技術を身につけます。農業工学専修では、農村空間や環境の保全修復に関わる科学・技術や生態調和型スマート生物生産技術を身につけます。	【教員免許】●高等学校教諭一種(理科・農業・水産) 【その他】●樹木医補 ●測量土補(農業工学専修) ●学芸員 ●修習技術者(JABEE農業土木学プログラム)	P43
	海洋生物資源学コース	プランクトンから魚類・鯨類までの様々な水生生物や気候変動・異常気象などの地球環境を対象にして、海洋における生物と環境との関係を理解し、遺伝子レベルから生態系レベル、気候レベルにわたる多様な視点から海洋生物資源の保全と持続的有効利用法について総合的に学びます。	【教員免許】●高等学校教諭一種(理科・農業・水産) 【その他】●学芸員	P44
	生命化学コース	生命機能化学専修では、地球上に生息する多様な生物に関する生理機能及び生物が産生する有用物質の構造と機能に関する化学を学び、食品・健康分野、医薬品分野、環境・エネルギー分野及び生物工学分野などに寄与するバイオサイエンスとバイオテクノロジーについて総合的に学びます。海洋生命化学専修では、多様な海洋生物の生命機能の基礎的性質を化学的に明らかにし、医薬品・食品・香粧品などの原料となる海生物資源の有効利用に寄与するバイオサイエンスとバイオテクノロジーについて総合的に学びます。	【教員免許】●高等学校教諭一種(理科・農業・水産) 【その他】●食品衛生管理者 ●食品衛生監視員 ●学芸員	P45



「知」と「地」を創造する2学科の扉が開く

人文学部

Faculty of Humanities, Law and Economics

文化学科／法律経済学科

アドミッション・ポリシー

このような人を求めます

- 人間の文化、または、社会の動きやしきみに強い関心・好奇心をもつている人。
- 積極的・人間に生きるために、人間の文化や社会について深く理解することを望む人。
- 現代社会における諸問題を理解し、解決策を探求しようとする意欲がある人。
- そのために必要な基礎学力、論理的思考力、読解力、表現力をもつ人。
- これらの力をさらに高めようとする意欲にあふれる人。

このような人を育てます

人文学部は、人間が創り出してきた文化や社会を、より広く深く理解するための多様な知的探求を行います。人文科学や社会科学のさまざまな研究分野に亘り、それらの理論にもとづき、人間社会のかかえる問題を見いだす“感性”を育て、その問題の適切な解決へのアプローチを学ぶことによって、分野の壁をこえて文化や社会をとらえる総合的な視点や、古い枠にとらわれない“思考力”を育てます。また、このような学びの場を通じて、現代社会を“生きぬく”ための知的立脚点の獲得をめざします。そして、いつの時代にも変わらぬ人間の本質を見つめつつ、複雑化する現代世界と激しく変化する人間社会を正しく認識し、次々と生じる問題に立ち向かい創造性あふれる提言ができる“コミュニケーション力”を育います。卒業後は、企業、官庁、教育界からNPO、起業などの新たな分野に至るまで、地域においても国際的にも幅広く活躍できる人材を育成します。



人文学部長
豊福 裕二

人文学部は、1983年に文化学科と社会学科の2学科で発足しました。2008年に、社会学科を法律経済学科へと改称しましたが、学部創設以来の2学科制のもと、幅広い教養と柔軟な思考力を持ち、地域社会と国際社会で活躍できる人材の育成を目的に掲げ、多くの卒業生を輩出しています。人文学部のカリキュラムの特徴の一つは学際性であり、人文科学と社会科学の多彩な学問分野を学ぶことができます。人文科学と社会科学の役割を一言で表すと、「古今東西の人類社会の営みについて考究すること」です。世界の人びとが築き重ねてきた社会の仕組みや文化を知り、また今日の国際社会そして日本社会がどのような問題を抱えているのか、を考えることです。既存の価値観が大きく揺らぎつつある今日、人文学部で学び、われわれが今日生きていくこの社会のあり方を常に捉え返し、またその行く末を考えることのできる力を身に付けていただきたいと思います。



学部HPはこちらから

文化学科

Department of Humanities

世界諸地域の文化を、哲学、歴史学、考古学、社会学、文化人類学、地理学、美術史、言語学、文学、図書館・情報学といった人文科学分野から専門的・総合的に学ぶことのできるカリキュラムを用意しています。1年次から2年次には専門学習に向けて、問題意識の形成や様々な学問領域の基礎的な知識や研究方法の学習を進めます。そして3年次より演習(ゼミ)に所属し、学んできた専門の知識や研究方法を活用し、関心のある文化事象について研究を深め、4年次に4年間の学修の集大成として卒業論文を作成します。

学びの特色

■人文科学を縦横に学べるリベラルアーツ教育

「文化資源学コース」(哲学・歴史学等)、「国際言語文化学コース」(文学・言語学等)、「社会・文化行動学コース」(地理学・社会学・文化人類学等)で、人文科学の諸分野を専門的に学ぶことができます。同時にコースを跨ぐことで、アジア、ヨーロッパ、アメリカなどの地域の文化を多面的・総合的に学ぶことができます。

■少人数で充実した外国語教育

ネイティブによる英語、ドイツ語、フランス語、中国語の少人数授業、そして留学制度によって、高度な語学力を獲得できます。さらに、これらの言語を用いる地域の社会や文化を並行して学ぶことで、国際人としての真のコミュニケーション力が身に付きます。学部には、世界各地からの留学生も在籍しています。

文化学科カリキュラムの図

(令和6年度現在)



特色ある授業

特殊講義 忍者の歴史A



忍者といえば、漫画や映画でおなじみです。この講義では、そのような忍者ではなく、彼らのもとになった、歴史上に実在した忍者を解説しています。実在した忍者は、忍びなどと呼ばれ、忍び働きをしていた足軽でした。忍び働きとは、諜報や奇襲などの活動です。彼らは戦争ではなくてはならない存在でした。また、忍者といえば、伊賀・甲賀地域の忍者が有名です。なぜ忍者が伊賀・甲賀地域に多く発生したのかということも、重要な問題です。忍者は三重県の伊賀地域にゆかりの深い存在ですし、歴史学として、しっかり研究することができる、興味深い研究対象です。



STRONG POINTS 文化学科のここに注目

文化学科で取得できる3つの資格：教員免許・図書館司書・学芸員

専門性を生かした資格取得、将来進路を見据えた学びが可能

教員免許

中学校教諭一種(国語・社会・英語)と、高等学校教諭一種(国語・地理歴史・公民・英語)が取得可能です。主な就職先としては、公立・私立中学校および高等学校になります。

図書館司書

この資格が取れる国立大学は少なく、三重大学でも文化学科でのみ取得可能です。図書館司書は、図書館で専門的な職務に従事する資格であり、教員免許の資格を取得する者は、学校図書館で専門的な職務を行う「学校図書館司書教諭」の資格も取得できます。主な就職先としては、公立図書館や大学図書館になります。

学芸員

博物館や美術館で資料の収集・保管・展示をする専門職員の資格です。主な就職先としては、地方自治体、教育委員会、博物館および美術館になります。

法律経済学科

Department of Law and Economics

複雑で高度に専門化した現代社会を、適性や関心に沿って法学、政治学、経済学、経営学といった社会科学分野から学習するカリキュラムを用意しています。1年次は、専門学習に向けた問題意識の形成や社会科学の方法について学びます。そして2年次・3年次は、それぞれのコースのカリキュラムに沿って専門的な知識と理論的な考え方を学習します。また、3年次からは専門演習(ゼミ)に所属し、様々な社会現象を対象に考察・議論し、学んできた専門の知識や方法を活用する力を養い、4年間の集大成として4年次に卒業研究をまとめます。

学びの特色

■社会科学を縦横に学べる柔軟なカリキュラム

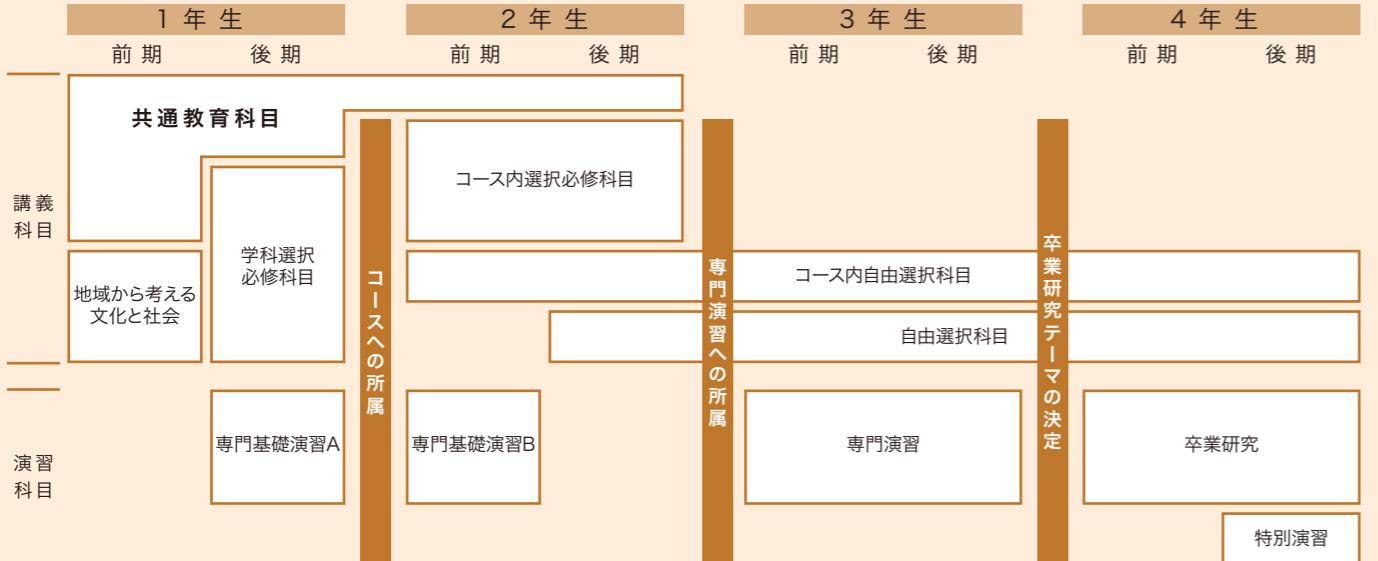
「法政コース」では法学と政治学について、「経済経営コース」では経済学と経営学について、それぞれの分野を体系的に学ぶことができます。「公共政策コース」では社会科学を学際的に学び、現代社会の諸課題の解決に向けて新しい価値を創造する力の修得を目指します。

■少人数教育が実現する深くて広い学び

ペラルアーツとは、専門教育前の共通教育のことではなく、自身の専門分野を深く学び、そして関心に沿って周辺分野に学びを広げる、多角的な視野と思考力を身に付ける教育のことです。初年度からの積極的な少人数教育により、主体的な学習能力や論理的思考力そして問題解決能力の形成を重視した能力形成を目指しています。

法律経済学科カリキュラムの図

(令和6年度現在)



特色ある授業

現代裁判論



第一線で活躍している弁護士による授業です。民事裁判と刑事裁判を中心に、現実に行われている裁判の仕組みや運用状況を学び、法律とのギャップや課題を考えます。また、裁判傍聴や刑務所見学なども行います。

この授業により、法や裁判へのイメージが変わらはずです。



STRONG POINTS 法律経済学科のここに注目

3つのコースで社会科学のより自在な学びを実現

法律経済学科のカリキュラムでは、3年次に所属が確定する専門演習(ゼミ)の選択で、所属するコースが決まります。それまで、様々な講義を通して自分の適性や関心を確認して進路を選択することができます。一方で、コースにはそれぞれ選択必修科目が定められ、それぞれのコースで専門性を高める学びのための履修モデルが示されています。

法政コース

法の適切な解釈力や国家・社会の制度等に関する基礎知識を学修します。これを通して、法に基づき公正な運用と問題解決を図れる能力の修得を目指します。

経済経営コース

社会経済および企業経営の基本構造とそのメカニズムの基礎を学修します。これを通して、社会経済の現状や動向を的確に捉え、将来を見通して判断し行動できる能力の修得を目指します。

公共政策コース

社会の課題解決を志向して学際的に学び、幅広く社会科学の識見や方法の基礎を学修します。これを通して、課題解決に向けたグランドデザインを描き遂行する能力の修得を目指します。

将来のVISION

進学・就職状況

過去2年間の卒業生の進路

人文学部は、これまでに多くの卒業生を送りだし、先輩たちからは、社会の各方面で中堅として活躍しているとの便りが届いています。卒業生の進路は、極めて幅広く、主に一般企業・公務員・教員の3方面に分かれますが、大学院に進学する人もいます。最も多く就職するのは一般企業で、その分野は、製造業・情報サービス・卸小売業・金融保険業・建築業・運輸通信など多様です。就職先の地域別割合は、県内が2~3割、東海地域が4~5割で、地域に根を下ろした本学部の特徴が表れています。

一般企業

三重県内

百五銀行、三十三フィナンシャルグループ、住友電装、三重交通、三交コミュニティ、三交不動産、三重電子計算センター、ミエデンシステムソリューション、安永、松阪電子計算センター、志摩観光ホテル

三重県外

中部電力、東邦ガス、三菱重工業、トヨタ自動車、ダイキン工業、岐阜放送、日本政策金融公庫、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、東海労働金庫、日本政策金融公庫、静岡銀行、三井住友海上火災保険、東京海上日動火災保険、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、JTB、NTT西日本、東海旅客鉄道、近畿日本鉄道、中京綜合警備保障、日本通運

公務員関係

名古屋税関、三重労働局、愛知労働局、中部地方整備局、名古屋地方検察庁、東海北陸厚生局、県庁(三重、愛知、滋賀、奈良、和歌山、石川、富山、他)、市役所(津市、四日市市、伊賀市、桑名市、伊賀市、伊勢市、亀山市、松阪市、名張市、名古屋市、岡崎市、稻沢市、豊田市、刈谷市、大府市、小牧市、瀬戸市、蒲郡市、豊橋市、神戸市、新潟市、小松市、一宮市、他)、横浜市(司書)、東京23区、県警、警察行政

教員・その他

中学校教員、高校教員、大学職員

【大学院進学】

三重大学大学院、京都大学大学院、名古屋大学大学院、一橋大学大学院、早稲田大学大学院、北海道大学大学院、筑波大学大学院、同志社大学大学院、他(法科大学院進学者も含みます)

大学院で学ぶ

人文社会科学研究科は、人文社会科学の諸分野における高度の専門知識に基づき、狭い専門領域にとらわれず、学際的、総合的な教育研究を行うことにより、複雑化、多様化する現代社会に柔軟に対応でき、創造的な知性と国際的な視野をもった研究者及び専門的職業人を育成することを目指します。

大学院人文社会科学研究科

地域文化論専攻(修士課程・2年間)

歴史学、美術史学、哲学・思想、地理学、文化人類学、社会学、図書館・情報学、文学、言語学、忍者・忍者学などの様々な領域から、専門分野を中心に学ぶことができます。日本と世界の文化に関する高度な理解をめざし、自ら情報を発信する意欲を持つ人を求めます。

社会科学専攻(修士課程・2年間)

法律、政治、経済、経営に関連する専門分野の研究を通じて、地域の課題を解決しようとし、政策形成、企業活動などに指導的役割を發揮しうる人材を育成します。理論だけでなく、実践力も身につけたいと考える人を求めます。

学生からのメッセージ VOICE

「当たり前」を
研究する面白さ



文化学科 アメリカ研究

4年 金澤 拓海 さん(三重県立津東高校出身)

言葉を話すことができるのは人間だけである。これほどに自明なことはありません。一方、「なぜ言葉を話せるのか?」「なぜヒトしか話すことができないのか?」と言われてみれば、それに対して答えを出すのは容易ではないでしょう。このような「当たり前」を理論的に考える。それが「科学」の面白さです。

文化学科では、言語学を始め様々な学問に触れることができ、その中から自分の興味がある学問を選択し、自由な進度で楽しむことができます。高校までの勉強、ひいては人生において「当たり前」としてきた物事を科学的に見てみると、非常に面白く興味深いことです。

ぜひ人文学部でこれまでに抱いた「当たり前」を科学的に見てみませんか。

法律経済学科で!
知識広がる学びを



法律経済学科 現代経済コース

4年 木村 紗乃 さん(三重県立川越高校出身)

現在、私は金融論ゼミに所属しています。金融を学ぶ中で最も楽しいことは、普段何気なく目にしていたニュースに対して疑問を持ち、自身の視点から理解を深めることができます。ゼミ活動では、金融に興味を持つ学生が集まり、少人数でグループディスカッションを行い、お互いの学びを深めています。三重大学では地域社会との連携が盛んであり、学生の学びを支援する環境が整っています。実際、私もESG投資に関する三重県の企業関係者から直接お話を伺う機会があり、貴重な経験ができました。最初は軽い興味から始まったこの学びが、自分の知識として広がっていく喜びを、ぜひ三重大学で体験してみてください。



教育学部

Faculty of Education

学校教育教員養成課程

アドミッション・ポリシー

このような人を求める

- 子どもと教育に関心を持ち、将来、教員になりたいと思っている人
〔関心・意欲・態度〕
- 教育に関する専門的な知識・技能を学修する上で必要となる基礎学力を有している人
〔知識・理解〕
- ものごとを多様な視点から捉え、論理的に考えようとする人
〔思考・判断〕
- 自分の考えを的確に表現し、伝えようとする人
〔技能・表現〕



教育学部長
伊藤 信成

ディプロマ・ポリシー

このような人を育てる

- 教員に求められる使命や責任を理解し、児童や児童生徒の心身の成長を支えることができる。
〔感じ力〕
- 教育に関する専門的な知識や技能に基づいて学級等を経営するとともに、授業等を計画・実践し、さらなる改善策を考え示すことができる。また、教育をめぐる諸課題を把握し、解決策を考え示すことができる。
〔考える力〕
- 子どもの多様性を認め、一人ひとりに配慮した教育を行うことができる。また、同僚、保護者、地域の人々と協働しながら諸課題の解決に取り組むことができる。
〔コミュニケーション力〕
- 社会人としての教養や公正な態度、柔軟な思考を身につけ、地域社会の動向を踏まながら、責任ある行動をとることができる。また、自己研鑽の必要性を理解し、主体的・自律的に学び続ける意欲や態度を有している。
〔生きる力〕



学部HPはこちらから
教育学部イメージ動画

学校教育教員養成課程

Program for Teacher Training

教職への意欲、社会人としての教養や常識、ならびに教育と学問に対する専門性やコミュニケーション能力を高め、現代の教育現場において強く求められている適切な判断力、十分な実践力、豊かな独創性、そして総合力を備えた教員となることをめざします。教員免許の取得を卒業要件としています。

学びの特色

■教育実践力を身につける

教科及び教職に関する専門的科目の学習以外にも、学校現場での実地的な学習と省察を通して、実践的な教育力を身につけることが求められています。そのため、1年次の必修科目である「キャリア教育入門」をはじめとして、4年間を通じた系統的な学校現場体験及び教育実習によって、教育現場に通用する資質・能力としての教育実践力を身につけるためのカリキュラム（教員養成コア科目群）が設定されており、体系的な学びを進めしていくことができます。

■附属学校園での実地活動

教育学部には4つの附属学校園（附属幼稚園、附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校）があります。各附属学校園では主に教育実習を行いますが、それだけでなく、そこでの日常的な教育活動（学習支援、運動会等の補助、クラブ活動の支援等）に指導補助者として参加し、教育実践力を身につけることができます。その活動は、学習支援・理科実験・体育活動・幼児教育支援・食教育・音楽祭等、多岐にわたっています。

■地域の学校・社会との連携

教育学部に隣接する一身田校区の4校（栗真小、白塚小、一身田小、一身田中）及び橋北校区の5校園（南立誠幼、北立誠小、南立誠小、西が丘小、橋北中）と連携しています。各学校園の教育活動に指導補助者として参加し、教育実践力を身につけることができます。その活動は、学習支援・理科実験・体育活動・幼児教育支援・食教育・音楽祭等、多岐にわたっています。

教育カリキュラム

13の専門コースに分かれ、コース専攻の専門的知識、技能を身につけます。国語、社会科、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語の各教科への専門的理解を深める10コースと、知的障害・肢体不自由・病弱等特別な教育的ニーズを有する人々の支援に必要な知識と技術を修得する特別支援教育コース、子どもたちが豊かに過ごして成長できるための保育・幼児教育の理論と実践を学ぶ幼児教育コース、教育学および教育心理学を基礎とした教育実践を行いながら、教育全般に関わる諸問題を体系的に学び研究する学校教育コースがあります。

コースの概要

国語教育コース

ことばと心を育む教育を追究する

私たちは、ことばで考え、ことばで知り、ことばで感じ、ことばで発信しています。国語科は、ことばを学び、ことばを探究する教科です。国語教育コースでは、教員としてそれを実現するための様々な知見を得ることができます。

社会科教育コース

教育現場で必要な社会を見る目を養おう

現代の社会構造は複雑化しており、学校教育の現場でもより高度な分析力と対応力が求められています。本コースでは、歴史学、地理学、政治学、経済学、哲学・倫理学、社会科教育学の幅広い分野から、社会に適応できる教科力を養います。

数学教育コース

「数学」と「教育」で未来創造！

数学は豊かな未来の創造のために欠かせない普遍の真理です。数学を深く学び、学校現場とも連携し、算数・数学教育の理論的・実践的能力をもった教員になることをめざします。数学で真理を探求し、数学教育で未来を創造しましょう。

理科教育コース

子どもの未来を拓く理科教師への4年間

理論的・実践的アプローチを通して、理科の知識、技能、および指導力が高く、教材に関する高い研究開発力をもち、教育現場で児童・生徒および教員にとって必要な理科教育の課題を的確に把握する洞察力をもった教員の養成をめざします。

音楽教育コース

仲間とつくる音楽の楽しさを人に伝える

声楽、合唱、器楽、合奏、作曲、音楽教育学などを基礎から学ぶことができます。そして音楽の各分野の専門性を活かし、地域や社会に働きかけることのできる幅広い実践力を備えた教員、仲間と一緒につくる音楽の楽しさを伝えることが出来る教員の育成をめざします。

美術教育コース

美術の魅力を知りそれを教育に活かす

1年次から絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論・美術史の各分野の制作と理論の追究と、美術教育の実践と理論の探求を通して専門的能力を身につけ、同時に学校等の教育現場で求められる高度な実践力を備えた教育者を養成します。

学生からのメッセージ VOICE



学校教育教員養成課程 国語教育コース
4年 村部 陸翔さん(三重県立四日市西高校出身)

国語教育コース(通称:国教)には、国語教育、国文学、日本語学、日本語教育学、といった分野があります。興味・関心に合った専門分野を徹底的に探究する(=深い学び)も、分野を横断してバランス良く素質を高めていく(=広い学び)も、自分なりの角度から“教育”や“国語”に向き合えるのが国教の特色です。

4年間という月日を、同じ夢を志す仲間と一緒に学び、遊び、高め合えることが、教育学部最大の魅力だと思います。「朱に交われば赤くなる」という言葉の通り、熱い思いを持つ仲間たちと共に成長できる環境に身を置くことは、教師をめざす皆さんにとって必ず有意義なものになると思います。ぜひ三重大学教育学部で一緒に学びましょう。



学校教育教員養成課程 社会教育コース
4年 平野 万城さん(私立津田学園高校出身)

自信をもつて 教壇へ

将来のVISION

進学・就職状況

柔軟なサポートで学生を支援

近年、全国的に教員採用数が増えてきています。講師への需要も高く、卒業生も教育の現場での就職が可能で、教員免許が必修の学校教育教員養成課程の学生はほとんどが教員となっています。教員以外では公務員や一般企業への内定が決まり、教育学部全体で見るとほぼ全学生が就職しています。

98.3%

教育学部全体の就職率
就職希望者に対する就職内定率

71.2%

公立小・中学校の合格率
採用試験受験者に対する合格率

70.0%

三重県小・中学校合格率
三重県の採用試験受験者に対する合格率

教職支援センター教員養成支援部門の教採サポート

教員採用試験は年々多様化しており人物重視の傾向が続いている。そのためどの自治体も面接を重視する試験を実施しており、私たちはそのための対策を行っています。

具体的には、教育学部同窓会・父母連絡会の支援を得て教職教養と小学校専門のDVD講座をはじめ、個人面接、集団面接、集団討論対策セミナーや小学校受験のために体育実技や音楽実技の講習会も実施しています。特に集団面接や集団討論は事前の対策が必須で多くの学生が参加しています。幼稚園・保育園対策講座や出願指導も専門家を招聘し個別指導を行っています。

また、教員採用試験にかかる情報を広く収集するとともに、学生の教職への疑問に答える等の相談を通してサポートにあたっています。

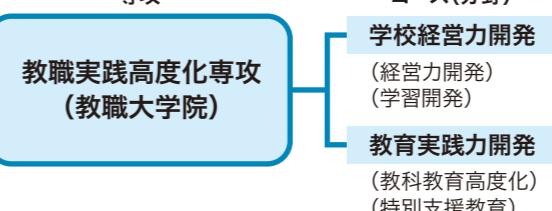
大学院で学ぶ

大学院教育学研究科は、令和3年度から教職実践高度化専攻(教職大学院)に一本化した大学院となりました。

教職大学院は、三重県における喫緊の教育課題に取り組むため、学校を変える推進者としてのスクールリーダー及び将来的に地域教育を支えるミドルリーダーとなる資質・力量のある新人教員を養成することを目的としています。

大学院教育学研究科

専攻



コース(分野)

**教職実践高度化専攻
(教職大学院)**

学校経営力開発
(経営力開発)
(学習開発)

教育実践力開発
(教科教育高度化)
(特別支援教育)

コースの概要

保健体育コース

健康で運動好きな子どもを育てるよう!

運動の楽しさや面白さ、精一杯体を動かすことの気持ちよさを味わえる、健康や運動に関する正しい知識と実践力を持つ子ども。本コースではそのような児童・生徒を育てる教員を養成するためのカリキュラム(理論・実技)があります。

技術・ものづくり教育コース

ものづくり教育のエキスパートを養成します

将来、技術立国日本を支える子どもたちを育てるために、技術ものづくり教育の基盤となる理論を学び、技能を身につけるとともに、ものづくりの楽しさと技術の素晴らしさを伝えることのできる教育方法を学びます。

家政教育コース

広い視野から生活と環境を探求する

生活に関わる様々な事象について、家庭経営学、被服学、食物学、住居学、保育学等の広範な領域から理論的・実践的に学びつつ、それらを家庭科に生かす教員になることをめざします。

英語教育コース

世界の英語を教えるために

グローバル化の時代にふさわしい実践的な英語力を身につけるとともに、「英語学」「英語文学」「英語教育」「異文化理解」の観点から英語について総合的に学び、確かな言語感覚、国際感覚に裏打ちされた英語教員を育成します。

特色ある授業

教職入門



「教職入門」は、1年次の必修科目です。卒業後に教職に就くことについて教育学部ではさまざまなことを学んでいきますが、その入り口がこの授業です。学校現場と教師の仕事をめぐらすさまざまなトピックを学びながらともに教師を目指す仲間との議論を重ね、教職のイメージを豊かにふくらませて、教師として働くことへの期待や希望、教職に向けた自分自身の学びの課題を確かめています。

特別支援教育入門



今日、すべての学校園で、特別支援教育が行われています。支援が必要な子どもたちも、地域の学校園で共に学ぶインクルーシブ教育の重要性も高まっています。この授業では、教員免許を取得する教育学部の学生が、幼・小・中・高・特別支援等、あらゆる教育現場で求められる、子どもたち一人ひとりを支援する意義や指導法の基礎等を学びます。介護等体験に臨む上で大切な基本的姿勢の涵養もめざしています。

特別支援教育コース

一人ひとりの子どもに応じた個別の支援

現在、すべての学校園で特別支援教育は行われています。発達の遅れ、人とのコミュニケーションの苦手さ、学習のつまずき、身体の動きの制約、病状や後遺症の影響等、課題や困難を抱える子どもたち一人ひとりを支援できる教員を養成します。

幼児教育コース

環境とかかわり主体的に遊ぶ子どもを育てるために

乳幼児期は豊かな人間性の基礎を培う重要な時期です。本コースでは、高い専門性と実践力のある幼稚園教諭・保育士を育成するために、講義や演習、実習等を通して必要な専門的知識や方法を体系的に学ぶことができます。

学校教育コース 教育学専攻

広い視野から学ぶ教育の本質

学校教育の日常に横たわる營みに複眼的にアプローチすることで、教育の在り方について理論と実践の両面から専門的能力を培うことをめざします。教育哲学、教育方法学(授業論・生活指導論・教育課程論)、教育経営学、教師教育学等の分野があります。

学校教育コース 教育心理学専攻

学校教育に活かせる心理学を学ぼう!

教育心理学専攻では、学校臨床心理学、学習心理学、社会心理学、認知発達心理学等の心理学の方法論を学び、子どもの育ちを支えるための専門的知識を持つ教師として、学校現場で活躍できる人材の育成をめざします。

STRONG POINTS 学校教育教員養成課程のここに注目

未来の教師と現職の教師が語る会



教育現場の労働負担の重さが指摘される等、教職に対する戸惑いや不安を抱く学生も少なくありません。本学部では、教員としての学びを始めた1年生を対象に、附属学校園教員の協力のもと、教職へのモチベーションを高めるための語る会を行っています。学生からは「将来の不安なことを教員に聞くことができて意義のあるものであった。」等前向きで肯定的な意見が寄せられています。

教員採用試験セミナー



教職支援センター教員養成支援部門では、教員を目指す学生の就職を完全サポートしています。校長・教育行政経験者等によるスタッフが、集団討論練習や模擬授業練習等の教員採用試験セミナーを年間170回以上実施しています。このセミナーに7回以上参加した学生の約9割が教員採用試験に合格しています。

また、学生の教職に対する疑問、不安、悩み等の相談にも応じています。



医 学 部

優れた知識と技術、そして豊かな人間性を兼ね備えたプロフェッショナルに!

医学科／看護学科

アドミッション・ポリシー

このような人を求める

医学科では特に以下の人を求める。

- 医学の進歩と人類の健康の向上に対して高い関心を持っている。
- 入学後の修学に必要な学習能力と誠実な人間性を備えている。
- 困難に立ち向かう強さと人への優しさを備えている。
- 地域医療への貢献に対する意識を持っている。

看護学科では特に以下の人を求める。

- 看護職者を目指すために必要な基礎学力を備え、論理的に物事を考えられる人。
- 人の健康に関心が強く、看護の分野で社会に貢献する意志をもっている人。
- 探求心と自立心をもって、主体的・協働的に課題に取り組める人。
- 相手の立場を理解し、柔軟に物事を考え、表現できる人。
- 國際的な視野をもち、地域の医療・保健の向上に貢献することを希望する人。



医学系研究科長・医学部長
平山 雅浩

医学部は医学科と看護学科の2学科の分かれ、医学系、看護学系ともに学士課程修了後に医学系研究科の大学院課程に進むことができます。医学科は三重県における唯一の医師養成機関であり、看護学科は看護師、助産師、保健師養成の高等教育機関です。医学部には附属病院が設置され、高度先進医療や臨床研究の拠点であるとともに、医学科、看護学科学生の教育病院としての役割も果たしています。

「確固たる使命感と倫理観をもつ医療人を育成し、豊かな想像力と研究能力を養い、人類の健康と福祉の向上に努め、地域および国際社会に貢献すること」を教育目標としています。医学科では1年生から6年生まで、看護科では1年生から4年生まで一貫した医学教育を提供しており、1-2学年から地域医療基盤型の実習を導入し、基本的な臨床スキルを磨き、臨床実習にスムーズに移行できるようにカリキュラムを構成しています。また、国際的な教育研究活動としては、医学科第6学年までに半数近くが参加するアジア・アフリカ・欧州・北米・南米での海外臨床実習があります。更には研究マインドを涵養するための授業科目を備え、医学医療の発展を支える研究力の強化にも取り組んでいます。このように国際的に通用する高い能力を養い、地域・国際社会に貢献できる医療者を育成します。



学部HPはこちらから

医 学 科

School of Medicine

入学から第2学年前期まで、社会人としての教養と医療人に求められる専門職意識(プロフェッショナリズム)を身につけるための共通教育と初期医学教育が行われます。第2学年後期から第3学年前期に基礎医学教育(解剖学や生理学などの講義、実習)を受け、第3学年後期から第4学年前期まで研究室研修と問題基盤型(PBL:problem-based learning)チュートリアル教育に参加します。研究室研修では、学生が個別に研究室に配属され、教員や大学院生とともに医学研究活動に従事します。PBLチュートリアル教育では、学生が主体的に学習する能力、仲間と協力して学習する能力の養成を図りながら、臨床医学と基礎医学との関係を学びます。第4学年には、診療技能を学ぶ基本的臨床技能教育が行われ、その実習終了後には、共用試験実施機構(全国80大学医学部により組織された試験統括機関)によるコンピュータ支援学力試験と客観的臨床能力試験を受験します。これらの試験に合格すれば、第4学年後期からの病院実習に参加することができます。病院での臨床実習では、平成24年に開設された新しい附属病院と地域の協力病院、海外の交流病院での実践的な教育が行われます。

学びの特色

■ 実践的な 臨床医学教育

臨床医学教育は、臨床課題を使用した問題基盤型チュートリアル教育から始まり、基本的臨床技能教育、診療参加型臨床実習に繋がっています。マナーとコミュニケーション能力を指導する専任教員が配置され、多くの診療シミュレーターが設置されています。

■ 医学研究を志向する 学生のためのカリキュラム

6年間を通して研究活動に参加する新医学専攻コースが選択コースとして提示されています。3-4年次には、全員が研究活動に参加する研究室研修があります。卒業後は、大学院医学系研究科への進学が可能です。

■ 國際性豊かな 学習環境

多くの海外交流大学からの交換学生が、本学での臨床実習に参加しており、国際的な学習環境が提供されています。また、早期海外体験実習、海外臨床実習など海外で学ぶ機会も多くあります。

■ 地域を学びの場 とした教育

入学後早期から、三重県や市町と連携した地域基盤型保健医療教育が実践されています。第4-6学年の臨床実習では、大学附属病院、地域病院、診療所での実習に参加します。

教育カリキュラム

第3学年後期-第4学年後期には、問題基盤型チュートリアル教育が行われます。これは、少人数グループによる協同学習と自学自習を通じて、学生が能動的な学習能力を向上させる学習方法です。実際の患者診療をシミュレーションした課題から、学生自らが学習課題を見出し、基礎医学教育で学んだ知識を駆使して問題解決を図ります。

診療参加型臨床実習

第4学年後期-第6学年前期には、附属病院、および関係教育病院での1年6ヶ月の臨床実習に参加します。従来の見学型臨床実習から脱却した診療参加型臨床実習であるクリニカル・クラークシップ方式を三重大学医学部医学科では他大学に先駆けて導入しています。医療チームの一員として患者さんに接することによって生まれる使命感を大切にして、実地診療の場で、病気の診断・治療、患者さんへの生活支援を学んでいます。第4、5学年学生は、全診療科のローテーション実習、第6学年学生は、各診療科の専門領域、地域病院、海外の交流大学附属病院での選択実習に参加します。



医学部医学科では日本医学教育評価機構(JACME)の認証を受け、世界医学教育連盟(WFME)の国際基準に基づく医学教育分野別評価基準に適合していることが認定されました。



特色ある授業

医療と社会



入学後から2年次まで、医師に求められるプロフェッショナリズムを理解し、地域貢献に求められる基本的な態度を学ぶための「地域基盤型保健医療実習」の授業があります。授業は、学内での講義と保健医療機関や地域コミュニティーでの体験型学習により構成されます。この授業を通して、困難を持つ人々への共感的態度、医療倫理、医療と生活の関わりを理解する能力、コミュニケーションなどを修得します。



看護学科

School of Nursing

看護学科では、倫理観と豊かな人間性を備え、地域社会への貢献はもとより、国際的な視野に立って活動できる、人間的・専門的に高い資質を持った看護師、保健師(選択科目履修)、助産師(選択科目履修)を育成するためのカリキュラムを編成しています。

1-2年次には、人体の構造と機能、健康・疾病・障害に関する基礎となる知識と、看護学の基盤となる理論や技術を学び、人間の尊厳への配慮や倫理観を育成します。その後、各専門領域の知識を学ぶ科目と、実践の場に適応する能力を身につけるための演習や倫理実習科目では、人のライフサイクルや社会的ヘルスニーズ、地域特性など多様な観点から人間を総合的に理解し、科学的根拠に基づく個人の健康状態に応じた適切な看護実践を学び、国際的な視野で保健・医療・福祉システムをとらえ、多職種と連携する能力を高め、社会貢献の基盤を養います。また、科学的・論理的な思考とともに、看護に関する課題を解決しようとする態度や責任感を醸成するために、2年次から少人数教育での看護学ゼミナールが始まり、4年次には看護研究を行います。



学びの特色

■恵まれた教育環境の中の看護学科

三重大学は人文学部、教育学部、医学部、工学部、生物資源学部の5学部全てが1つのキャンパス内に統合された総合大学です。美しい自然環境に囲まれた環境に優しい大学です。

■広い知識と豊かな人間性を養う環境

全学の共通教育やクラブ活動などを通して他学部との交流・情報交換を深めることができます。学生自治会が組織されており、人間形成に役立つものとして自主的活動が認められています。

■看護学科と医学科の密接な連携のもとに相互に教育・研究が可能

看護学科と医学科の教員が相互に連携しながら教育・研究をしています。多職種連携教育(IPE)では、看護学生と医学生が地域の診療所などで一緒に実習しチーム医療の大切さを学んでいます。

■隣接する医学部附属病院を中心とした総合的な実習体制の確保

看護学の実習は、隣接する高度先進医療を担う附属病院を中心に、県内関連機関において行います。また、各機関の実習担当者と教員が連携し、きめ細かい指導やサポートを行うことで学びの充実を図ります。

臨地実習

医療や保健・福祉の現場で、健康課題をもつ人や家族と向き合いながら看護の実践力を高めます。三重県内29市町で行う対象理解基礎実習(1年生)から始まり、附属病院での看護介入基礎実習(2年生)を経て、3年生の後期から病院や高齢者施設、訪問看護ステーション等で母性・小児・成人・老年・精神各領域での臨地実習を行います。4年生では看護マネジメント実習、各自が選んだ専門領域で行う看護学統合実習があり、学年進行にあわせて段階的に実習内容を深め、看護の専門性、かかわる人々との関係づくり、地域連携や多職種との連携・協働について実践的に学びます。



特色ある授業

認知症と看護(必修科目 3年前期)

認知症と看護は、認知症の病態と関連要因を理解し、認知症の人の生活の質を高めるケアの視点および家族支援の視点から看護展開できる基礎的能力を養うための科目です。

認知症に関する基礎的な知識と、法律や政策など社会の動向を踏まえた多角的な視点を習得した上で、事例を通して認知症を持つ人に対する看護支援について具体的に考える中で、認知症ケア・家族支援について学んでいます。



将来のVISION

進学・就職状況

医学科

医師、医学研究者、保健行政担当者として活躍しています。

三重大学医学部附属病院、鈴鹿回生病院、済生会松阪総合病院、市立伊勢総合病院、市立四日市病院、桑名市総合医療センター、三重県立総合医療センター、四日市羽津医療センター、三重中央医療センター、伊勢赤十字病院、松阪市民病院、鈴鹿中央病院、松阪中央総合病院、名古屋掖済会病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、豊田厚生病院、一宮市立市民病院、藤田医科大学ばんたね病院、大阪大学医学部附属病院、東京大学医学部附属病院、兵庫県立尼崎総合医療センター、名古屋掖済会病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、名古屋市立大学医学部附属西部医療センター、一宮市立市民病院、多治見市民病院、一宮市立市民病院、一宮西病院、中京病院、静岡県立総合病院、豊田厚生病院、滋賀県立総合病院、日本钢管病院、東京医科歯科大学病院、広島赤十字・原爆病院、中濃厚生病院、大阪急性期・総合医療センター、板橋中央総合病院、伊賀市立上野総合市民病院、東京医科大学八王子医療センター、近畿中央病院、上都賀総合病院、堺市立総合医療センター、東京新宿メディカルセンター、多根総合病院、西宮市立中央病院、公立甲賀病院公立甲賀病院、日立製作所ひたちなか総合病院など

看護学科

看護師、保健師、助産師等として活躍しています。

看護師 三重大学医学部附属病院、三重県立総合医療センター、三重県立こころの医療センター、三重病院、三重中央医療センター、伊勢赤十字病院、市立四日市病院、済生会松阪総合病院、鈴鹿中央総合病院、伊賀市立上野総合市民病院、名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院、日本赤十字社愛知医療センター、藤田医科大学病院、浜松医科大学医学部附属病院、静岡県立こども病院、京都大学医学部附属病院、大阪医科大学薬科大学病院、大阪公立大学医学部附属病院、淀川キリスト教病院、名古屋第一赤十字病院、京都大学医学部附属病院、日本医科大学付属病院、東京女子医科大学病院

助産師 三重大学医学部附属病院、三重中央医療センター、名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院、日本赤十字社愛知医療センター、聖路加国際病院、埼玉医科大学病院、名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

保健師 三重県、津市、いなべ市、鈴鹿市、松阪市、明和町、多気町、玉城町、伊勢市、志摩市、熊野市、愛知県、名古屋市、常滑市、春日井市、津島市、京都市、奈良県

進学先 三重大学大学院医学系研究科、岡山大学教育学部養護教諭特別別科、和歌山県立医科大学助产学専攻科、浜松医科大学大学院医学系研究科(助産師養成コース)、名古屋市立大学大学院看護学研究科(助産学領域)、金沢大学養護教諭特別別科など

大学院で学ぶ

医学科

大学院医学系研究科

医科学専攻(修士課程・2年間)

生命科学・医科学の理論と応用の教育・研究により、医学や医療産業に貢献する優れた研究・実践能力を有する人材を育成します。

ここが特長

- 1年次前期を中心に医科学全般に関する講義を集中的に行い、1年次後期からの研究指導では論文作成に必要な知識・技能を習得します。
- 医科学専攻の講義は、日英二か国語で行われており、英語力を養う良い機会となります。
- 医学系研究に必要な倫理観を習得するため、研究倫理教育を行っています。

看護学科

大学院医学系研究科

看護学専攻(博士前期課程・2年間/博士後期課程・3年間)

博士前期課程は、看護学の理論と応用を教育・研究することによって、社会のニーズに沿った保健・医療・福祉の向上に寄与するとともに看護の発展に貢献する高度な専門性を備えた人材を育成します。3つの教育研究領域と10の専門分野から構成され、履修方法によって、修士論文コース・高度実践看護師(専門看護師:CNS)コース・看護教育学上級実践者(Clinical Nurse Educator:CNE)コースがあります。

博士後期課程は、「俯瞰的視野」をもち、他の学問領域等と協議しながら新たな知見を導き出し、地域に根差した独自性豊かな看護学研究成果を生み出すことのできる人材を育成し、優れた研究成果を世界に発信することを目的としています。1つの領域と6つの教育研究分野から構成され、看護学のより高度な教育・研究の実践を目指します。

学生からのメッセージ VOICE

充実した学生生活を



医学科

6年 西村 悠里奈 さん(三重県立伊勢高校出身)

三重大学の医学科では、充実したカリキュラムで6年間学習することができます。1年次には地域基盤型保健医療実習で、実際に市町を訪れる地域における医療を学習します。2年次より基礎医学、臨床医学を学習し、4年次から病院実習が始まります。実際の医療を間近で経験し、深い知識や新たな視点を得ることができます。

また、多くの学生が部活動やサークルなどにも所属し、仲間たちと目標に向け取り組んでいます。活動する中で、同学に加え、先輩や後輩とも繋がりができる、交友関係も広がります。

私自身、勉強に課外活動に充実した学生生活が送っていると感じます。三重大学に興味を持っていただいた方は、ぜひ一緒に楽しい学生生活を送りましょう！

夢を育める場所



看護学科

4年 長戸 美結 さん(三重県立四日市高校出身)

看護学科では、附属病院の現役の看護師の方から講義や技術演習の指導を受けることにより、臨床を想定して学ぶことができます。附属病院で実習ができることも魅力の一つです。病院実習では医療の勉強はもちろん、病気とともに生きる患者様からの言葉は、心に染みるものがあり、患者様とお話ししたり、検査や手術の見学など貴重な経験をさせていただきました。もちろん、初めて患者様と接する際は緊張しましたが、最終日には感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。講義では学年・学科の領域を超えてグループワークを行う機会があり、新たな視点を取り入れながら学びを深めることができます。さらに4年間で看護師の資格以外に保健師または助産師の資格を取得することもでき、私は今、助産師課程に進んで勉強に取り組んでいるところです。大学には、学習以外の日々の小さな悩み事にも親身に相談に乗ってくださり、私たちをサポートしてくださる先生方もたくさんいます。



▲ Face to Face による丁寧な教育で実践的なものづくりの力を!

工学部

Faculty of Engineering

総合工学科



学部HPはこちらから

“令和7年度”から新体制

アドミッション・ポリシー

このような人を求めます

- 自然、社会、文化等に対して幅広い関心が有り、それらの基礎学力を持った人。
- 工学を理解するために必要な数学、理科に興味が有り、それを応用する能力と自主的に学ぶ意欲を持った人。
- 自分の考えを的確に表現し、論理的に伝えることができる人。
- 工学における問題解決の実践に情熱が有り、社会に貢献しようという気概を持った人。
- 工学とその周辺分野に対する旺盛な好奇心を持ち、真摯に問題を探求し続ける姿勢を持った人。

このような人を育てます

工学部は、科学技術の分野における先端的、創造的な職業能力はもとより、自然、社会、文化等に対する深い見識を育むことを目指して、学生と教員のふれあいを重視した教育を行っています。特に演習、実験、卒業研究等、研究室での少人数教育を通して、世界に通用する学問及び社会の進歩を支えるものづくりに不可欠な技術の修得と、社会で活躍するための実践力や表現力を養います。



工学部長
森 香津夫

三重大学は東海・北陸・近畿地域で第3位の広いキャンパスに全ての学部が立地した文理融合型大学です。その中で工学部には最多数の学生が在籍し、本学の中核を担う学部です。社会における工学部の役割は我々の生活をより豊かにするための「もの」創り(作り、造り)技術を教育・研究することで、「科学技術創造立国」を目指す我が国では極めて重要な役割を担っています。

本学部では三重県の豊かな自然の中で、学生と教員のふれあいを大切にした教育を基盤として地域から世界に羽ばたく高度専門技術者を育成し、関連業界で中核として活躍することで地域社会をはじめとする国内外に技術的貢献をすることを目指しています。人類の共生、福祉の増進、及び社会の発展に貢献することを志して、昨今の社会問題(エネルギー・環境、少子高齢化・人材不足、防災対策等)に対して技術の力で対処する問題解決能力を持ったバランスの取れた人材を育成することを目的としています。

総合工学科

Department of Engineering

三重大学を取り巻く環境は、材料・エネルギー・IoT関連・化成品・化学工業・防災減災など、極めて幅広く多岐にわたっており、それを継続的に力強く支える人材が必要とされています。つまり、専門分野の深い知識と同時に、工学に共通する幅広い知識及び情報関連技術を有する人材を育てることが求められています。

そこで、各専門分野の育成人数バランスを、産業界の要請あるいは学生の希望に柔軟に対応させるため、工学部全体を1学科とし、専門分野ごとのコース制を導入しました。

また、広い視野を持ち、問題を発見・解決する能力を持った人材を育成するため、学部修士一貫コースを設定しました。大学院へ進学する希望者のうち、学部修士一貫コースへの選抜を3年次終了時に行います。学部修士一貫コースでは、卒業研究を行う代わりに長期インターンシップを履修することができます。これにより、問題発見・解決力、課題探求力、先端技術を取り込む力及びコミュニケーション能力を民間企業や各種研究所にて身につけることができます。

このような人材を育成します

- 工学共通の幅広い知識、及び情報関連技術を有する人材
- 異分野とのコミュニケーション能力を持つ人材
- コースの垣根を超えた学際分野も理解する研究者・リーダー
- 本学卒業・修了後の実社会で自己学習できる人材
- 卒業・修了後の進路が展望できる人材

機械工学コース

目安:95名程度(うち3年次編入:10名)

1学科
6コース

定員
430名

3年次編入
30名

電気電子工学コース

目安:80名程度(うち3年次編入:10名)

電子情報工学コース

目安:40名程度

新設

応用化学コース

目安:96名程度

建築学コース

目安:54名程度(うち3年次編入:10名)

情報工学コース

目安:100名程度(うち3年次編入:若干名)

定員増

1年次
定員:430名

2年次
定員:430名

3年次
定員:430名

4年次
3年次編入:30名

情報工学コースについては、定員増に関する文部科学省への手続等を検討中であることから、今後変更があり得ます。

■ 機械工学コース

レオナルド・ダ・ヴィンチは、ヘリコプターで空を飛ぶことを夢見ました。機械はそのような人類の夢をいくつも実現し、豊かな生活を築き上げてきました。現在では、人体から宇宙まで守備範囲は広がっています。機械工学コースでは、講義・演習、工場見学、企業でのインターンシップを通じて、社会に貢献する創造的設計・製造に不可欠な知識・技術を習得できます。

学びの特色

■ 専門分野をしっかりと身につけるカリキュラム

大学での講義に必要な基礎的な物理、数学の導入教育、専門分野を自主的に学習し応用力を高めるための演習付き科目、設計能力、問題解決能力を伸ばすための創成型科目、卒業研究などの専門的な能力を着実に修得するカリキュラムが用意されています。

■ 社会で活躍できる人材の育成

機械技術者、研究者として成長することを早期に自覚するため、入学初年度から工場見学、合宿研修が実施されています。専門知識の修得に加え、教員による綿密な研究指導によりコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を修得し、社会で通用する総合的な能力が身につけられます。

ロボティクス・メカトロニクス講座

人間工学、ロボット工学、制御工学、情報工学から心理学といった幅広い学問分野を統合して、生命・医療・福祉分野、製造分野、教育分野、さらには車などの移動機械分野まで、幅広い分野に対して利用価値の高い知能機械システムの開発を行っています。特に、高齢者や障がい者の機能回復を実現する医療・福祉ロボット、工場内で重量物を軽快に運搬できる重労働支援システム、車のドライバーを支援する運転アシスト技術、さらには、AIやIoT技術を取り入れた匠の技を継承できる次世代型ものづくりシステムなどの開発に力を入れています。

機能創成プロセス講座

実際のモノ作りの際に基礎となる、素材から必要な形状を創製するための加工技術の研究を行っています。溶接やレーザーを用いた溶融による接合と切断、工具を用いた切削による材料除去、プレスを用いた変形による成形加工に加えて、産業界の様々なニーズに応えるための新規加工法の開発にも取り組んでいます。

機械物理学講座

広く現代物理学と材料科学の視点から、機械工学に関わる幅広い分野の基礎学問の構築と革新を目指しています。医療分野への展開を目指した心臓や脊椎の力学的機能評価、生体模倣機能性材料の開発、凝縮系物理学の理論的研究、単一電子トランジスタの応用研究、量子力学を応用した振動・制御理論の研究、プラズマ蒸着法による機能性薄膜の開発、半導体物性や結晶成長のシミュレーションなどに取り組んでいます。

環境エネルギー講座

流体工学や熱工学に基づいた、新しいエネルギーの開発やエネルギーフローの効率化による環境配慮型の資源利用の達成を目的として、風力発電や燃料電池に関わる技術開発や、自動販売機や空調の高性能化・省エネ化技術の開発、これらの機器の要素開発に不可欠である複雑乱流や混相流のシミュレーション及び実験技術の開発を行っています。

特色ある授業

機械工学

フレッシュマンゼミナール

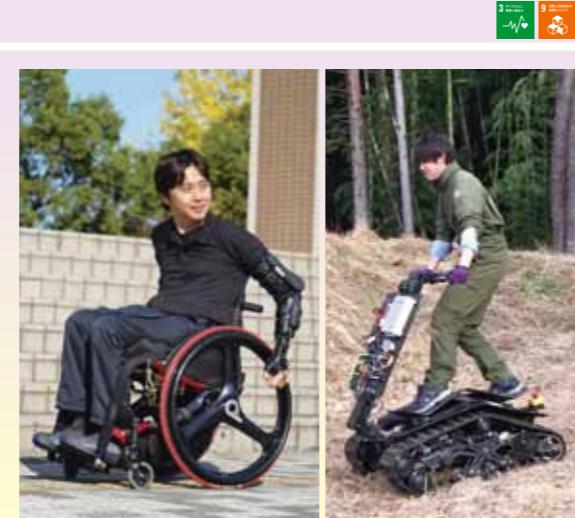


医用・福祉工学、再生可能エネルギー、ロボティクス、量子応用、機能加工などコース内で行われている最先端研究の実際を各研究室が紹介、実学として機械設計に不可欠なCADの入門実習、技術者倫理など、機械技術者として関わる世界を一望できるよう組み立てられた授業です。

機械工学コースに配属された学生が今後の勉学への意欲を高め、目指すべき技術者像、将来の進路について考える貴重な機会となります。

STRONG POINTS 機械工学コースのここに注目

社会に貢献する技術



知能ロボティクス研究室では、人間工学に基づくユーザビリティを追求したロボット制御技術を研究し、社会に貢献できる機械システムや知能ロボットの開発を行っています。

特に、生命・医療・福祉の分野における支援ロボットの開発や重労働や危険作業を支援するロボット制御技術の開発に力を入れています。

(右の写真は上肢が不自由な方でも車いすが使用できるようになる上肢動作支援用ウェーブルロボット、右の写真は不整地走行用パーソナルモビリティです。)

■ 電気電子工学コース

テレビなどの家電製品のみならず、携帯電話、自動車、さらには進展が著しいロボット技術やディスプレイ技術は、エレクトロニクスによつて支えられています。また、太陽電池などの環境技術、ナノテクなどの最先端科学も電気電子工学の技術者が活躍する分野です。電気電子工学コースでは、広く社会から求められているエレクトロニクス分野で活躍する技術者を育てます。

学びの特色

■ 先端研究に従事して、もの作りと仕組み作りを理解します

4年生では、電気電子工学の技術者として必須である専門英語やプレゼンテーション技法について学ぶとともに、各研究室に配属されて最先端の研究活動に従事します。卒業研究を通して、修士の先輩・仲間とのコミュニケーション能力を養い、工学としての「ものづくり」、「仕組み作り」を理解します。

電気システム工学講座

産業機器や人間環境で活躍するロボットに有用な制御手法の開発、それらに使われるモーターなどの駆動装置の研究、自然エネルギー発電のさらなる普及を目指した電力変換装置の高効率化に関する研究をしています。さらに、有機・無機複合技術による高分子材料の高機能化、磁性薄膜デバイスや環境発電への応用に関する研究も行っています。

通信システムデバイス工学講座

情報通信社会を支える主要技術である通信システムデバイス分野の諸技術の研究を行っています。通信分野では、変復調技術、無線ネットワーク制御技術、無線通信プロトコルに関する研究を行っています。デバイス分野では、次世代無線通信向け無線・光融合デバイスや非破壊診断システムの研究開発、テラヘルツ材料・素子の開発を行っています。

量子・光ナノエレクトロニクス講座

量子状態や光の技術を利用した、デバイス開発、計測・加工技術開発、材料設計に取り組んでいます。光制御技術を応用した光学デバイスの開発、電子・イオン源の開発と表面分析への応用、機能性カーボン材料の生成とエレクトロニクス応用を行っています。また、量子状態を利用したデバイスの理論設計や人工多層膜・2次元原子層物質・トポジカル物質などの材料設計を行っています。

特色ある授業

電気電子工学入門実験



電気電子工学分野の技術者にとって、視覚や聴覚などの感覚を磨くことは大変重要です。そこで1年生後期に開講される「電気電子工学入門実験」では、視覚や聴覚で認識できる物理現象とその現象を表す数学との関連を理解するための体験型実験を行っています。基本的な電子回路の作製やレゴロボットのプログラミングを行い、その動作を体感しながら、これからのお学習や実験に必要な基礎的能力を得てします。

STRONG POINTS 電気電子工学コースのここに注目

社会に貢献する技術



制御システム研究室では、医師に代わり医療診断するロボット、人の筋力を補うパワーアシストスーツ、危険地帯で人に代わり作業する遠隔操作ロボット、などの次世代ロボットを研究開発しています。機械装置、電子回路、ソフトウェアまで一貫して研究開発することで、独創的な制御システムを生み出し、その成果を国際会議などで世界に発信しています。

電子情報工学コース

□令和7年度新設予定

現代社会では人工知能(AI)をはじめとするデジタル技術が必要不可欠であり、そのデジタル技術を根底で支えるものが半導体です。電子情報工学コースでは、半導体やデジタル技術に関する専門知識について基礎から学び、学んだ知識を深化させて実践力、表現力、国際感覚を養うことで、世界に通用する学術見識および社会の進歩を支えるものづくりに不可欠な「真の価値」を持ったエンジニアを育成していきます。本コースは、令和6年度に設置された半導体・デジタル未来創造センターと連携して教育研究を行います。

学びの特色

■幅広い知識とともに高度な実践力を育成

1~2年次では、電子工学の専門知識を習得するのに必要な数学、物理、および化学などの基礎科目を学ぶとともに、情報工学のコアとなる情報理論および計算機アーキテクチャを学びます。3年次では、集積回路、半導体物理、データサイエンスの専門分野について本格的に学びます。これらの科目では専門的な講義に加えて、演習や実験を行うことで高度な実践力を身につけます。

■半導体の製造からAIまで電子情報産業に必要な知識と技術を身につける

電子情報工学コースでは、おもに半導体に関する分野とAIをはじめとしたデジタル分野に関する2つの専門領域について基礎から学ぶことができます。各教員は企業や国内外の大学・研究機関と共同研究をしているため、実習や卒業研究を通して世界最先端の技術を学ぶことができるとともに、社会人として必要不可欠となる実践力も身につくことができます。

半導体工学講座

◆窒化ガリウムおよび窒化アルミニウムに代表される窒化物半導体は、従来よりも高性能な半導体の素材として注目されています。半導体デバイス分野では、省エネルギー・高効率発光の次世代窒化物半導体の結晶成長およびデバイス作製を行っています。窒化物半導体結晶成長に関する開発、殺菌など深紫外光の応用、半導体光デバイス(発光・受光素子、高周波デバイス)の開発を行っています。

◆計算材料科学の立場から、コンピュータシミュレーションにより半導体および酸化物等さまざまな材料の構造的性質および電子的性質を予測する研究を行っています。半導体結晶成長や材料の構造安定性、物理的性質の解析・予測のための電子構造計算手法の開発および電子デバイスのための材料設計に関する研究に取り組んでいます。

デジタル工学講座

◆計算機によるさまざまな支援システムを構築しています。また、そのための基礎技術として、機械学習(ニューラルネットワークなど)の研究も行っています。機械学習技術を応用したさまざまな支援システムの構築(自然言語処理、画像処理分野)や 教育用タブレットアプリケーションの開発をおこなっています。

◆AIやDXなど社会イノベーションに必要不可欠となる基礎技術とその応用に関する研究を行っています。深層学習を用いて病理画像から疾患の進行度や疾患遺伝子の変異の予測、半導体の生産管理、路面標示の劣化度評価、ドローン農作物育成評価といった実社会で求められている画像AIに関する研究開発を産学連携で進めています。

応用化学コース

応用化学とは、化学の観点から有用で新しい機能をもった物質を研究・開発して科学技術を発展させ、社会に貢献する分野です。これによって、エネルギー変換技術の確立、環境問題の解決、バイオテクノロジーや医薬開発による医療分野の発展、新材料による情報通信の高速・大容量化などを実現します。本コースでは、こうした社会で大きな期待が寄せられている分野で活躍するための、知識と実践力を身につけることができます。

学びの特色

■応用化学関連分野の基礎的・系統的な教育

1~2年次では分析化学、有機化学、無機化学、物理化学、生物化学の5つの基礎教科を学び、3年次では専門的な応用化学関連教科を系統的かつ総合的に網羅し学びます。講義で修得した専門知識に基づいて2~3年次では化学実験を行い、実験技術および実験結果の解析法を学びます。卒業年次(4年)には研究室に配属され、最先端の実験研究を行います。卒業後は研究者・技術者として化学関連分野において創造的な活動に従事し活躍できる力が身につきます。

■国内外の関連学会での活発な研究発表

卒業年次(4年)および卒業後に進学する大学院工学研究科(博士前期課程)分子素材工学専攻(応用化学専攻)では教育活動と並んで、研究活動も盛んです。学生は応用化学関連分野において、より専門的な視野に立った研究能力を身につけるため、分析化学、有機化学、無機化学、高分子化学、材料科学、物理化学、電気化学、生化学、環境化学などの国内・国外での関連学会に積極的に参加し研究成果を発表します。

特色ある授業

どんな授業を受けることができるの?

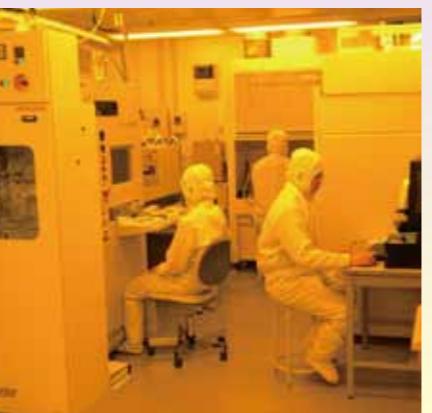
半導体やデジタル分野のエンジニアとして必要不可欠な基礎知識をつけるための授業が豊富に準備されています。また、これらの分野を習得するには電気工学や電子工学といった分野に関する知識も必要不可欠となります。電子情報工学コースでは、他のコースと講義の一部を共同で開講することで、半導体やデジタル分野のみならず関連分野に関する専門的知識も学ぶことができるようなカリキュラムになっています。



STRONG POINTS 電子情報工学コースのここに注目

社会に貢献する技術

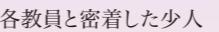
半導体デバイス分野では、殺菌やバイオ計測、医療など幅広い応用展開可能な深紫外LEDの研究開発を行っています。特に、低コストでこれまでよりも高出力が期待できる窒化物半導体基板によって、深紫外LEDなどの光デバイスだけでなく高移動度トランジスタなど電子デバイスの開発も推進しています。



特色ある授業

応用化学基礎

1年生は、11研究室のグループに分かれ、各教員と密着した少人数によるPBL教育により化学に関する基礎知識を学習します。口頭発表のための資料作成、実際の発表と討論を通して、主体的学習のモチベーションを維持し、向上させることができます。また、各研究室での指導により、大学の教育環境へスムーズに適応することをサポートします。



STRONG POINTS 応用化学コースのここに注目

高分子合成化学



ナノ構造をもつ物質の創製と新規材料への展開

高分子合成化学研究室では、高機能性を有する高分子材料の合成研究に取り組んでいます。例えば、高容量で軽量かつ安全なリチウム二次電池を実現するイオン伝導性高分子や近赤外光に応答する高分子光触媒など、未来材料として高分子の創製を目指しています。



ナノ材料物理化学

建築学コース

二十世紀の成長する都市の時代から二十一世紀の成熟社会の時代へ。人口減少、超高齢社会、大規模災害、地球温暖化などの諸問題に対応した新しい建築像・発想が求められています。建築学コースでは、建築スケールから都市スケールに至る生活空間を取り上げ、建築の設計に必要な専門知識、建築設計図面や建築模型の製作技術などの習得を目指します。

学びの特色

■実習を通じて学びます

歴史的建築物や伝統的な町並みが残る地域でのフィールドワークを通じて、環境と共生する新しい建築の可能性について学びます。

■幅広い分野を総合的に解釈し、自分の作品をつくりながら学びます

建築は幅広い知識が必要とされる学問です。そのため、歴史、文化、芸術、都市、環境、構造など様々な分野について学びます。建築学コースで学んだこれらの知識は、すべて自らの建築作品を設計するための基礎となります。戸建住宅、ギャラリー、図書館、小学校、集合住宅、複合ビル等、多様な作品を設計することで確かな知識と技術を身につけていきます。

学びの特色

■先進的な研究および技術をもとに学びます

先進的な環境、構造研究をもとに、災害に強い省エネルギーな暮らしを実現するための技法を学びます。

■快適な環境で学びます

三重大学は海に面した大学です。中でも建築学コースの建物は最も海に近い場所に位置しています。そのため、製図室からは伊勢湾を眺めることができ、朝夕の景色は印象的です。この製図室は自分の居場所として、また勉強部屋として学生がいつでも使用できます。また図書室も整備され、建築に関する専門書を自由に閲覧できるようになっており、建築を学ぶための快適な環境が整えられています。

建築計画系

各種建築物の機能およびそのマネジメント手法、都市ならびに地域の計画や景観保全、私たちが受け継いでいる歴史文化、さらに建築形態を構想する際の思考技術など、建築物のデザイン・計画のための多彩な研究を行っています。



建築環境設備系

建築内空間のみならずその周辺環境下での熱・空気・音・光環境を適切に制御し、健康・快適性、地球環境負荷などの観点から、より望ましい都市・建築環境を実現するために様々な研究に取り組んでいます。



密集市街地街路から見た天空

建築構造系

建築物の構造設計法、建築材料の品質・耐久性評価、建築生産などに関する教育を担当しています。研究テーマとしては、鋼・鉄筋コンクリート・木の各種構造の耐震性能および材料特性に関する研究や、地震などの自然災害に対する建築防災に関する研究などを行っています。



地域防災系

南海トラフ巨大地震などの自然災害による被害を予防あるいは軽減するために求められる建築物、都市、地域における総合的な対策としての防災都市計画、市民・企業・大学・行政の協働による防災まちづくり、災害後の応急仮設住宅計画や災害復興計画などに関する研究などを行います。



応急仮設住宅(東北地方)

特色ある授業

建築企画設計



4年間の学習の集大成として、学生自らが敷地や用途を設定し、それに相応しい建築を設計し、図面や模型にして表現します。建築学コースでは毎年、市民に公開する展覧会でその成果を発表しています。



建築展の様子(三重県立美術館にて)

STRONG POINTS 建築学コースのここに注目

感動を生みだす力



魅力ある建築物や都市を実現するためには、充実した知識や技術はもちろんのこと、感動を生みだすプレゼンの力も求められます。建築図学(1年生)では、建築物を設計するに必要不可欠な、図面描画やプレゼンの知識と技術を習得します。これは、特に2、3年生で受講する設計製図、4年生で受講する建築企画設計の基礎となります。



学生の作品の例

防災の取り組み



地方公共団体と連携して、三重県地域の防災力を高める「みえ防災塾」、「三重大学地域防災・減災研究センター」、「三重県・三重大学 みえ防災・減災センター」の活動にも、建築学コースの教員が参加しています。

情報工学コース

モノが直接インターネットにつながるIoTをベースとした社会では、情報工学が扱う分野も拡大し、情報系技術者には幅広い工学分野の技術の習得が求められています。このような状況から、従来の情報工学に加え、他分野との境界領域の専門知識をも身につけた、拡大しつつある情報工学分野に対応できる技術者の育成を目指しています。

学びの特色

■応用力の身につく実習・演習の充実

情報工学科のカリキュラムの特長は、充実した実習・演習科目の存在です。講義で様々な理論や原理を学ぶことは重要ですが、この原理を活用できることがエンジニアとしての活躍には必須です。そこで、プログラミングやプロセッサ設計など実務に近い実習・演習を充実させて、応用力の養成にも力を注いでいます。実習・演習には大学院生がティーチングアシスタント(TA)として多数参加しており、TAからフレンドリーな指導とサポートが受けられます。

学びの特色

■多様な応用分野に対応したカリキュラム

情報工学科のコアとなる基礎・必修科目、他分野との境界領域に加え、コンピュータサイエンス、情報ネットワーク、知能システム、人間情報学の4つの教育分野科目を充実させることで、情報技術のトレンドであるクラウド、人工知能、モビリティ、ビッグデータ、ロボティクス、IoT、サイバーセキュリティなどの多様な分野で活躍できる情報系人材の育成を目指しています。特に新科目の、暗号と情報セキュリティ、計測工学、通信方式、組込システム設計を学ぶことで、IoTに対応できる知識を身につけることができます。

コンピュータサイエンス講座

コンピュータサイエンス講座では、あらゆる情報処理の基盤となるデータ構造やアルゴリズム、プログラミング言語処理系を始めとするソフトウェアの開発環境、アプリケーションの高性能化のための並列処理技術、また、これらを支える先進的なハードウェアの設計、などを研究しています。

情報ネットワーク工学講座

情報ネットワーク工学講座では、IoTにとって重要な役割を果たしている情報通信ネットワークに関連する研究を進めています。より快適で安全な社会の実現を目指して、情報化社会の基礎となっている光ファイバ、無線、ネットワークにかかる技術、また画像処理技術について研究開発しています。

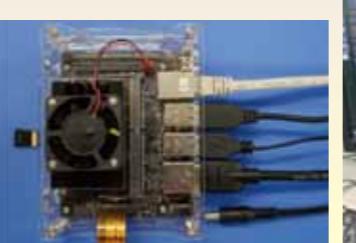
特色ある授業

情報工学実験

「パターン認識と機械学習」



情報工学実験「パターン認識と機械学習」では、雑多なデータから特定のパターンに合致するデータを抽出するパターン認識と、大量のデータから一定のパターンを自動的に獲得する機械学習についての基礎を学びます。実験では、機械学習の中でも特に大きな発展を遂げている深層学習についてNvidia社のJetson Nanoという小型のコンピュータを使用して、深層学習の動作環境・動作原理から始め、実際に深層学習を使用して写真に写っているものは何かを当てるプログラムを作成します。



知能システム工学講座

知能システム工学講座では、カメラ、マイクなどの各種センサ(IoT機器)により計測された大量の情報をコンピュータに取り込み、人間と機械的確な情報を提供する人工知能システムについて研究します。この研究により、より人間らしい快適な生活ができる高度情報化社会の構築を目指します。

人間情報学講座

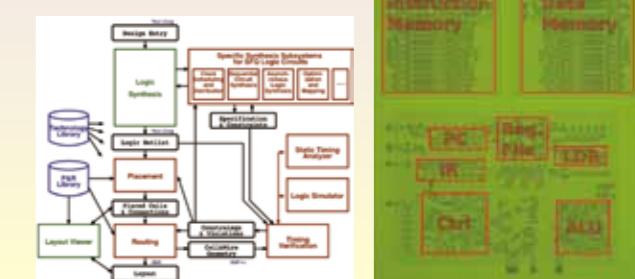
人間情報学講座では、人間の知覚、認知、行動に関する人間情報学の基礎的・応用的研究を通して、人間の認識能力や、人間の反応や行動に合わせた特性を備えた、人に優しいコンピュータシステムを開発しています。

STRONG POINTS 情報工学コースのここに注目

超伝導コンピュータと回路設計アルゴリズム



現在主流の半導体とは異なる、超伝導単一磁束量子デバイスを用いた、超高速かつ低消費電力の未来のコンピュータを設計しています。0と1の論理に基づくデジタル回路であることは従来と同じですが、論理の表現法が異なり、また、数十ギガヘルツの高速動作のため、構成に様々な工夫が必要になります。これまでにない条件下での回路設計には、専用の設計ソフトウェアも不可欠です。その実現には、複雑な問題をモデル化し、賢く処理するアルゴリズムを考えることが重要です。





将来のVISION

進学・就職状況

過去2年間の卒業生の進路
(学部卒及び大学院修了)

学部卒業後に、すぐに就職し技術者として活躍するか、さらに大学院(修士課程)で2年間知見を深めた後に就職するかを選択することになります。多くの企業では修士採用に重点を置くようになり、近年では5~6割の学生が大学院へ進学します。学部卒、修士卒のどちらも、就職希望者は毎年、ほぼ100%就職しています。大学院の博士前期課程(修士)修了後、博士後期課程(博士)に進学すれば、研究所等での基礎研究や大学教員への可能性も開けます。

また、工学部では、各コースでの勉学内容が異なるため、就職先も学科ごとに異なる場合が多くあります。詳しい就職状況は、別冊子『工学部案内』を参照して下さい。

製造業

トヨタ車体、マキタ、豊田自動織機、デンソー、日本特殊陶業、アイシン、クボタ、日本車輌製造、大同特殊鋼、トヨタ自動車、川崎重工業、日本製鉄、パナソニック、富士電機、本田技研工業、住友電装、三菱電機、CKD、イビデン、トヨタ紡織、住友理工、スズキ、アイカ工業、マツダ、ブライアーワーク、三菱自動車、イーテック、東海理化、デンソーアテクノ、キオクシア、日本ガイシ、イノアック、ナブテスコ、NTN、住友電気工業、ノリタケ工業、村田製作所、京セラ、クラシエ、コベルコシステムズ、セイコーエプソン、TDK、日本アイ・ビー・エム、FIXER、ヤマハ発動機

電気・ガス・水道業

中部電力、リンナイ、東邦ガス、関西電力

情報通信業

NTTドコモ、NTTコミュニケーションズ

学術研究・専門・技術サービス業

NTTデータ東海、日立システムズ

建設業

大林組、鹿島建設、清水建設、竹中工務店、一条工務店、積水ハウス、大和ハウス工業、ダイダン、旭化成ホームズ、前野建築設計、矢作建設工業

公務員

国家公務員、地方公務員

大学院進学

三重大学大学院、名古屋大学大学院、東北大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、北陸先端科学技術大学院大学、名古屋工業大学大学院、金沢大学大学院、神戸大学大学院など

大学院で学ぶ

高校卒業後の4年間での勉強は、授業を受けることが中心です。しかし、学部4年間を終え修士課程への進学後、すなわち大学院では、教授の指導や学生自らの希望により研究テーマを決め、自ら実験や調査、思考などを繰り返して新しい発見をし、学会で発表するという研究活動が日々の中心となります。工学研究科(工学部の大学院)では、修士課程2年間の間に、9割以上の学生が国内学会で発表します。また、大きな研究成果が得られた場合には、国際会議において英語による発表も行っています。

大学院工学研究科

博士前期課程(修士課程・2年間)

- 機械工学専攻
- 電気電子工学専攻
- 電子情報工学専攻
- 応用化学専攻
- 建築学専攻
- 情報工学専攻

博士後期課程(修士課程・3年間)

博士前期課程(修士課程)修了後に、3年間学びます。

■ 材料科学専攻

応用化学、機械工学、電気電子工学、電子情報工学修了者向

■ システム工学専攻

情報工学、機械工学、電気電子工学、電子情報工学、建築学修了者向

学生からのメッセージ VOICE

高度な技術への道



総合工学科 電気電子工学コース

4年 SHI WENJING さん(密山市第一中学出身)

私が所属する電気電子工学コースでは、電気や電子に関する幅広い知識を体系的に学ぶことができます。これらの科目を通じて、エレクトロニクスの基礎から応用までを網羅的に学びます。学びの中で非常に興味深い実験ができます。例えば、テスタなどの工具を使って自分で電気回路を組み立てたり、レゴロボットを組み立ててプログラミングを行ったりします。こうした実践的な実験を通じて、理論だけでなく実際の技術も身に付けることができます。電気電子工学は、現代社会の基盤を支える技術に関心がある方にとって非常に魅力的なコースです。皆さんも、電気電子工学の世界で自分の興味を追求し、新しい発見と技術革新に貢献できることを楽しみにしています。

理想をカタチにしよう！



総合工学科 建築学コース

4年 中村 紗千 さん(長野県立松本県ヶ丘高校出身)

建築学コースは建物のデザイン、構造、材料、環境の設計や計算を学ぶコースです。2、3年生では、住宅や公共施設などを自分で設計する授業があります。与えられた条件をもとに敷地分析、配置計画、動線計画を行い、図面と模型の制作します。集大成として、4年生では一から自分で決めた敷地に建てたい建物の設計を行うことができます。さらに、興味のある分野に進み論文を読んだり、フィールドワークでヒアリングをしたりすることでより理解を深めることができます。何気なく見ている街並みや建物も建築という分野としてみることで新たな発見があるかもしれません。みなさんも理想の建物を形にしてみませんか？



生物資源学部

Faculty of Bioresources

生物資源学科

アドミッション・ポリシー

このような人を求める

- 高等学校の教育課程において履修する内容を十分に理解し、高校卒業レベルの知識を有する人。
- 農林水産学を対象とした専門高校において専門科目を深く学び、優れた成績を修めた人。
- 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識ならびに理解能力を有している人。
- 生命科学や農林水産学に関わる様々な現象に关心を持ち、生物資源の適正な開発・利用と保全に关心のある人。
- 自然と人が共生する持続的社会の創出を目指し、社会貢献に対する明確な目的意識を有する人。

このような人を育てる

生物資源学部は、食と農林水産・フードシステムに関わる俯瞰的な視点を持つつ、地域の豊かな自然から生み出される生物資源の適正な開発・利用・保全を追求し、データの論理的な分析に基づく科学技術に関する教育・研究成果を生み出すことで地域と世界に貢献することを目指しています。

そのために、幅広い講義や実験・実習を実施し、独創性と専門性を兼ね備え、自らの力で問題解決ができる知識と能力を身につけた人材の育成を目指しています。

生物資源学部長
松村 直人

生物資源学部は35年ほど前、当時の農学部と水産学部の統合により発足した全国にないユニークな学部です。大学院の博士課程を大学単独でもち、入学定員が260名と農学系では東海・中部の国公立大学の中でも最も多く、近畿、中四国を加えても第2位を誇ります。前身を1921年設置の三重高等農林学校とし、100周年を迎える伝統校で約70もの教育研究分野で農林水産系におけるほとんどの学問領域をカバーします。また、実習の場である附属教育研究施設として、紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター（農場、演習林、水産実験所）、そして中部地区の国立大学の中では唯一の練習船（勢水丸）を所有し、さらに、2016年12月、全国初の附属鯨類研究センターを設置しました。このように、生物資源学部は「山の頂から海の底まで」の文字通り広大なフィールドを教育・研究の対象とし、自然環境の保全と農林水産業及びその関連産業、すなわち、食料、環境、健康、バイオにかかわる産業振興を担う人材の育成を目指しています。

生物資源学科

Department of Bioresources

生物資源は、山から海までの広範な地域で育まれ、食料をはじめとして工業原料、エネルギーなど人類にとって有用な財を提供します。その特長は、適切に利用すれば、枯渇することなく、持続的に利用できることです。また生物資源を生産するために良好に管理された環境は、人類が生きていく上でも良好な環境を保つ役割も果たしています。生物資源学部では、このような生物資源の生産と利用、その生産を支える環境の維持に貢献できる能力を身につけることを目指しています。

- 01 山から海までの生物資源に関連する幅広い学問を学ぶことができます。
- 02 地球環境・生態・個体・細胞から分子まで学ぶことができます。
- 03 フィールドサイエンスセンターや練習船での実習などを通じて、広範な視野から学ぶことができます。

生物資源学部 生物資源学科
定員 260名

1年次

2年次～4年次

■ 生物資源総合科学コース

定員 30名

■ 2年次以降は各コースへ

※生物資源総合科学コース以外の
3コースへ配属されます。

■ 農林環境科学コース

定員 110名

■ 農学専修 ■ 森林科学専修 ■ 農業工学専修

■ 海洋生物資源学コース

定員 45名

■ 海洋生物資源学専修

■ 生命化学コース

定員 75名

■ 生命機能化学専修 ■ 海洋生命化学専修

※各コースの定員は配置目安です。

特色のある取り組み

農場、演習林、水産実験所からなる紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター（FSC）に加え、練習船「勢水丸」といった特色ある教育研究施設があります。これらは、農林水産物、環境など幅広い教育・研究の場として活用されています。

■ 農場

持続可能な農業生産を目指した実習教育・研究を実施してます。また、作物、施設園芸、果樹、農産加工、畜産に関する多種多様な実習を通じて農業全般を深く理解することができます。

■ 演習林

紀伊半島の代表的な自然植生を示した貴重なフィールドです。森林の機能や森林資源の有効利用に関する研究、森林資源の育成・利用・保全に関する実習を行っています。

■ 水産実験所

豊かな生態系を有する伊勢湾口部に位置しており、多様な海洋生物を対象とした実習や、資源生態・情報科学・バイオマス利用・海洋教育などの研究を進めています。

■ 勢水丸

中部地区の国立大学が所有する唯一の水産・海洋系練習船です。学生たちにとっては、洋上で観測や採集作業を実践することで、講義で学んだ知識を理解する場となっています。加えて、高層気象観測なども行い、様々な教育航海や調査・研究航海などを行っています。

生物資源学科

■ 生物資源総合科学コース

生物資源総合科学コースでは、低学年次に農林環境科学概論、海洋生物学、応用生命化学概論、フードシステムチュートリアル等の科目を学び、生物資源学の幅広い知識や俯瞰的視野、地域を先導する力に関する基礎的素養を身につけます。そして、志望分野を検討中の学生に最適な選択の可能性を提供します。

2年次のコース選択時には、農林環境科学コース・海洋生物資源学コース・生命化学コースのいずれかへ配属されます。

農林環境科学コース

農学専修では、生命農学と社会科学の視点からフードシステムを理解し、食料問題の解決や豊かな環境維持の方策と技術を身につけます。森林科学専修では、森林生態系の自然環境や生物多様性を学び、地球温暖化の抑止や脱炭素社会を実現する森林資源の持続的な利用に必要な技術を身につけます。農業工学専修では、農村空間や環境の保全修復、食料生産、資源循環、資源有効利用に関わる基礎理論を学び、それらのスマート化に必要な技術を身につけます。



■ 農学専修

育種学・作物学・園芸学・畜産学・植物病理学・昆虫学・生態学といった生命農学への理解を深めつつ、経営学・経済学等の社会科学の視点から俯瞰することにより、生産から消費者までをつなげる流れ、すなわちフードシステムとして農学を学びます。これにより、食料問題の解決や緑豊かな環境を維持し、生物資源を利活用する方策や、技術、システムの評価手法を学び応用することを通じて、地域社会から世界へ貢献することを目指します。

■ 森林科学専修

森林は、世界の陸地の30%をおおい、陸上の生物現存量の90%にも達する巨大な生物群集です。地球環境の維持に加えて、生物多様性保全、国土保全、水源かん養などの機能を持ち、その恵みである木材は再生可能で、建築材料、木質材料、バイオマス資源として重要です。森林科学専修では、森林生態系の自然環境や生物多様性を学び、地球温暖化の抑止や脱炭素社会を実現する森林資源の持続的な利用に必要な技術を身につけます。

■ 農業工学専修

農業工学専修では、多様な生態系、地域社会、食料生産活動が共生する循環型社会の実現に向けて、農村空間や環境の保全修復、食料生産、資源循環、資源有効利用に関する先端技術の基礎理論を学びながら、それをスマート化するために必要な技術を身につけます。特に、本専修のカリキュラムの特徴は、地域環境や生物生産現場を対象とした農村・農地・水資源の開発と保全、自然災害対応、システム開発、センシングを行う上で必要となる技術やスキルを実践的に身につけるところにあります。

STRONG POINTS 農林環境科学コースのここに注目

フィールドサイエンスセンター 農場・演習林実習



農場実習では三重県の温暖な気候を活かし、作物、施設園芸、養液栽培、果樹(温帯果樹、亜熱帯果樹)、農業機械、農産加工、畜産におよぶ様々な内容を実習し、適期の管理や加工法の学理と技術を学びます。演習林実習では、雲出川源流域に広がる天然生林と人工林を活用し、森林資源の計測・保全・育成・有効利用に関する内容を実習し、森林の持つ流域の保全・防災など多面的機能な環境機能を学びます。



あなたの知らない「地下部」の世界



関谷 信人 教授 国際資源植物学研究室

私達が目にする植物とは、緑として感じる茎や葉の他に色とりどりの花や果実であることが一般的です。茎・葉・花・果実など、土壌表面より上に配置され、私達が目のことのできる植物の部位全体を地上部と言います。そうです。地下部とは土壌表面より下に配置された主に根を指した言葉です。「花を支える枝 枝を支える幹 幹を支える根 根はみえねんだなあ(相田みつを作)」という詩にある通り、私達が植物の地下部を見たり感じたりする機会は多くありません。それだけに、私達の地下部に関する知識は限られています。一般的に、地下部は物理的に地上部を支え、養水分を吸収して地上部へ供給する器官であると理解されています。しかし、ある植物の地下部では、隣接する植物の地下部へ水を供給し、その生育を促進するような灌水能力の存在が確認されています。また、隣接する植物の地下部どうしが糸状菌の菌糸によって連絡し、菌糸を介して養分が授受される現象も観察されています。私達は、植物の地下部のように見たり感じたりすることが難しい動植物の性質を解明し、利用するための研究に取り組んでいます。



海洋生物資源学コース

■ 海洋生物資源学専修

プランクトンから魚介類・鯨類、藻類などにいたる多様な水生生物について、遺伝子レベルから生態系レベルまでの基礎を学ぶとともに、それらを増やし育てる技術、保全、資源としての持続的利用や流通のあり方を学びます。また、海洋環境やそれに密接にかかわる気候変動・異常気象なども対象とし、海洋における生物と環境との関係を理解し、多様な視点から海洋生物資源について総合的に学びます。

特色ある授業

乗船実習(勢水丸)



調査・観測船に乗船するための知識を得ることを目的として、船内生活や船内諸設備の見学に始まり、気象観測、結索方法、航海機器の理解、航海当直、外洋航行、出入港作業、機関実習などの実習を行います。海洋観測や生物採集、漁労作業のような現場研究活動の第一歩となる実習であり、船という限られた空間での共同生活の中から、自分自身の役割を果たす責任感、集団のルールや協調性などが育れます。



STRONG POINTS 海洋生物資源学コースのここに注目

海、生産現場に近い教育研究フィールド

松田 浩一 教授 水産実験所

鳥羽市小浜町の漁港のすぐ近くに水産実験所があります。目の前にはマアジやブリが泳ぎ、マナコやマダコが彷徨い、スナメリ等の鯨類が躍動する豊かな生態系を有する海が広がっています。周辺の海域ではアワビやサザエ等を漁獲する海女漁業や日本有数の水揚を誇るイセエビ漁等様々な漁業が営まれています。このような立地を活かし、充実した海洋教育と、海洋生物や漁業生産を対象とした研究活動を行っています。また、水産実験所がある鳥羽市周辺には大学や国公立の水産研究所、博物館・水族館等海洋に関連した多数の教育研究機関があり、このような機関との共同で海とそこに棲む生物を対象とした教育研究活動を展開し、地域に根ざした海洋・水産学の拠点を目指しています。



生命化学コース

生命化学コースでは、多様な生物の代謝・物質・機能の解析を通して、生物の基礎的性質の化学的理解に必要な生命化学に関する幅広い知識と技術について学び、生物資源の持続的生産・利用・保全や人類の健康増進に貢献できる応用力を身につけます。生命化学コースでは2年次前期までに基礎専門科目を学び、2年次後期から生命機能化学専修または海洋生命化学専修に分かれ、各専修に特徴的な専門科目や卒業研究に必要な手法の学理と技術について学びます。



学びの特色

■ 生命機能化学専修

生命機能化学専修では、地球上に生息する多様な生物(動物、植物、微生物など)に関する生理機能および生物が産生する有用物質の構造と機能に関する化学を中心に、食品・健康分野、医療・医薬品分野、環境・エネルギー分野および生物工学分野などに寄与するバイオサイエンスとバイオテクノロジーについて総合的に学びます。3年次後期から10以上の専門分野に分かれて専門知識・技術を高め、4年次に指導教員のもとで独自の卒業研究に取り組みます。

■ 海洋生命化学専修

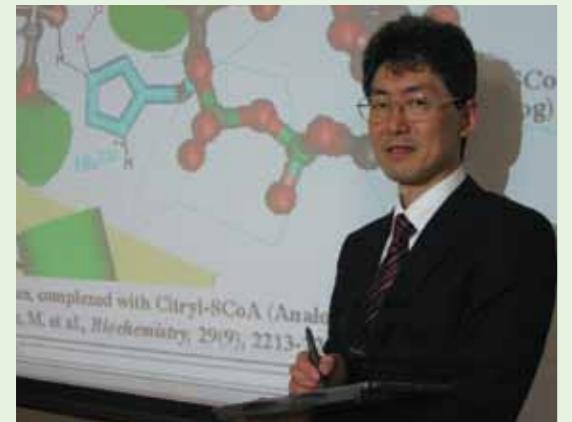
海洋生命化学専修では、多様な海洋生物(魚介類、藻類、海洋微生物など)の生命機能の基礎的性質を化学的に明らかにし、医薬品・食品・香粧品などの原料となる海洋生物資源の有効利用、持続的安定生産、遺伝的多様性の保全に寄与するバイオサイエンスとバイオテクノロジーについて総合的に学びます。3年次後期から8つの専門分野に分かれて専門知識・技術を高め、4年次に指導教員のもとで独自の卒業研究に取り組みます。

特色ある授業

有機化学I



有機化学反応を電子移動の矢印で書く勉強法で酵素反応を解説する講義。1つ1つの矢印の理由を知ると、酵素のすばらしさ・生物の不思議さが判ると言うものです。独自の講義資料が充実、ペン型マウスで投影画面に書き込んで説明、授業の要点を説明した動画がMoodle(eラーニングシステム)で配信されるなど、学生満足度の高い、手作り型マルチメディア授業です。



STRONG POINTS 生命化学コースのここに注目

海の微生物ハンター



田中 礼士 準教授 海洋微生物学研究室

海水1mlのなかには細菌とよばれる微生物が百万匹もいることをご存知ですか?細菌は目には見えないくらい小さいですが、海洋での分解者として重要な役割を担っています。これらの細菌の多くは培養が困難な未知の世界です。私の仕事は、これまでに報告のない、新しい海洋細菌を見つけ出し、どのような能力を持っているかを調べることです。まさに「微生物ハンティング」です。いま目をつけているのは海藻から新しい化成品やエネルギーを作るための細菌です。また海の無脊椎動物と共生する細菌なども精力的に研究を行っており、これまでに報告例のないイブシロンプロテオバクテリアや、海洋由来スピロヘータなどを発見しています。これらの細菌の培養を成功させるのは、若い諸君です!!



将来のVISION

進学・就職状況

令和6年5月1日現在

農業・林業・漁業・鉱業

まほろばファーム株式会社、空浮合同会社、北広牧場…

建設業

株式会社奥村組、清水建設株式会社、鹿島建設株式会社、住友林業ホームテック株式会社…

製造業

ヤマモリ株式会社、井村屋株式会社、山崎製パン株式会社、キッセイ薬品工業株式会社、カネ美食品株式会社、株式会社クボタ、本田技研工業株式会社、株式会社河合楽器製作所…

情報通信業

株式会社ウェザーニュース、三菱電機ソフトウェア株式会社、一般財団法人リモート・センシング技術センター、株式会社日本農業新聞…

運輸業・郵便業

中日本航空株式会社、東海旅客鉄道株式会社(JR東海)、国際航業株式会社、アジア航測株式会社…

卸売・小売業

名古屋デリカフーズ株式会社、株式会社マルイチ産商、ナイス株式会社、ゲンキー株式会社…

金融・保険業

株式会社百五銀行、第一生命保険株式会社、三井住友海上火災保険株式会社…

学術研究・専門・技術サービス業

中日本技研株式会社、株式会社ニトリホールディングス、株式会社プランジスタメディア…

宿泊業・飲食サービス業

日本ゼネラルフード株式会社、株式会社京樽、株式会社しま寿司、株式会社グランピタルホテル&リゾート…

教育・学習支援業

三重県教育委員会、ヒューマンアカデミー株式会社、株式会社さなる、株式会社テニスラウンジ…

公務員

農林水産省、林野庁、気象庁、経済産業省、水産庁、三重県庁、愛知県庁、大阪府庁…

大学院進学

三重大学大学院、名古屋大学大学院、北海道大学大学院、筑波大学大学院、帯広畜産大学大学院、高知大学大学院、九州大学大学院、横浜市立大学大学院、奈良大学大学院、京都大学大学院、岐阜大学大学院、東京大学大学院 等

大学院で学ぶ

生物資源学のより専門的な知識を習得しながら科学的思考を身につけ、自ら設定した課題に対する解決能力を高め、研究者として独り立ちすることを目指します。生物資源学部卒業生の30~40%が大学院(生物資源学研究科)に進学し研究を続けています。

生物資源学研究科の特徴

- 博士前期課程(修士)と博士後期課程(博士)を単独で有しているので、キャンパスや大学を移動することなくじっくりと研究に取り組むことができます。
- 生物資源を研究するための最先端機器を用いたラボワークと附帯施設におけるフィールドワークで充実した研究生活を送ることができます。
- 海外協定校とのダブルディグリープログラムや、連携大学院における最先端かつ実践的な共同研究による学位の取得も可能です。

大学院生物資源学研究科

資源循環学専攻

生物資源を循環的に利用するための技術の開発や、新しい社会のデザインができる人材を育成し、調和のとれた循環型社会の構築に貢献することを目指します。

基礎的学問分野である地球科学を対象とする地球環境学講座、生物生態に関する知識を基に情報処理技術を核とした環境情報の計測・制御・システム工学を手段とする環境情報システム工学講座、社会経済的側面および生産環境技術的側面から生物資源利用を教育研究する森林資源環境学講座、社会経済的側面および生産環境技術的側面から生物資源利用を教育研究する国際・地域資源学講座の3講座から構成されています。

共生環境学専攻

地球生命圏の環境を理解し保全・修復しつゝ、人間活動と生態系が調和する持続的な生物生産システムの構築を目指します。

基礎的学問分野である地球科学を対象とする地球環境学講座、生物生態に関する知識を基に情報処理技術を核とした環境情報の計測・制御・システム工学を手段とする環境情報システム工学講座、自然の営みと人間が直接かかわる農村や田園を保全し物質循環の場として持続的利用を図る農業土木学講座の3講座から構成されています。

生物圏生命科学専攻

生命科学全般に関する基礎的学理と、海洋の資源生物の育成・保全・管理に関わる学問とその実践的教育を通じた修得を目指します。

生命現象の仕組みや分子の構造と機能を明らかにし、機能性分子や食品の開発、環境技術などに応用する生命機能化学講座、海洋生物の生命機能を化学的に解明し、海洋の生物資源を有効利用することに資する海洋生物学分子化学講座、淡水水域を含む水圈の生物を対象として生物の営みを多様なスケールで理解する海洋生物学講座の3つの講座から構成されています。

学生からのメッセージ VOICE

好きなことを学ぶ
楽しさや喜び



大学院生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻
博士前期課程2年 竹内 梨乃 さん(愛知県立旭丘高校出身)

海洋生物資源学科では、多様な水棲生物の生理生態やそれらを育む環境、そして私たち人間にによる保全と利用など水圈に特化した幅広い内容を学びます。中でも様々な生物の解剖や観察、勢水丸に乗船して行う海洋観測や試験操業、三重県で養殖が盛んな真珠の挿核実習など、本学科ならではのユニークな実験・実習が充実しております。知識や技術を実践的に身につけられることは大きな魅力といえます。

私は“海”に対して漠然と興味を抱いてきましたが、大学で専門的に学ぶ中でその興味がより一層深まり、熱中できる研究テーマも見つけることができました。大学は自由にかつ専門的に学べる場所です。是非、好きなことを追究する楽しさや喜びを感じましょう!

研究の楽しさを知る



大学院生物資源学研究科 資源循環学専攻
博士前期課程1年 竹田 奏斗 さん(愛知県立千種高校出身)

自分の所属している大学院生物資源学研究科資源循環学専攻には農業生物学講座、森林資源環境学講座、国際・地域資源学講座の3つがあります。自分は森林講座の森林微生物学研究室に所属しており、そこでキノコや土壤に生息する微生物についての研究を行っています。自分はこれまで森林についての知識がありませんでしたが、勉強を進めていくと森林微生物の多様性やその面白さは新鮮で、今取り組んでいる研究もとても楽しいです。三重大学を受験される皆さんも大学に入るとそれまで知らなかったことがほとんどだと思いますが、その未知を探求する楽しさで研究に打ち込んでもらえたら嬉しいです。ぜひ頑張ってください。



大学院 地域イノベーション学研究科

Graduate School of Regional Innovation Studies

アドミッション・ポリシー

このような人を求める

博士前期課程

- 大学部等で修得した学習内容を幅広く理解し、基礎的な専門知識と外国語力を身につけている人
- 基本的なコミュニケーション力を身につけている人
- 地域の問題について自ら感じ(感じる力)、問題解決方法を考え(考える力)、社会を発展させる(生きる力)意欲のある人
- 国際的に通用する基礎的研究能力およびプレゼンテーション能力等の実践的なコミュニケーション力を修養する意欲のある人
- 多面的な視野に立った研究シーズの発掘とプロジェクト・マネジメントに興味があり、新事業の創出や、地域社会の発展と国際社会の協調に関心がある人
- 科学技術と社会の変革により、地域の企業や行政において新しい価値を創り出す「地域にゼロから1を創造できる社会起業家(ソーシャル・アントレプレナー)」となる意欲のある人

博士後期課程

- 大学院や実社会等における学習内容や経験を幅広く修得し、高度な専門知識と外国語力を身につけている人
- プレゼンテーション能力等の実践的なコミュニケーション力を身につけている人
- 地域の問題について自ら感じ(感じる力)、問題解決方法を考え(考える力)、社会を発展させる(生きる力)意欲の強い人
- 国際的に通用する基礎的研究能力および外国語によるコミュニケーション力を修養する意欲の強い人
- 多面的な視野に立った研究シーズの発掘とプロジェクト・マネジメントに興味があり、新事業の創出や、地域社会の発展と国際社会の協調に関心がある人
- 科学技術と社会の変革により、地域の企業や行政において新しい価値を創り出す「地域にゼロから1を創造できる社会起業家(ソーシャル・アントレプレナー)」となる意欲のある人

このような人を育てる

博士前期課程

専門分野における研究開発や新事業の創出を担当者として遂行できる基礎的研究能力とマネジメント能力を兼ね備えた人を育てます。

博士後期課程

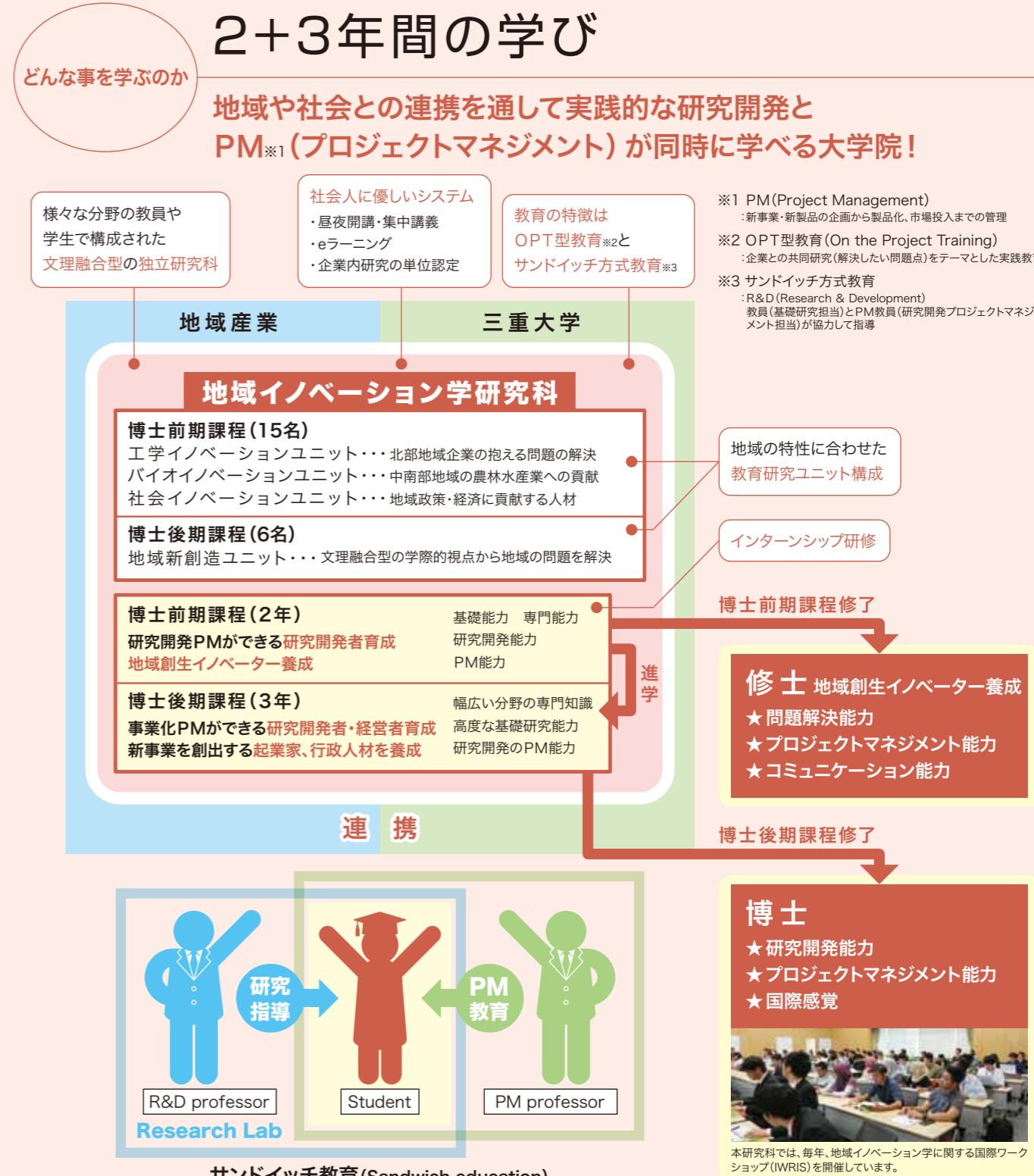
自立した研究者として国際レベルの研究開発や新事業の創出を責任者として遂行できる高度な研究能力とマネジメント能力を兼ね備えた人を育てます。



大学院 地域イノベーション学研究科長

諏訪部 圭太

地域イノベーション学研究科は、最先端の高度な研究開発能力と共に、新事業の企画・提案力や課題解決力を身につけた「プロジェクト・マネジメントができる研究開発系人材」及び「ソーシャル・アントレプレナー人材」を育成する文理融合型の研究科です。本研究科では、企業や自治体における課題を解決するプロジェクトを題材とした実践的教育を行う「OPT (On the Project Training) 教育」や、研究開発能力の養成を担当するR&D (Research and Development) 教員とプロジェクト・マネジメント能力の養成を担当するPM (Project Management) 教員が異なる角度から1人の学生を研究指導する「サンドイッチ方式教育」を実践しています。理系・文系を問わず、どの学部の卒業生も入学を歓迎します。



学びの特色

■ サンドイッチ方式教育

基礎研究能力の養成を担当するResearch & Development(R&D)教員とプロジェクト・マネジメント能力の養成を担当するProject Management(PM)教員が協力して1人の学生を指導するサンドイッチ方式教育により、それぞれの専門分野で活躍する「プロジェクト・マネジメントができる研究開発系人材」を育成します。

■ OPT型教育

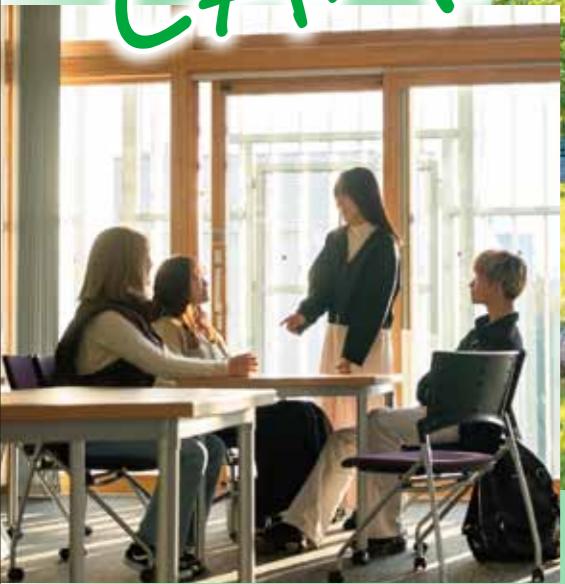
産業界で求められる実践的能力の養成のため、地域企業との共同研究プロジェクトを「特別研究」の題材として活用する「On the Project Training(OPT)型教育」を実施します。

■ 地域創生イノベーター資格認定

地域から世界に通じる新たなビジネスを創造する人材を「地域創生イノベーター(Regional Revitalization Innovator)」と定義し、博士前期課程に教育コース「地域創生イノベーター養成プログラム」を立ち上げ、RRIを養成します。

キャンパスライフ

CAMPUS LIFE



CAMPUS CALENDAR 三重大学のイベント

美しい三翠に囲まれた三重大キャンパスでは、四季折々たくさんの行事が繰り広げられます。

毎日の講義や実験、実習に加えて、三重大学ならではの数々のイベントが、あなたの学生生活を豊かに彩ります。



- 4 April
● 前期授業開始
● 新入生オリエンテーション
● 入学式

- 5 May
● 開學記念日(5月31日)

- 6 June
● 教育実習

- 7 July
● 前期定期試験
● 入学者選抜要項公表
● 東海地区国立大学体育大会



- 8 August
● 学校推薦型選抜学生募集要項公表
● 夏季休業
● オープンキャンパス

- 9 September
● 教育実習
● 大学入学共通テスト受験案内配付

- 10 October
● 後期授業開始
● 秋のミニオープンキャンパス

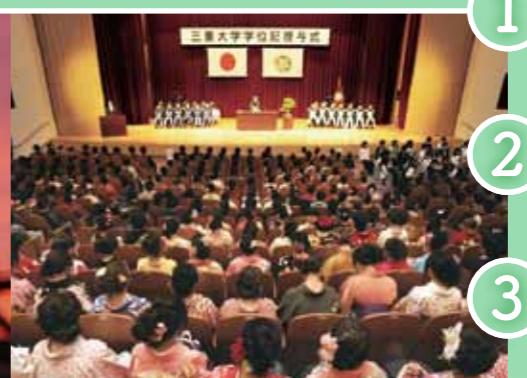
- 11 November
● 一般選抜募集要項公表
● 大学祭

- 12 December
● 冬季休業
● 東海地区国立大学文化祭

- 1 January
● 一般選抜(前期・後期)出願受付開始
● 大学入学共通テスト

- 2 February
● 後期定期試験
● 一般選抜(前期日程)

- 3 March
● 春季休業
● 学位記授与式
● 一般選抜(後期日程)



CAMPUS MAP

三重大学上浜キャンパス

伊勢湾を望むシーサイドキャンパス



F 看護学科棟



G 医学部



H 医学部附属病院



J 環境・情報科学館



K 講堂 (三翠ホール)

世界一の環境先進大学を目指すために、環境に関する取組み等をわかりやすく展示し、環境を学べるコーナー等を設けています。

L 地域共創プラザ(第1食堂)

屋根が貝殻のデザインで入学式や学位記授与式のほかいろいろなイベント会場として利用されています。

AIRSCAPE 空から見た三重大学



三重大学生活協同組合

<https://www.univcoop-tokai.jp/mucoop/>

本学キャンパス内に、生活協同組合の店舗や食堂があり、学生、院生、教職員の福利厚生施設として、勉学研究や日常生活をサポートしています。

レジ袋の削減にも取り組んでいます。



食堂



2023年に新設された地域共創プラザ1階にあるメイン食堂(学食)です。教職員のみなさんも利用します。食べたいメニューを決めたらカウンターで注文します。健康バランスを考えた惣菜メニューを多数取り揃えています。また完全セルフでレジ精算も早い唐揚げセットコーナー(クイックレーン)も人気です。毎日11:45から数量限定で販売、「美味しい」「午後の授業に間に合う」と大好評です。夕食営業も行っています。

第1食堂



工学部の西側、三翠ホールと医学部看護学科校舎の間にある平屋の白い建物です。主に医学部・工学部のみなさんが昼食で利用する、セルフサービスのカフェテリア食堂です。健康バランスを考えた惣菜メニューの他、麺メニューも充実しています。コロナ禍では提供中止していたビュッフェメニュー(量り売り)を再開、多くの学生&教職員から好評いただいています。

第2食堂



翠陵会館2階にある隠れ家的存在のレストランです。第1食堂・第2食堂とは異なる生協オリジナルメニューを提供しています。お財布と時間にちょっと余裕がある方におすすめです。「ぱせお」とはスペイン語で散歩道の意味です。

購買



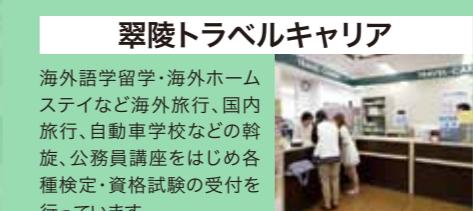
翠陵店は図書館西隣、翠陵会館1階にある複合型のお店です。コンビニフロアではオリジナルの丼・ベーカリーなど様々な食事、菓子や食品、飲料・デザートなどを販売しています。生協で一番営業時間が長いお店です。

翠陵店コンビニ



大学での学びに必要な文房具や教材、講義やゼミ、研究で必要な専門書や参考書を取り揃えています。授業開講時は教科書を販売します。また自己スキルアップや就活などの書籍も販売しています。

翠陵店文具&書籍フロア



海外語学留学・海外ホームステイなど海外旅行、国内旅行、自動車学校などの斡旋、公務員講座をはじめ各種検定・資格試験の受付を行っています。

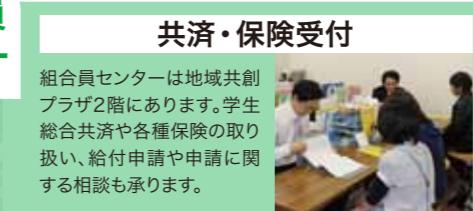
翠陵トラベルキャリア



第2食堂内に併設された医学部・工学部向けの店舗です。医学書・工学書をはじめ、講義で使用する聴診器や白衣・製図用品などを取り扱っています。弁当・飲料・デザート・お菓子なども取り扱いしています。

第2購買書籍店

組合員センター



組合員センターは地域共創プラザ2階にあります。学生総合共済や各種保険の取り扱い、給付申請や申請に関する相談も承ります。

共済・保険受付



三重大生におすすめの住まいを斡旋しています。三重大生限定の生協オリジナルマンションの他、ご要望にあわせマンション・アパートをご紹介します。またアルバイト紹介では三重大生向けの家庭教師やアルバイトなどを、年間を通じてご紹介しています。

住まい斡旋・アルバイト紹介

学生による 学生支援活動



ピアソポーター 学生委員会

ピアソポーター学生委員会は、学生目線で学生のサポートを行う団体です。「ピア(peer)」は「仲間」を意味しており、ピアソポーター学生委員会では、同じ三重大学に通う学生の大学生活をより充実させるべく活動しています。新入生の履修や大学生活について相談を受けつける「なんでも相談」、新入生に大学の敷地を案内する「おさんぽ企画」、たこ焼きを食べながら会話を楽しむ「たこ焼きパーティー」などの大学内を対象とした活動だけでなく、他大学で同様にピアサポート活動を行っている団体との交流なども行っています。

ACS学生委員会

ACS学生委員会(障害に関する学生委員会)は、障害に関する様々な活動を行っている団体です。最近は、障害というテーマにとらわれることなく、生活上の困りごとや苦手さを支える活動にも力を入れています。これまで、三重大にいる人が自由に書き込めるノート「お便りノート」の運営や、新聞「ACSのねえ知ってる?」の発行、カフェサークルとコラボした「手話・筆談カフェ」の開催、他大学との交流等、様々な活動を行ってきました。他にも、手話の勉強会、七夕やクリスマス等の季節の行事に合わせた企画行事等、楽しく活動しています。

CPS学生委員会

CPS(キャリア・ピアサポート)学生委員会は、2023年春から活動を開始した新たな学生委員会で、学生による学生のための「キャリア」に特化した支援活動を行う団体です。昨年度はグループディスカッションを行うイベントや、民間企業に就職した卒業生に対するアンケート調査、学生生活に関する相談会などの企画を考え実施しました。

今後も、職業選択にとどまらない「人生そのもの」としてのキャリアを考える企画を計画し、学生ならではの支援活動に励んでいます。

2つの団体をそばで見守りながら思うこと

私は普段、「障害学生支援部門(障害学生支援センター)」という部署で、障害や疾患等のある学生やその家族への支援を行ったり、学生がよりよい大学生活を送れるよう学内外の教職員・関係機関と連携して環境調整を行う役割を担っています。ピアソポーター学生委員会とACS学生委員会がともに活動拠点としている「ピアサポートルーム」は、私のいる部署のちょうど隣にあります。両団体には教員として参加し、そばで活動を見守っています。

教員という立場で参加していますが、所属学生たちが主体的に様々な企画を計画・実行していくため、先生然として関わるよりも「隣人」「年上のメンバー」のようなスタンスを意識しながら、活躍する学生たちをそばで支えています。

彼(女)らは、「目の前の相手をサポートする」という私のような公認心理師・臨床心理士とも共通する志向性のもと、日々活動を行っています。その中で培われるコミュニケーション力や相手を思いやる力、考える・感じる・行動する力、そして数えきれないほどの経験や思い出は、学生が社会に出ていく際の貴重な財産になるのだろうなあと思いながら日々見守っています。

教育推進・学生支援機構 学生支援・キャリアセンター障害学生支援部門講師 公認心理師・臨床心理士 風間 悅希



三重大学では、教職員による学生支援はもちろんのこと、学生のキャリア教育の一環として、学生が主体となって同じ三重大学の学生を支援する取り組みを行っています。教職員が学生に対して行う支援とは異なり、同じ学生という目線だからこそできる協力、支援の形がそこにはあります。

支援にあたる学生それぞれが目的意識を持っており、様々な活動や経験を通じて、自分だけでなく三重大学に通う学生一人ひとりの学生生活が充実したものになることを目指しています。

学生による学生支援の幅は、新入生や大学生活に慣れてきた2・3年生、就職活動を控えた4年生、心身に障害を抱える学生など多岐に渡っており、それぞれの活動内容について関心のある学生が諸活動にあたっています。

キャリア教育に関心を持った学生や、支援を受けた経験から支援を行う立場に関心を持った学生が集い、三重大学の学生による学生支援活動の輪は、脈々と受け継がれています。



ACTIVITIES, Clubs&Circles

課外活動

課外活動は、学生が自主的・自立的に行う正課教育外の諸集団活動です。

大学教育においては、学力の養成と人格の形成をその目的にする授業が重要であることはいうまでもありませんが、同時に課外活動も重要です。広く友を得、先輩や後輩との交流を通じて正課では得られない経験や知識・技能が習得出来るだけでなく、連帯感や協調性を育て、また判断力・創造力等を養う等、本学の教育目的である「感じる力」・「考える力」・「生きる力」の涵養のためにも果たす役割は大きなものがあります。

本学には多くのクラブ・サークル等が活動していますので、大学生活を豊かにするためにも積極的に参加し、意義のある学生生活を送ってください。

自治会活動

本学には、各学部に学生自治会が組織されています。その目的は、学生の自主的活動によって、より豊かで明るい学生生活を期するところにあります。

大学が学生の自主的活動を認めているのは、学生生活における自立性の涵養、社会性の陶冶あるいは学生相互の啓発等の教育的意義から、学生の人間形成に役立つものであると考えるからです。

学生はこの点を十分理解し、その運営にあたっては、健全にしかも学生の総意が正しく反映されるように積極的に参加するよう期待しています。

サークル活動

サークル数／加入者数 2023(令和5)年度

	サークル数	加入者数
体育系	76 団体	2,635人
文化系	68 团体	2,147人
計	144 团体	4,782人

走って跳んで投げて支えて！

全学陸上競技部

活動日／月・火・木・金(16:00～)、土・祝・長期休み(9:30～)

こんにちは！全学陸上競技部です。私たちは月、火、木、金:16:00～、土・祝・長期休み:9:30～で活動をしています。短距離、長距離、フィールド、投擲ブロックがあり、それぞれのブロックが日々、自己ベスト更新や西日本インカレ・全日本インカレなど、よりレベルの高い大会への出場を目指して活動をしています。大学から陸上を始めた、新しい種目に挑戦した選手もたくさんおり、マネージャーとして選手を支えてくれる部員もいます。普段はバイトや課題と両立して部活に参加し、大学生活も楽しめる部活になっています。ぜひ、合格後は陸上部へ！

教育学部学校教育教員養成課程 保健体育コース 3年 松本 渚



初心者大歓迎！ぜひ馬術部へ！

馬術部

活動日／平日(火、水、金)(16:30～)、土日祝(8:30～)

三重大学馬術部は、今年、創部70年を迎える歴史ある部です。日々、多くの卒業生の指導により充実した環境で活動をしています。普段の活動は、大学内にある厩舎・馬場で馬術の練習や馬の管理などを行なっており、馬の性格に合わせ、コミュニケーションを取りながら接することを心掛けています。また、部員全員で全日本学生馬術大会に向けて、切磋琢磨し、日々技術の向上のために練習に励んでいます。

馬に乗っているときに、馬との一体感を感じられることが魅力のひとつです。もし興味があれば、馬術部のHPに馬の紹介や練習の様子を載せているのでご覧ください。

受験生の皆さんとお会いできることを楽しみにしています。頑張ってください！

工学部総合工学科 電気電子工学コース 4年 河村 駿



吹奏楽団

活動日／毎週 火・木・金・土(平日18:00～20:00 休日10:00～17:00)

三重大学吹奏楽団は火・木・金曜日の18時～20時、土曜日の10時～17時に活動しています。団員みんな学業やアルバイトなどと両立しながら活動に参加しています。クラシックからポップス、ジャズまで様々なジャンルの曲を演奏しており、1年を通して多くの演奏会を開催しています。また、夏の吹奏楽コンクールでは毎年東海大会にも出場しています。

音楽が好き！楽器が好き！という気持ちさえあればどなたでも大歓迎です。性別や経験の有無は問いません。

大学でも吹奏楽を続けたい方や吹奏楽に少しでも興味のある方、新しいことにチャレンジしてみたい方、ぜひ私たちと一緒に演奏しませんか？春に皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

医学部看護学科 3年 前村 実玖

吹奏楽団で充実した大学生活を！



主要成績・実績

2023(令和5)年度

馬術部

東海地区国立大学体育大会

○準優勝

卓球部

東海地区国立大学体育大会

○優勝／男子・女子

空手道部

東海地区国立大学体育大会

○準優勝／団体戦女子



陸上競技部

東海地区国立大学体育大会

○準優勝／女子100m

○準優勝／女子円盤投(1kg)

弓道部

東海地区国立大学体育大会

○優勝



バスケットボール部

東海地区国立大学体育大会

○優勝

ソフトテニス部 女子

東海地区国立大学体育大会

○準優勝

剣道部

東海地区国立大学体育大会

○優勝

クラブ・サークル一覧

体育系の課外活動

- 陸上競技部
- 水泳部
- 硬式野球部
- 準硬式野球部
- サッカー部
- ラグビー部
- アメリカンフットボール部
- 馬術部
- 硬式テニス部
- ソフトテニス部
- 男子ハンドボール部
- バレーボール部
- バスケットボール部
- バトミントン部
- 卓球部
- ダンス部
- 剣道部
- 空手道部
- 少林寺拳法部
- 合氣道部
- ワンダーフォーゲル部
- 自動車部
- 弓道部
- ヨット部
- 端艇部(カッター部)
- トライアスロン部
- 応援団
- ジャグリアー／(ジャグリングサークル、大道芸)
- ロボコンクラブM3RC
- スキーバイキングサークル
- 天狗う(よこいサークル)
- サイクリングサークル
- ラインブレイク(釣りサークル)
- NEXT(ストリートダンス)
- WILL(テニス)
- American Football(Auditorium)
- 電気自動車研究会
- Links(ソフトテニス)
- CHASE(硬式テニス)
- サバイバルゲームサークル
- ITFテコンドーサークル
- 競技スキーパーク
- げつばド
- MBC
- HOMESTEAL
- 蹴る!マッハ(ショーマッハ)
- 三重大学モルックサークル
- つMörl
- 学生フォーミュラチーム(車両製作)
- 自転車競技部
- ユニアド
- アーチェリー部
- ハイチュー(バレーボール)
- 卓球サークル
- 健康増進ジョギングサークル
- Track
- BREAK(ギネス記録)
- 医学部サッカーパーク
- 医大野球部
- 医学部陸上競技部
- 医学部ゴルフ部
- 医学部ラグビー部
- 医学部ハンドボール部
- 医学部ソフトテニス部
- 医学部硬式庭球部
- 医学部バスケットボール部
- 医学部パドミントン部
- 医学部パレーボール部
- 医学部卓球部
- 医学部剣道部
- 医学部弓道部
- 医学部空手道部
- 合氣道部
- 医学部競技スキーパーク
- 医学部水泳部
- 医学部山岳部

文化系の課外活動

- 管弦楽団
- 吹奏楽団
- ギターマンドリンクラブ
- 邦楽部
- 室内楽団
- 写真部
- 合唱団
- 美術部
- 軽音楽部
- ピアノ同好会 KLUB KLAVIER
- 表千家茶道部
- 裏千家茶道部
- TRPG同好会
- 創作活動サークル リカゲル
- 囲碁・将棋部
- HELLO FM!
- 献血推進サークル*ヴァンパイア*
- エレクトーンサークル23 -two·three-
- 万葉旅行の会
- 音楽サークルBb
- かめっぷり
- 劇団アディスト(演劇)
- ねこサークル
- 天文サークル SOLA
- BBS(教育ボランティア)
- ぶるさ。(アンサンブルサークル)
- Pioneer(アカペラ)
- アンビシャスカード(マジック)
- 食農サークル 農らく
- てらごや(国際交流サークル)
- Meiku[マイク](地域おこし)
- つくしんばサークル(子供ボランティア)
- mil-poa(手芸サークル)
- カフェ・サークル Le Lien
- Bio record(標本作製サークル)
- 計算研究会
- トラッパーズ
- aquri-M
- 三重創生ファンタジスタクラブ
- 忍者部
- ESD-SDGs
- DOT
- 競技かるたサークル
- オカルト研究部
- 法医学研究会
- コスメサークル ROUGE
- 魚食サークル Marisco
- 学生団体FORTUNE
- 教職サークル「ぼーろ」
- バーチャルキャンパス(MUVC)
- International Group
- Organicrops
- 書道サークル
- イリュージョン(ポケモンサークル)
- お茶サークル
- KEEP OUT(世界のお祭り)
- ぬいぐるみサークル
- ぬいゆるり



人文学部文化学科 3年
内藤 蓮実さん (高卒認定試験)



人文学部法律経済学科 3年
水野 優風さん (愛知県立五条高校出身)



教育学部学校教員養成課程 音楽教育コース 3年
久保田 そらさん (私立高田高校出身)



教育学部学校教員養成課程 保健体育コース 3年
丹賀 恒稀さん (三重県立四日市南高校出身)

人文学部

大学の講義

現在私は言語学の母語獲得と言う分野を学んでいます。母語獲得とは、幼児が母語を獲得する過程について研究する分野です。入学当初は哲学を専攻にする予定だったのですが2年の前期に言語学に触れ、人が言語を獲得するメカニズムに興味を持ち、言語学を専攻としました。ゼミでは英語の論文を読んだりします。この分野で重要なものは仮説と検証であるため、幾つもの言語に精通している必要はありません。基本的に論文を読めるくらいに英語を知っていれば大丈夫です。

専攻とは別に受けている普通の講義では、サンスクリット語やヨーロッパの社会、数理学などを学んでいます。3年になると興味のある講義に偏ります。

「三重大学」を選んだ理由

実家からそこそこ近かったこともあります、大学の施設が一か所に集まり広い敷地を持ち、自然に近くあまり騒がしくないところも三重大学を選んだ理由です。

•MESSAGE•

受験を乗り越えれば一息付けます。
頑張ってください！

人文学部

忙しくも充実した日々

私は三重大学に入学し、かねてより憧れを抱いていたキャンパスライフを全力で諂ひながら活動していると実感しています。休日は、私が代表を務める30年続くアウトドアサークルで、海と山に囲まれ、自然に溢れた三重県を最大限に活かした活動を楽しみ、平日も毎年全学年一緒に合宿に行くほど仲の良い金融論ゼミで、将来の夢に向けて、仲間たちと協力して研究に勤しんでいます。1年生に始めた一人暮らしは、初めこそ大変でしたが、今では家事にも慣れ、自分好みに仕上げた部屋は友達との思い出が沢山詰まっています。社会人になってしまっても手放したくないぐらいです。

この充実した日々は、厳しい校風の中で必死に勉強した高校時代と、法律経済学科の多岐にわたるサポートのもと挑戦し続けられる今の環境があるからこそだと思います。

「三重大学」を選んだ理由

法律も経済も幅広く学べる学科に行きたかったこと、一人暮らしをさせてもらえる条件が国立大学であったことが大きな理由です。

•MESSAGE•

時間は有限、可能性は無限です。
最後の1秒まで頑張ってください！応援しています。

教育学部

豊富な学びができる大学生活

私は「教員になりたい」「音楽が好きだ」という思いがあり、三重大学の教育学部音楽教育コースに入学しました。音楽教育コースでは、音楽を通して人と関わりながら教育について考えることができます。また、実地研究では実際に子どもたちと関わったり実践的な活動もあり、とても充実した学びを得ることができます。

学業のほかに、音楽系の部活動とアルバイトをしています。大学生になってから様々なことを学びながら経験し、自分を見つめ直す時間が増えました。知識や考え方の幅を広げることができていると思います。

「三重大学」を選んだ理由

教育学部で音楽を専攻でき、家から通える大学であるため三重大学教育学部を選びました。

•MESSAGE•

大学では多くのことを学ぶことができます！
充実した学生生活を送りましょう！

教育学部

文武両道な大学生活

私は、中学生の頃に保健体育の教師に憧れ、教職を目指すようになりました。講義では、保健体育に関する知識・理論の習得、模擬授業の実践などを通じて、専門的知識や実践的指導力を培っています。実技では、実技能力の向上だけでなく、指導法も習得しています。これまで学んできた、より強く教師を志すようになりました。

授業後は、所属している運動部の活動に励んでいます。学年や学部を越えて、部全体で一つの目標に向かって取り組み、かけがえのない友人にも恵まれています。

また、自分で時間を作り、授業の課題や教員採用試験の勉強に取り組んでいます。

文武両道という目標を掲げ、充実した大学生活を送っています。

「三重大学」を選んだ理由

地元である三重県の児童生徒と関わりながら、憧れている教師を目指すことができると思い選びました。

•MESSAGE•

充実した大学生活を三重大学で一緒に送りましょう！



医学部医学科 3年
堀 明日香さん (東京都立西高校出身)



医学部看護学科 4年
川口 杏莉さん (大阪府立泉陽高校出身)



工学部総合工学科 情報工学コース 3年
大平原 韶生さん (私立東海高校出身)



工学部総合工学科 応用化学コース 2年
佐々木 七生さん (三重県立四日市高校出身)

医学部医学科

充実した大学生活

部活は医学部陸上部に入っています。勉強との両立が不安で、義務練が週1しかない陸上部に入りましたが、勉強自体は思っていたより忙しくなく、週3である自主練にもたまに参加しています。部活自体も楽しいのですが、練習後に行く部飯は美味しいご飯も食べられるし、先輩方と仲良くなれるので毎回それが楽しみで部活頑張っています(笑)。

アルバイトは、塾の個別指導を週2、婚礼や宴会の配膳を週1、たまに試験監督もやっています。様々なバイトがあるので、大学生のうちにいろんなバイトをやってみたいなと思っています!

バイトをしてお金を貯めて旅行に行ったり、部活に熱をそいだり、自分のやりたいことを好きなだけできるので毎日が充実していて楽しいです。

「三重大学」を選んだ理由

共通テストの成績で受かる可能性があったから。三重の病院で高校生の時に実習をさせていただいたから。

•MESSAGE•

今は勉強が大変だと思いますがちょっと辛抱すれば、自由で楽しい大学生活が待っています! がんばれ!

医学部看護学科

楽しくて充実した大学生活

1年生の時は教養の授業が多かったのですが、学年があがるごとに看護学に関する授業が増えています。課題やレポートの量はかなり多いですが、実習に役立ったなと思うこともあります。確かに課題が多いときはアルバイトとの両立が大変ですが、アルバイトの時間が息抜きやリフレッシュにもなっていたなとも思います。

私は、アルバイトや旅行、その他自分がやりたいと思うこと、好きなことを全力で楽しんで日々過ごしているので、本当に毎日が楽しいです! 勉強を頑張ることも大切ですが、大学生だからこそ色々なことにチャレンジして自分が楽しいって思える日々を過ごしてほしいなって思います。

「三重大学」を選んだ理由

自然に囲まれて大学生活を送りたいなと思ったことと、自分のやりたいことができる大学であったため。

•MESSAGE•

びっくりするぐらい自由で楽しい日々が待っていますよ!!

工学部

一期一会の毎日

普段はソフトウェア開発やシステム工学など情報工学分野の幅広い知識を満遍なく学んでいます。三重大学では主にC言語を用いた開発が多いのですが、授業によってはPythonなど他言語を用いた授業もあり、将来を見据え、社会の即戦力となれる技術を学部生の時点で習得できます。

授業以外では「ジャグリアーノ!」という大学公認のジャグリングサークルに所属しており、ジャグリングを通じて、サークルのメンバーと交流したり、時には外部での依頼公演にて、たくさんのお客さんの前で演技をしたりしています。

工学部と聞くと忙しいイメージがあると思いますが、名古屋から通っている私でも、学業に集中しながら、サークルとバイトもしっかりとでき、毎日充実した大学生活を送っています。

「三重大学」を選んだ理由

受験生当時、具体的な夢が定まっていなかった時、三重大学の工学部総合工学科では、一年生の間に工学部のあらゆる分野を履修して、二年生から行きたいコースに配属されるというシステムがあることを知り、ここなら一年間、自分の将来像を考えることができると感じたため。

•MESSAGE•

努力をした分だけ成長できます。努力は無駄ではありません。努力している人は素晴らしいです。最後まで諦めず努力し続け、必ず合格を勝ち取りましょう。

工学部

三重大学で充実した毎日を

私は化学分野に興味があり、三重大学の工学部・応用化学コースに入学しました。現在は、有機化学・無機化学・分析化学など様々な分野の授業を受けています。2年生からは化学の実験が始まります。実際に手を動かすことにより理解を深めることができ、みんなと試行錯誤しながら結果を出すことにやりがいを感じています。その上、初めて見る器具を扱えることも魅力の一つです。

学業の他には、部活動と2つのアルバイトをしています。部活動では高校までは違った、学生が主体となって練習や事務作業を進めています。夏の合宿や演奏会など様々なことに挑戦でき、良い経験となっています。興味のあること、好きなことができるとても満足しています。

「三重大学」を選んだ理由

家から通える距離であること、以前から興味のある化学分野について学べることが理由です。

•MESSAGE•

自分の「やりたい!」という気持ちを大切に、様々なことに挑戦していきましょう!



生物資源学部資源循環学科 2年
藤田 実優さん (大阪府立豊中高校出身)



生物資源学部海洋生物資源学科 2年
遠藤 伊吹さん (愛知県立半田高校出身)

生物資源学部

好きなことを学ぶことができる楽しさ

私は農業生物学教育コースに所属しています。授業は主に生物系の授業で、1年の時に比べて専門性が高くなっています。実験のレポートや課題に追われる毎日ですが、どの授業も新しい発見があり、とても楽しいです。私のコースの良い所は、三重大学の農場でイネや野菜の生育調査や羊の毛を刈るなど、講義で学んだことを実践し、幅広く学ぶことができる所です。また、学科の授業の他に、1年の時からSIE(英語での授業)を受けています。学部を超えて様々な人と交流しながら、英語力を高められるように努力しています。

学業以外では、部活はダンス部に入り、バイトもしています。1週間を通してたくさん自由時間があるわけではないのですが、大好きな先輩や同期に囲まれて、楽しく充実した毎日を送っています。

「三重大学」を選んだ理由

先輩が大阪から三重大学に進学し、三重大学の話をよく聞いていました。私は生物系の学部に入りたいと思っており、山と海に囲まれたキャンパスと様々な施設や研究室に惹かれ、ここで学びたいと思ったからです。

•MESSAGE•

三重大学に入学して、本当に良かったと思っています。
一緒に楽しい大学生活を送りましょう!

一日のスケジュール	
6:30	●起床
8:30	●家を出る 通学
8:50	●講義
12:00	●昼食
13:00	●講義
17:00	●部活
20:30	●帰宅
	●課題・ 自由時間
24:30	●就寝

生物資源学部

今だけの貴重な経験をしよう

1年生の授業は英語や数学などの一般教養の授業がメインですが、夏休みに実習や集中講義がほとんど無いので自分の好きなことに時間を使うことができます。2年生以降は専門の授業が増え、長期休みには三重大学の練習船勢水丸で伊勢湾の海洋調査をする乗船実習や水産実験所での実習などが始まるので私もこれから授業が楽しみです。

アルバイトはカフェで週に3日程度働いています。

お客様とお話しする機会があり、ラテアートなどの

様々なことに挑戦できるお店なので、日々やりがい

を感じています。

私は「かめっぷり」という、三重県のウミガメとス

ナメリの調査をしている生物系のサークルに入っています。

三重県内外でウミガメについて学べる研修、合宿など、そのサークルでしかできない体験を

することも出来るのでとても楽しいです。

学業以外では、サークルやアルバイトの友達や先輩とご飯に行ったり、遊びに行ったりすることが日々の楽しみです。まとまつたお休みが取れたら帰省して家族と出かけたり、ペットに癒されたり、同級生と遊んだりして、息抜きをするようにしています。学業と遊びのメリハリのある生活が、大学生活を一層楽しいものにしてくれます!

「三重大学」を選んだ理由

幼少期から生き物が好きで、様々な生物を飼育していました。また、中学生の職場体験で水族館の学芸員さんのお仕事を体験して、水生生物について学びたいと思い、生物資源学部の海洋生物資源学科を受験しました。

•MESSAGE•

三重大学で一緒にたくさん新しい経験をしましょう!
応援しています。



学生支援システム

三重大学に入り学生生活を送る上で、勉学上、健康上及び経済上等、さまざまな問題が発生する場合があります。本学では学生が快適な学生生活を過ごせるよう種々の支援を行っています。

学生支援・キャリアセンター

本学学生の修学、就職、生活及び健康等への支援体制を充実し、快適な学生生活の実現を図ることを目的として、「学生支援・キャリアセンター」が設置されています。

学生支援・キャリアセンターは、①学生支援の総合的推進、②センター内の各部門（学生支援企画部門、キャリア支援部門、障害学生支援部門）及び学生支援企画部門内の各ユニット（修学支援ユニット、学生活動ユニット、学生相談ユニット）間の連携・調整、③その他学生の支援に関する業務を行っています。

学生支援企画部門 修学支援ユニット

学生支援企画部門修学支援ユニットは、全学的な立場から、皆さんの学生生活の充実を支援します。具体的には以下のような業務を行っています。

- ◎奨学金、入学料及び授業料の免除等、経済援助に関すること。
- ◎学生寄宿舎に関すること。
- ◎学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険に関すること。
- ◎その他、学生の生活支援に関すること。

学生支援企画部門 学生活動ユニット

学生支援企画部門学生活動ユニットは、学生の課外活動及び学生生活に係る以下の支援を行っています。

- ◎クラブ・サークル活動やボランティアなど学生の多様な課外活動を支援しています。
- ◎ピア・サポートー学生委員会及びACS学生委員会（障害に関する学生委員会）等の学生団体の活動を支援しています。
- ※ACSとは、“Accessibility and Communication Supporter”的略称です。
- ◎課外活動施設や福利厚生施設の利用に係る支援を行っています。
- その他学生の生活支援だけでなく、学生を取り巻くトラブルに本学学生が巻き込まれないための注意喚起等（薬物乱用禁止、SNSの利用や架空請求等）も行っています。

学生支援企画部門 学生相談ユニット (学生なんでも相談室)

学生支援企画部門学生相談ユニット（学生なんでも相談室）は、学生生活の中で困ったことや、わからないことが起きた時に気軽に相談できるところです。学業・友人関係・将来の進路・健康のこと・日常生活の問題など、どんな相談でも受け付けており、スタッフと一緒に解決策を考えていくことができます。長い大学生活の中では、一人で考えてもうまくいかないこと、友達には相談しづらいこと、友達と相談しても解決できないことがたくさん出てくるでしょう。そんな場合には、お気軽に相談室をご利用いただけます。

また、在学中のお子様に関する保護者からのご相談も承っています。

キャリア支援部門 (キャリアセンター)

キャリア支援部門は、学生が低学年から主体的に進路選択できるよう、全学的な立場から、キャリア教育、インターンシップ、就職支援等を推進することを目的として設置されています。

キャリア教育については、学生自らが人生の在り方を考え、また、それを将来の職業、そして生活へと結びつけていくことを可能にするために、学生のキャリア形成並びに修学を支援する授業科目を開講しています。

インターンシップについては、自らの職業適性や将来設計について考える機会を提供するため、学生が企業等で就業体験することをサポートします。

就職支援については、就職ガイダンス、学内企業説明会、就職情報の提供、キャリアカウンセラーによる就職相談等を行っています。

障害学生支援部門 (障害学生支援センター)

障害学生支援部門は、障害のある学生の高等教育機関への進学に対し、以下の支援を行っています。

- ◎障害学生支援に携わる教員が相談を承り、学部教員との連携のもと、授業等への支援を行っています。
- ◎学外から講師を招き、障害についての理解や、具体的な支援の在り方などを学ぶ研修会を開催しています。
- ◎さまざまな障害のある方々の理解と支援について、実践的な授業を開講しています。

障害学生支援部門では、障害のある学生をサポートする学生への支援（ACS学生委員会）や、障害学生支援を展開する全国の大学との連携を進める中で、学生が互いに学び合い、それぞれのキャリアに活かせるような取り組みを目指しています。

保健管理センター

■場所／総合研究棟II 1階 ■開室日／月曜日～金曜日（休業日を除く） ■時間／9:00～17:00

保健管理センターは、保健に関する専門的業務を行うところです。皆さんの健康の保持増進を図ることを目的として、医師・保健師・看護師及び心理カウンセラー（公認心理師）が、専門的な立場から【こころ】と【からだ】両面の相談に応じています。

こことからだの異常や病気の相談、また悩みや不安等、気軽に話し合える場所として利用してください。また、定期及び臨時の健康診断、応急処置、各種の医学的検査、その他心身の健康の保持増進について必要な指導及び検査研究、健康診断証明書の発行等を行っています。

支援方針

三重大学では、「学生支援の基本方針」・「キャリア教育方針」・「障害のある学生の支援に関する基本方針」を定めており、各学部及び学内関連組織と連携を図りながら、学生支援に取り組んでいます。

学生支援の基本方針

SUPPORT 1 教育目標の実現に向けた学生支援

三重大学では、「幅広い教養を身につけるとともに高度な専門知識や技術を有し、国際的な視野を持ち、社会のイノベーションを推進できる人材を育成する」という教育目標を実現するために、必要とされる学生支援を全学で取り組む。

SUPPORT 2 安心・充実の学生生活の実現に向けた学生支援

全ての学生が入学から卒業まで、安心かつ充実した大学生活を送ることができるよう、教職員および学生が共に協力し、学生支援の活動を行う。

SUPPORT 3 相談体制の充実と課題の解決に向けた学生支援

学生が抱える修学上の課題や進路・就職に関する課題、その他大学生活を通じて生じる様々な課題について、いつでも相談できる体制を充実させ、全学組織および各部局が連携して、課題の解決に向けた学生支援を取り組む。

SUPPORT 4 全学の支援体制整備と連携を通じた学生支援

学生支援体制のさらなる充実のために、「教育推進・学生総合支援機構」内に設置されている「学生支援・キャリアセンター」や、「保健管理センター」、「国際交流センター」、その他学内諸施設等は、相互に連携を図るとともに、各部局との連携を強化しつつ、学生に対する多面的な支援を実現する。

SUPPORT 5 学生自身の活動を通じた学生支援

学生自身による学生支援の取り組みを積極的に奨励し、ピア・サポート活動や学生団体の活動の活性化、課外活動の充実を図る。

「キャリア教育方針」・「障害のある学生の支援に関する基本方針」については、三重大学ウェブページをご確認ください。

キャリア教育方針

URL : <https://www.mie-u.ac.jp/life/career/career-policy.html>



障害のある学生の支援に関する基本方針

URL : <https://www.mie-u.ac.jp/support/education/shogai-shien-policy.html>



生活サポート

学生寄宿舎

三重大学には、3つの学生寄宿舎があります。入寮の募集等は、掲示板、三重大学ホームページ等で随時お知らせします。
なお、入学予定者への募集人数及び申請期間等の詳細は、入学試験合格者へ大学から郵送する「入学手続要項」においてご案内します。



男子寮(安濃津)

- 所在地／津市栗真中山町166番地
- 建物／【構造】鉄筋コンクリート4階
【面積】3,851m²
- 収容人数／109人
- 居室／【1室】1名
【面積】14m²
- 寄宿料／8,000円
(食堂無し・補食室有り)
- その他／徒歩15分



女子寮(清和)

- 所在地／津市栗真町屋字中新畠561番地
- 建物／【構造】鉄筋コンクリート3階
【面積】1,245m²
- 収容人数／60人
- 居室／【1室】1名
【面積】9m²
- 寄宿料／7,100円(食堂無し・補食室有り)
- その他／徒歩3分
- 3年次に国際女子寮へ転寮していただきます。



国際女子寮(碧海)

- 所在地／津市江戸橋2丁目174番地
- 建物／【構造】鉄筋コンクリート4階
【面積】2,137m²
- 収容人数／75人
- 居室／【1室】1名
【面積】13m²
- 寄宿料／5,900円(食堂無し・補食室有り)
- その他／キャンパス内



国際女子寮留学生センター

国際女子寮で生活する留学生を手助けする「留学生センター」がいます。入寮条件は、三重大学に在学している女子学生で、日本語と英語が話せる学生であれば学部生、院生、国籍は問いません。

こんな方はぜひご応募ください!

- 英語力には自信はないが、留学生の助けとなる活動がしたい
- 自分の研究時間も確保でき、英語も活かして留学生と交流したい
- 三重県内に住んでいるが、寮で暮らして留学生と交流がしたい

アパート・マンション

アパート・マンション等の案内は、三重大学生生活協同組合が年間を通して斡旋しています。

多くがキャンパス周辺にあり、現地まで案内をしています。

部屋の設備は風呂、トイレ、キッチン、エアコン、インターネット対応等を完備した物件が大半を占めています。

<https://www.univcoop-tokai.jp/mucoop/>

種類	6帖	8帖~10帖
オートロック	35,000円~	37,000円~
アパート	15,000円~	20,000円~
マンション	20,000円~	25,000円~

※なお、この料金の他に共益費・水道光熱費などが必要です。

学費・奨学金

学生納付金

全学部	入学料	282,000円	
	授業料	前期	267,900円
	後期	267,900円	

*本学では、授業料を学生または保護者(保証人)名義の預金口座から引き落として納付する方法(預金口座振替)を導入しています。この方法は、電気・ガス等公共料金の支払いに広く利用されており、本学指定の取扱銀行が、授業料を学生または保護者(保証人)名義の預金口座から引き落として大学へ納付する仕組みです。

奨学金・授業料等減免制度

I 高等教育の修学支援新制度

令和2年度より開始された給付型奨学金と授業料等減免の2つの支援が受けられる制度です。

支援の内容

- 授業料等の減免
(授業料と入学料の免除又は減額)
- 給付型奨学金
(返還が不要な奨学金)

支援の対象

- 勉学に励む意欲があり、またそれにふさわしい能力を持った学生が、経済的理由により修学をあきらめることがないよう、国が経済的な支援を行う制度です。本学もこの制度の対象校として認定され、令和2年度から実施しています。

申請手続き

大学進学前に在籍している高等学校より募集案内がありますので、詳しくは高等学校へお問い合わせください。採用候補者として決定された場合、大学進学決定後に進学届の提出及び授業料・入学料の免除申請が必要になります。

II 日本学生支援機構貸与型奨学金

奨学金の種類	第一種奨学金		第二種奨学金
特徴	①貸与奨学金 ②無利子 ※貸与総額のみを返還 ③貸与月額は通学形態別に選択 ④家計基準は二種より厳しい ⑤学力は高校評定値が3.5以上必要	※給付ではないので、卒業後に分割して返還します ※貸与総額に利息も併せて返還 ③貸与月額を選択できます(貸与開始後に月額の変更も可能) ④家計基準は一種より緩やか ⑤学力基準は一種より緩やか	②有利子(利率上限 年3.0%)※貸与総額に利息も併せて返還 ③貸与月額を選択できます(貸与開始後に月額の変更も可能)
奨学金の月額※1	学部生 自宅通学 自宅外通学 大学院生 修士・博士前期 修士後期・博士医	20,000円、30,000円、45,000円から選択 20,000円、30,000円、40,000円、51,000円から選択 50,000円、88,000円から選択 80,000円、122,000円から選択	2万円～12万円(1万円単位)から選択 5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択
貸与始期	学部生 4月から 大学院生 4月から	4月から 4月～9月の間で希望する月から	4月～9月の間で希望する月から
貸与方法	申込時に指定した金融機関口座へ毎月11日頃に振り込まれます		

※1: 第一種奨学金と給付型奨学金と一緒に受ける場合、第一種奨学金の貸与月額が制限されます。

入学時特別増額貸与

上記何れかの奨学金貸与を受ける新入生(編入者を含む)は、一定の条件を満たす場合に限り、希望により、奨学金の初回振込時に入学時特別増額(10万、20万、30万、40万、50万円から選択)(有利子)の貸与を受けることができます。

III 三重大学独自の奨学金

看護学生奨学金制度について

対象者：医学部看護学科(看護師等養成施設)に在学中の方で、免許取得後、本学医学部附属病院の看護師・助産師として勤務を希望する方(2年生以上)

貸与額：月額50,000円

貸付期間：貸与を決定された年度の4月から卒業する月まで

返還の免除：卒業後、看護師・助産師の免許を取得され、本院に採用となり、一定期間勤務されたときは奨学金の返還が免除

【問い合わせ先】TEL 059-231-5046
<https://www.hosp.mie-u.ac.jp/nurse/recruit/scholar/>

渡邊文二奨学金について

対象者：生物資源学部3年次の学生で経済的理由により、就学が困難である者
将来、三重県内で畜産、食品、水産および農業の事業に携わる見込みがある者

給付年額：480,000円

給付期間：2年間

返還の免除：本奨学金制度の特徴として返還の必要がなく、2年間にわたり給付されます。また、他の奨学団体から給付を受けている場合(応募している場合)でも応募できます。

【問い合わせ先】TEL 059-231-9673
E-mail bio-somu@ab.mie-u.ac.jp

IV その他の奨学金(地方公共団体や民間団体等の奨学金)

I～IIIの制度の他、地方公共団体や民間団体等の奨学金もあります。これらの奨学生募集は、大学を通して募集を行うものと、団体が直接募集するものがありますが、大学へ募集案内が届いたものについては、大学HPや掲示にてお知らせしています。募集時期は4～5月に集中しており、学業成績優秀で経済的に修学が困難な者を対象とした貸与型奨学金が多い状況です。申請を希望する学生は、修学支援センターにご相談ください。

また、大学に個別に募集案内が来ない奨学金もあり、出身地の教育委員会等が直接奨学生を募集しているものもあります。

大学間協定
締結校 72 校 (2024.4.1)
学部間協定
締結校 46 校 (2024.4.1)
留学生
36ヶ国・地域から 241 名 (2024.5.1)



学生海外チャレンジ応援事業

学生海外チャレンジ応援事業は、学業やキャリアの達成のため、世界に飛び出してチャレンジする学生を応援する三重大学

**2024年度
三重大学学生
海外チャレンジ応援事業
申請者募集!!**

学部生のみなさんの「海外チャレンジ」を応援する
三重大学独自の応援事業です。
学業の達成やキャリア形成のため、10日間以上海外に滞在するオーリジナルな実験を募集します。

独自の奨学金制度です。2023年度は30名の学生が採用され、米国、豪州、フィリピン、タイ、インドネシア、ドイツ等14か国・地域への渡航を実現させました。みなさんも三重大学から海外にチャレンジしませんか?

■留学先について
大学名:University of Tasmania(タスマニア大学)
場所:オーストラリアのタスマニア

■留学しようと思ったきっかけ
周りに英語を話せる人が多く、自分も英語力を身につけてより多くの人とコミュニケーション取れるようになりたいと思ったからです。また、当時は将来やりたい事も見つかっていなかったため、留学生活を自分自身と向き合おうきっかけにしたいと考えていました。

■留学先を選んだ理由
オーストラリアでは様々な国の人々が生活しており、大学にもインターナショナルの学生が多く、多様な文化や価値観に触れることができると思ったからです。また、自然豊かなタスマニアで、日頃することのできない自然に囲まれた暮らしをしてみたいと思ったからです。

■留学先で困ったこと
大学の授業で、グループワークや個人の意見を発表する機会が多く、日常の会話ではあまり使わない語彙や話し方を身につけることに苦労しました。また、寮で生活する中で、それぞれの「当たり前」が違うことも多く、コミュニケーションの大切さを痛感しました。

■留学を通じて学んだこと・経験したこと
声を上げると、思っている以上にそれを応援し、支えてくれる相手が現れるということです。どんなに拙い英語でも、話しかけると親切に話を聞いて助けてくれるということがよくありました。何事も恐れて行動を避けてしまうと、時機を逸して余計に不安が高まるばかりなので、ほんの少しの勇気が、後々自分を助けてくれるなど実感しました。

■三重大学と留学先の大学のギャップ
どの授業も、先生の話を聞くだけではなく、対話ベースであったことが私の感じた一番のギャップでした。先生が講義をしている最中にも次々に学生から手が上がり、発言をし、議論が始まるという場面が多くあったので、最初は驚きました。

■留学を考えている学生に一言
海外で観光や仕事をする機会は、卒業後も作れるかもしれません。それでも学生の身分として若いうちに興味のあることを学びに行けるのは、大学生の特権だと思います。限られた時間の中で、自分が楽しそうと思える道に進んでほしいなと思います。

国際交流センターは、三重大学の国際化の要となることを目指し、2005(平成17)年10月1日に留学生センターを改編し、学内共同教育研究施設として設置されました。外国人留学生のための日本語教育、日本人学生のための英語による国際教育の他、海外の学術交流協定校と連携して、学生の派遣・受入や国際共同研究を行っています。

Tri-U国際ジョイントセミナー&シンポジウム

Tri-U国際ジョイント&シンポジウムは、三重大学(日本)、チェンマイ大学(タイ)、江蘇大学(中国)、IPB大学(インドネシア)、広西大学(中国)、メージョー大学(タイ)の6大学が交代でホスト校を務め、毎年開催される研究論文発表を中心とした国際交流プログラムです。例年アジアの10数大学が集まり、英語での研究発表会やワークショップを行います。2023年度はメージョー大学で開催され、9名の教職員・学生が参加しました。2024年度は江蘇大学が主催となっています。



国立ワイカト大学 (ニュージーランド) 語学研修

本学協定校の国立ワイカト大学での英語研修及び異文化交流ができるプログラムです。教室で行われる授業より、街に出て様々な異文化交流を通して英語を学んでいきます。必ず現地の大学生が同行するので、常に英語の環境で過ごせるところが魅力的です。リアルな英語でのコミュニケーション力が身につきます。



タチ大学 (マレーシア) 英語研修

本学協定校のマレーシア・タチ大学での研修プログラムです。教室で行われる授業より、街に出て様々な異文化交流を通して英語を学んでいきます。必ず現地の大学生が同行するので、常に英語の環境で過ごせるところが魅力的です。リアルな英語でのコミュニケーション力が身につきます。



海外フィールドスタディ

海外フィールドスタディは、本学の協定校であるホーチミン市師範大学(ベトナム)または韓国の大学にて、現地の学生と共に、互いの文化や言葉について学び、興味を持ったテーマについてフィールド調査を行い、異文化について理解を深めるプログラムです。共通教育科目として単位が修得できます。



三重大学主催の海外研修プログラム

	プログラム名	研修場所	国名
全学対象	Tri-U国際ジョイントセミナー&シンポジウム(国際交流センター)	三重大学、チェンマイ大学、江蘇大学、IPB大学、広西大学、メージョー大学が交代で開催	日本、タイ、中国、インドネシア
	タチ大学英語研修(8月・3月)(国際交流センター)	タチ大学	マレーシア
	ワイカト大学語学研修(8月・3月)(国際交流センター)	国立ワイカト大学	ニュージーランド
	国際理解実践3/海外フィールド研修(全学共通教育センター)	ホーチミン市師範大学、啓明大学	ベトナム、韓国
	ドイツ文化研修(国際交流センター)	ハイデルベルク大学 他	ドイツ
	サウスカロライナ大学語学研修(国際交流センター)	サウスカロライナ大学	アメリカ
	中国文化研修(国際交流センター)	天津師範大学	中国
	濟州大学 韓国語・韓国文化研修(国際交流センター)	濟州大学	韓国
	国際理解実践1/海外研修(イギリス)(全学共通教育センター)	シェフィールド大学 英語教育センター	イギリス
各部局	海外教育実地研究(教育学部)	オーケランド大学教育・福祉学部、台湾の教育機関等	ニュージーランド、台湾
	海外臨床実習、早期海外体験実習 (医学部・医学系研究科)	医 学 科: シャルジャ大学、タマサート大学、フィリピン大学、ムビンピ大学、アムリタ大学、カーディフ大学、サンビア大学 等 看護学科: チェンマイ大学、フライブルク応用科学カトリック大学 等	医 学 科: アラブ首長国連邦、タイ、フィリピン、タンザニア、インド、イギリス、サンビア 他 看護学科: タイ、ドイツ 他
	海外短期インターンシップ(工学部・工学研究科)	海外の日本企業	タイ、フィリピン、ベトナム
	マレーシアトレングガ大学サマー・スクール(語学研修・農学・水産実習)(生物資源)	マレーシアトレングガ大学	マレーシア

※本学で提供しているプログラムです(一部未実施あり)。年度によりプログラム内容が異なることがあります。

キャリア支援（就職支援）

キャリア支援（就職支援）

万全のサポート体制で卒業後の進路選択をバックアップ

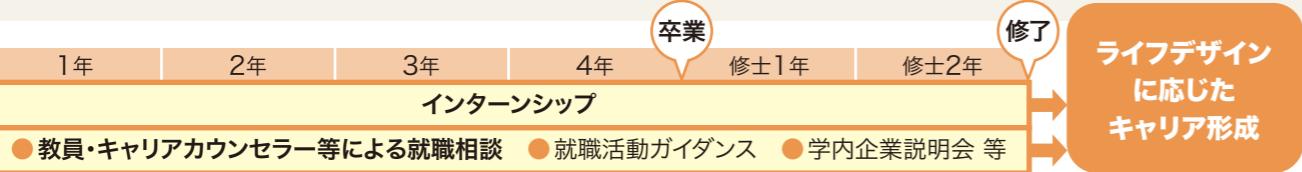
キャリアセンター

学生が低学年から主体的に進路が選択できるよう、全般的な立場から、キャリア教育、インターンシップ及び就職支援等を推進することを目的としてキャリアセンターが設置されています。

キャリア支援の三本柱

キャリア教育 インターンシップ 就職支援

キャリア支援策



キャリア教育

三重大学では、学生が人生のあり方を考え、それを将来の社会生活や職業生活に結び付けていくために、学生のキャリア形成並びに修学を支援する授業科目を開講しています。大学基礎科目の「キャリア教育入門」のほか、教養基礎(副専攻)科目の中にあるキャリア教育関連の科目を開講しており、指定された単位を履修し、研修を受けた学生には、学生支援や修学支援を行うための「キャリア・ピアサポート(CPS)資格」「スチューデント・アシスタント(SA)資格」を取得することができますので、1年の時から計画的に履修することをお勧めします。

○キャリア・ピアサポート(CPS)資格教育プログラム○

○スチューデント・アシスタント(SA)資格教育プログラム○

資格取得を通して社会人としての「実践力」を育成！

大学までの勉強では知識の獲得が最も重視されますが、実際に社会に出てみれば、知識量だけでなく、獲得した知識に基づいた実践のための応用力が求められるようになります。

しかしながら、こうした能力を身につけるためには、ただ漫然と授業を受けるだけではなく、学生時代に様々な取り組みに主体的に参加することで、経験を通して積み重ねていかなければなりません。

三重大学では、「生きる力」の養成や自身のキャリア形成につながる様々な授業科目を用意しています。

また、所定の科目を履修し、研修を受けた学生に対しては、「キャリア・ピアサポート(CPS)資格」、および「スチューデント・アシスタント(SA)資格」を認定します。

「キャリア・ピアサポート(CPS)資格」を取得した学生は、学生が同じ学生を横の関係で支援する「なんでも相談活動」や、各種修学(授業)支援、アカデミックフェアやキャリアイベントといった各種イベント企画、また「スチューデント・アシスタント(SA)資格」を取得した学生は、授業補助等で教員・学生のサポート役を担うなど、三重大学の活性化にもつながる様々な活動に参加してもらうことで、その力を発揮することができます。さらには、こうして学内の様々な現場を「職場」として体験することを通して、就職活動に不可欠な“対人関係能力”や“コミュニケーション能力”といった能力を身につけていくこともできるでしょう。

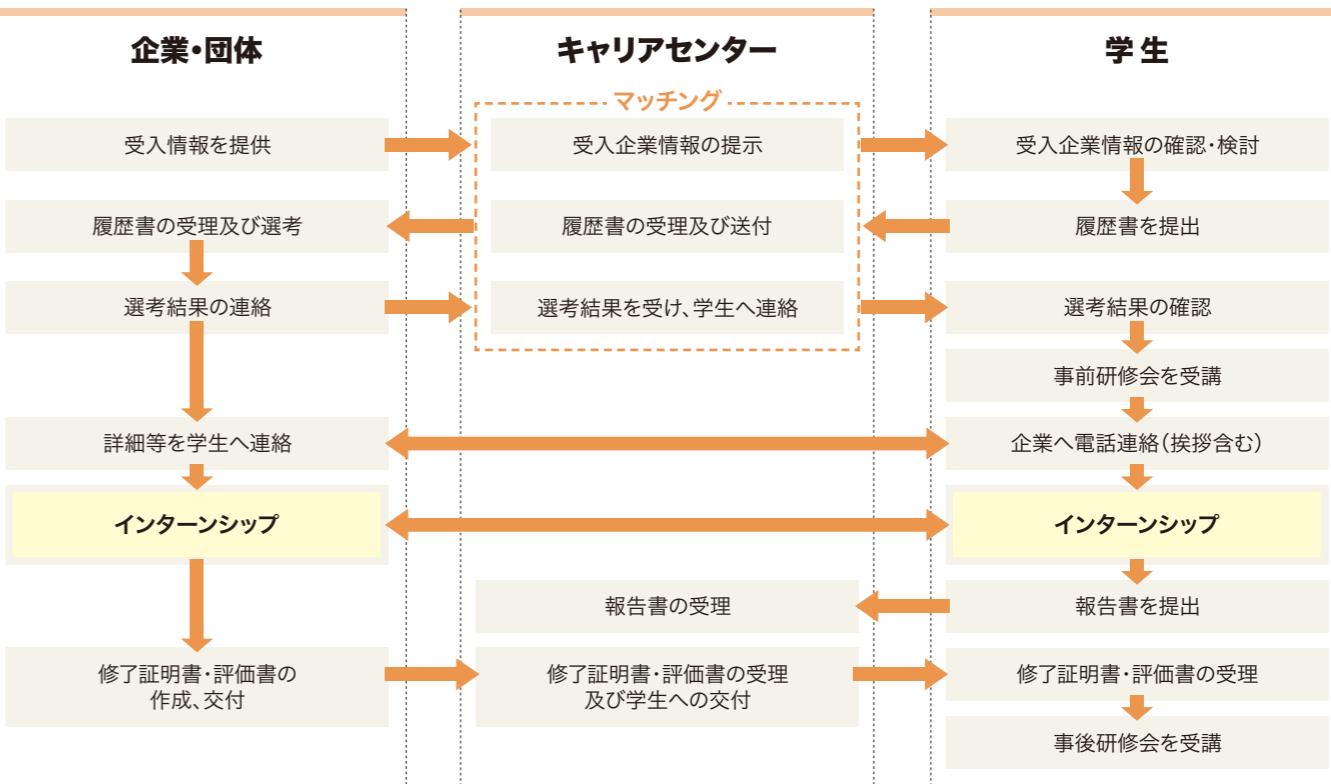


※これらの活動は、学内における様々なピアサポート団体によって行われている活動の一例です。

インターンシップ

三重大学では、地域や社会とのつながりを通して、行動する力を引き出す教育を推進するため、インターンシップを大学教育の一環として捉え、その参加を必須としています（「教育的インターンシップ」の卒業要件化）。大学での学びと社会組織での実習・経験を結び付けることで、学生の学修を深化させ、新たな学習意欲を喚起させるとともに、学生に自己の職業適性や将来設計について考える機会を提供します。

○インターンシップ実施の流れ（キャリアセンターを通じて参加するインターンシップ）



○インターンシップ受入企業・団体

あいおいニッセイ同和損害保険、アイ・シー・エス、愛知時計電機、アピ、アビームシステムズ、伊勢市役所、ISOWA、いなべ市役所、井村屋グループ、エステートケミカル、エスワイシステム、NTTデータ東海、大垣共立銀行、おしごと広場みえ、尾鷲物産、カリモク家具、九鬼産業、交洋、三交不動産、三十三銀行、JAあいち経済連、JA愛知信連、JA全農みえ、JA三重厚生連、JAPAN TESTING LABORATORIES、ジャパンマテリアル、食品分析開発センターSUNATEC、シンフォニアテクノロジー、住友電装、ZTV、ソフィックス、大同特殊鋼、太陽化学、竹本油脂、中外医薬生産、津市役所、デリカフーズ、デンソートリム、デンソーパワートレインテクノロジーズ、東京海上日動火災保険、東邦ガス、トーテックアメニティ、鳥羽市役所、トヨタシステムズ、豊田自動織機ITソリューションズ、トヨタモビリティパーク、名古屋港管理組合、西垣林業、日本トランシスティ、林テレンブ、万協製薬、光機械製作所、百五銀行、マスヤ、松阪市役所、松阪電子計算センター、三重県環境保全事業団、三重県警察、三重県総合文化センター、三重県庁、ミエデン、三重労働局、三井住友海上火災保険、ミルボン、名南コンサルティングネットワーク、メディカル光グループ、八神製作所、安永、ヤマザキマザック、ヤマモリ、四日市合成、ライフ・テクノサービス など



就職支援

キャリアセンターでは就職相談・就職情報の提供・就職ガイダンスを3つの柱として、学生の自立的な就職活動を支援しています。

キャリアセンターホームページ <https://www.mie-u.ac.jp/life/career/>

就職相談コーナー

キャリアカウンセラーが個別に進路・就職相談に応じます。



- 就職するか進学するか迷っている。
- 学部卒と院卒、どちらがいいのか。
- 公務員か民間企業に就職するか、悩んでいる。
- やりたい仕事がなく、応募企業が見つからない。
- 自己分析をしていて、自分に自信がなくなった。
- エントリーシートに記載するような自己PRがみづからない。
- エントリーシートの添削をしてほしい。
- 個別面接対策を指導して欲しい。
- 人前で話すのが苦手。模擬面接をしてほしい。

就職情報コーナー（総合研究棟II 1階）

就職およびインターンシップ等に関する情報を提供します。

- 就活参考書(公務員試験過去問、SPI・面接対策本 等)の貸出
- 企業情報の公開



就職ガイダンス等

本学では主に3年生、修士1年生対象の就職ガイダンスを開催しています。

少人数制のミニ講座も開催し、模擬面接を行っています。

年間計画 就職ガイダンス(予定)

実施月	ガイダンス	
	内容	担当者
4月	前期スタートアップガイダンス(就職活動スケジュール・準備について概要) 就活手帳配布	Pick up!
	理系学生対策講座	
5月	自己分析対策講座(SPI性格検査)	
	インターンシップに向けた業界研究講座	
	インターンシップ学内企業説明会	
6月	筆記試験対策講座	
	エントリーシート対策(自己PR・志望動機)	
7月	インターンシップの活躍講座	
	学生関係者対象 就職活動説明会	
	1・2年生向けキャリアガイダンス	
	就活裏話～採用活動のリアルな今～ 文系版・理系版	
	後期スタートアップガイダンス+企業・業界研究(今後の就職活動スケジュール・準備 等)	
10月	面接対策講座	
12月	就職活動直近ガイダンス(選べるガイダンス)	
1月	業界研究セミナー・公務員業務説明会・学内企業研究会	



三重大学卒業者の就職状況（令和5年度）

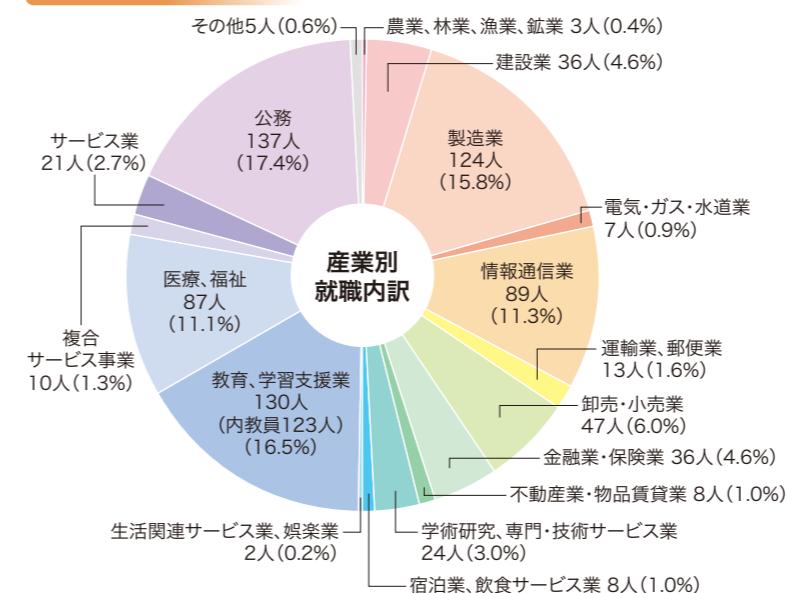
令和6年5月1日現在

区分	学部	人文学部	教育学部	医学部		工学部	生物資源学部	合計
				医学科	看護学科			
		卒業者数	272(137)	194(128)	133(36)	78(73)	393(62)	259(114)
卒業者内訳	就職者数	239(122)	175(122)			77(73)	149(23)	147(76)
	進学者数	14(8)	11(1)			0(0)	238(39)	104(36)
	臨床研修医			127(35)				127(35)
	その他	19(7)	8(5)	6(1)	0(0)	6(0)	8(2)	48(15)
	計	272(137)	194(128)	133(36)	78(73)	393(62)	259(114)	1,329(550)
就職者の産業別内訳	農業、林業、漁業、鉱業	0(0)	0(0)			0(0)	0(0)	3(3)
	建設業	4(3)	1(1)			0(0)	23(6)	8(4)
	製造業	32(18)	3(2)			0(0)	53(8)	36(25)
	電気・ガス・水道業	3(2)	0(0)			0(0)	3(1)	1(0)
	情報通信業	37(15)	10(4)			0(0)	33(3)	9(3)
	運輸業、郵便業	8(4)	1(1)			0(0)	0(0)	4(2)
	卸売・小売業	23(12)	4(2)			0(0)	3(0)	17(11)
	金融業・保険業	28(12)	4(4)			0(0)	1(0)	3(2)
	不動産業・物品販賣業	6(4)	2(1)			0(0)	0(0)	0(0)
	学術研究、専門・技術サービス業	10(7)	4(4)			0(0)	4(1)	6(2)
	宿泊業、飲食サービス業	3(2)	1(0)			0(0)	0(0)	4(2)
	生活関連サービス業、娯楽業	2(1)	0(0)			0(0)	0(0)	2(1)
	教育、学習支援業	4(0)	117(80)			0(0)	2(0)	130(80)
	(内、教員数)	4(0)	113(77)			0(0)	2(0)	123(77)
	医療・福祉	4(4)	9(12)			73(69)	1(0)	0(0)
	複合サービス事業	7(3)	0(0)			0(0)	1(1)	2(0)
	サービス業	6(4)	1(0)			0(0)	10(1)	4(3)
	公務	62(31)	17(13)			4(4)	11(2)	43(19)
	その他	0(0)	1(1)			0(0)	4(0)	0(0)
	計	239(122)	175(125)	0(0)	77(73)	149(23)	147(76)	787(419)
就職先地域	三重県	55(26)	107(82)			46(44)	29(8)	28(14)
	愛知県	86(41)	38(20)			19(18)	47(6)	35(18)
	東海地方(静岡県・岐阜県)	7(4)	5(3)			0(0)	7(2)	8(3)
	関東地方	62(32)	14(9)			3(3)	42(6)	48(26)
	近畿地方	19(11)	7(4)			7(7)	16(1)	20(10)
	その他	10(8)	4(4)			2(1)	8(0)	8(5)
	計	239(122)	175(122)	0(0)	77(73)	149(23)	147(76)	787(416)
	就職率	98.8%	98.3%			100%	98.7%	98.7%

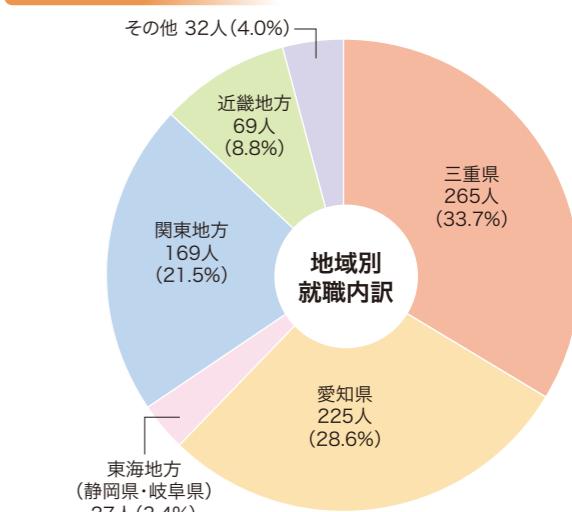
※()内は女子を内数で示す。※就職率とは、就職希望者に占める就職者の割合。

産業別・地域別就職状況(学部全体) (令和5年度)

産業別就職状況



地域別就職状況

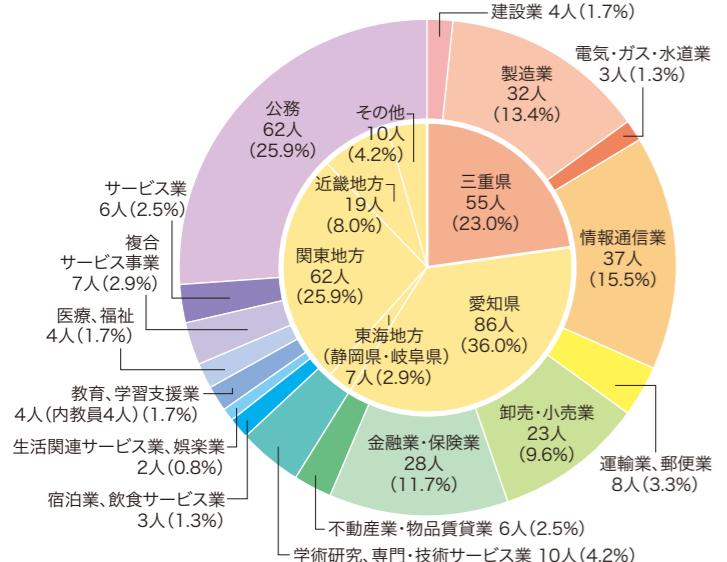


OB・OG紹介

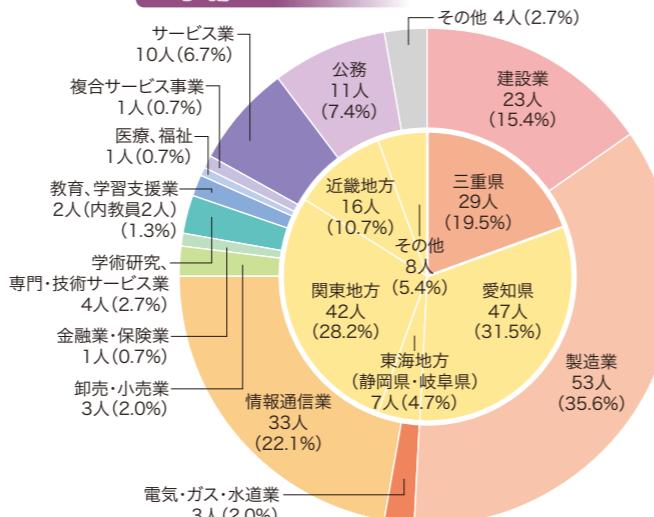
学部別就職状況（令和5年度）

有能な人材を多様な分野に輩出！

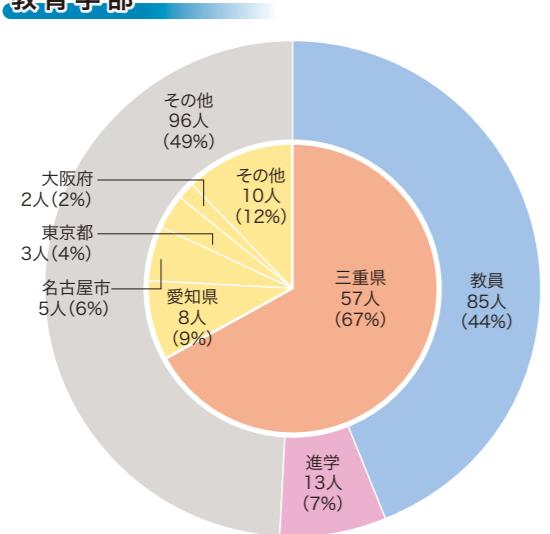
人文学部



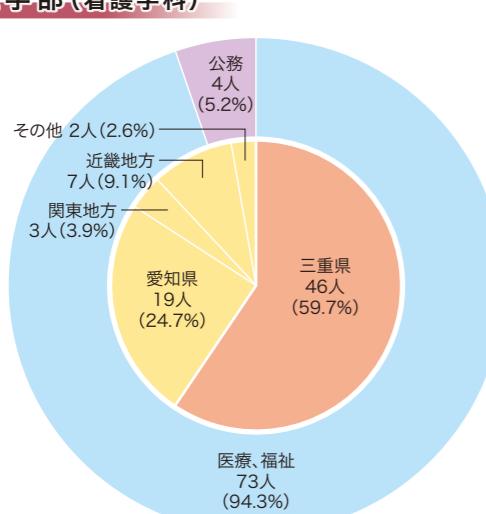
工学部



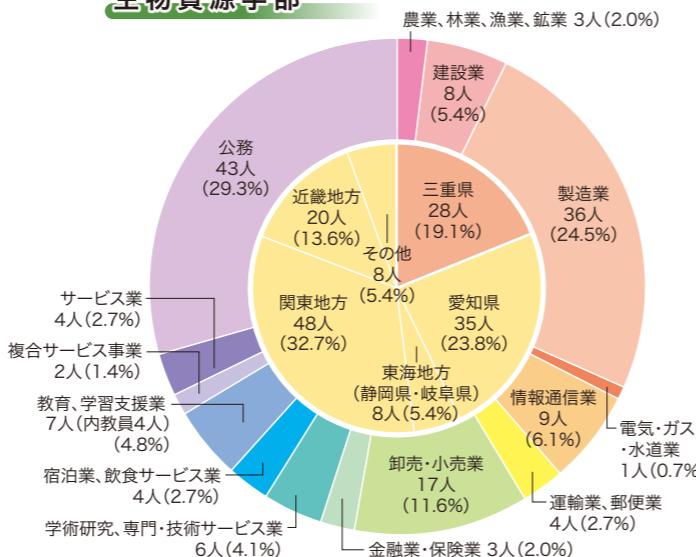
教育学部



医学部(看護学科)



生物資源学部



都道府県別就職状況（令和5年度）



人文学部 法律経済学科(現代経済コース)

三重県庁 勤務 岡本 守永さん 2020年卒業

Q1. 入庁の動機は？

ありきたりな理由ですが、生まれ育った三重県に貢献したいという想いから、三重県職員を志しました。異動を繰り返す中で様々な部署を経験して、幅広く活躍できるオールラウンダーな職員になりたいと考えていました。

Q2. 現在のお仕事は？

入庁して2年間は観光魅力創造課という部署で、三重県内の観光地を飛び回って観光事業者の方と三重県の観光をどう盛り上げていくか一緒に考えっていました。現在は鈴鹿保健所の健康増進課という部署で、感染症の対策や啓発を行っています。コロナ禍では、罹患された方のフォローや何万もの患者のデータ管理に取り組んでいました。

Q3. 仕事のやりがいは？

若手の自分にも大きな仕事を任せてもらえるので、裁量が大きく自分の力が試せるところにやりがいを感じます。また、仕事の中でたくさんの人や企業と関わっていくことで、県民の声を直接聞くことができます。声の中にはポジティブなものもあれば、もちろんネガティブなものもありますが、そのようなリアルな声を仕事に反映させられるのはやりがいに繋がっています。

Q4. これからの目標は？

異動を繰り返す中で様々な部署を経験して、三重県にある課題に力強く取り組める、色々な分野で活躍できる最強の三重県職員になって、より良い三重県を創っていきたいです。

Q5. 学生時代に熱中したことは？

色々なことにチャレンジしてみたいという想いから、部活動や地域活動など様々な活動に参加していました。中でも、三重創生ファンタジスタクラブという部活動で、三重県内の様々な地域で地元の方と交流したり企業に取材したりした経験は、三重県職員を志すキッカケになりましたし、仕事の中でも活かされています。



教育学部 学校教育教員養成課程 理科教育コース

三重大学教育学部附属小学校 教諭 前田 昌志さん 2014年卒業

Q1. 教員を目指したきっかけは？

子どものころからピアノと英語を習い、中・高時代は運動部に打ち込んでいました。高校の時は、理系科目に興味がある一方、文系科目的ほうが得意で進路に迷っていました。その内で、幅広い興味や知識が生かせる「小学校教師」になれば、自分自身がこれまで身に付けてきたものを最大限発揮できるのではないかと思い、この仕事を目指しました。

Q2. 現在のお仕事は？

松阪市の公立学校で3年間勤務した後、人事交流で附属小学校に異動し8年目となります。①教育の理論・実際にに関する研究及びその実証、②地域教育の改善・進歩への寄与、③学生の教育実習という附属学校の使命を果たすべく、日々の業務をこなしています。また、今年度は6年生を担任しています。

Q3. 仕事のやりがいは？

日々の授業がとても楽しいです。子どもの知的好奇心がぐくぐくられ、学びの世界に没頭できるような授業を考えます。そして授業を考えていると、自分自身が知らないこと、分からないことがたくさん出てきます。子どもとともに学び続けることができるため、世の中の見え方が変わり、自分の人生が豊かになっていく気がします。

Q4. これからの目標は？

若さの勢いでがむしゃらに働く!という思いが、家族ができるまで変わりました。これからは全ての人が働きやすい、魅力的な学校現場をつくるいくことが目標です。そのためには、まずは自分がワークライフバランスのとれた、持続可能な働き方を周りに示していくことです。子どもたちも、疲れている先生より、元気な先生のほうが嬉しいですからね!

Q5. 学生時代に熱中したことは？

教育学部の屋上で、地域に開かれた「星空観望会」を企画してスタートさせました。SNSで情報発信をしたり、異分野とコラボレーションをしたりして、新しいことをどんどん進めました。アイデアを形にするのがとても楽しかったです。伸び伸びとやりたいことを実現させてくれた大学の先生方には感謝してもしきません。



医学部 医学科
三重大学医学部附属病院 リハビリテーション科 加藤 佑基 さん 2020年卒業

Q1. 医師を目指したきっかけは?
小学6年生の時に地方の医師不足に関する新聞記事がきっかけだったかもしれません。三重県出身で将来も三重に残って働くといいなと考えていた記憶があります。

Q2. 現在のお仕事は?
初期研修終了後、三重大学病院リハビリテーション科でリハビリ医療について学んでいます。障害を持つ患者さんが望む生活を送ることができるよう職場の方々と協力しています。

Q3. 仕事のやりがいは?
リハビリを頑張ってくださる患者さんに寄り添って助けになれた時にやりがいを感じます。また、未来の医学、医療体制に貢献するための研究にも強いやりがいを感じます。

Q4. これからの目標は?
まだまだ勉強中の身なので、日々知識、技術を身に着けてより患者さんのためになる医者になることです。

受験生に一言
受験生時代はしんどいことも多かったですが、終わってしまえばすべていい思い出になりました。今の努力は必ず将来の役に立つと思いますので体調を崩さない範囲で頑張ってみてください。



大学院工学研究科 情報工学専攻
Roland株式会社 第3事業本部 Wind Synthesizer開発部 向井 洋平 さん 2020年修了

Q1. 入社の動機は?
他とは違う面白い製品を作る、という点にワクワクする魅力を感じ、入社を志望しました。完成品メーカーであるためユーザーに近いところで仕事ができ、企画から開発まで幅広いプロセスに携われて、規模が大きすぎずやりたいことに挑戦でき、そして何より趣味の音楽活動でずっと愛用していた楽器メーカーで働ける!という点が最大の決め手となりました。

Q2. 現在のお仕事は?
電子管楽器(ウインドシンセサイザー)の製品開発を行っています。具体的にはソフトウェア担当として製品のファームウェアを開発したり、製品と繋がるiOS・Android用アプリを開発したり、新機能の企画検討業務をしたりしています。ウインドシンセという楽器は弊社でもまだ新しい分野です。いい製品を作るだけでなく、どうすればお客様に届くのか、を考えるのが大事だと思っています。

Q3. 仕事のやりがいは?
自分の楽器をプロのミュージシャンが使っているのを見た時は本当にやりがいを感じました。自分のアイデアを世界中の方に届けられて、またその反応を見る事ができるというのは、この仕事ならではのことだと思います。

Q4. これからの目標は?
主力となる新製品を企画・開発するのが目標です。ニーズを読んで新製品を企画し、自分の製品を世界中に自慢できたら、最高だと思います。技術先行になりすぎず、ユーザー目線で欲しいと思えるような製品を開発するべく、常にアンテナを張って取り組んでいきます。

受験生に一言
大学では本当に色々な経験ができます。自分の興味を掘り下げるのも、また全く知らないかった価値観に触れるともできます。受験勉強は大変なことも多いと思いますが、それを乗り越えるだけの価値があると思います。せっかくなのでこの期間を楽しみつつ、自信を持ってやっちゃいましょう!応援しています。



医学部 看護学科
三重大学医学部附属病院 看護師 岡本 直也 さん 2019年卒業

Q1. 看護師を目指したきっかけは?
高校時代に将来のことを考えたとき、もともと身体の健康について興味があったため看護師であれば医療について学びつつ患者さんと身近に接することができると思い、看護師を目指し始めました。

Q2. 現在のお仕事は?
大学卒業後は3年ほど心臓血管外科・呼吸器外科内科病棟にて看護師としてはたらかせていただき、今年からは手術室看護師として手術に関わっています。

Q3. 仕事のやりがいは?
患者さんから笑顔と感謝の言葉をいただいた時が一番やりがいを感じる瞬間です。また、現在は手術室看護師として医師や臨床工学技士などの他職種とともに、一つ一つの手術を安全に進行させることにもやりがいを感じています。

Q4. これからの目標は?
今年度から勤務部署が変わったこともあります。まずは現在の環境にて学びを深めて、より良い手術看護を患者さんに提供できるようになりたいです。

受験生に一言
たくさんのことを学び、たくさんの仲間とも出会え、私は三重大学に入って本当に良かったと思っています。大学受験はとても大変だとは思いますが、受験生の皆さんも体調には気を付けて、合格に向けて頑張ってください。



大学院生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻
愛知県水産試験場内水面漁業研究所 弥富指導所 湯口 真実 さん 2022年修了

Q1. 入社動機は?
学生時代に行った調査における漁業者とのやりとりを通じて、水産業が抱える様々な課題をより身近に感じ、これらの課題解決に取り組むという業務内容に興味を持ち、試験を受けました。

Q2. 現在のお仕事は?
観賞魚の魚病担当として、養殖魚の魚病診断を行っています。また、国内初となる水産用生ワクチンの実用化に向けて、利用のガイドラインの策定をするため、キンギョのヘルペスウイルス性造血器壊死症を対象として、大学、企業、他県水試と共同研究を行っています。

Q3. 仕事のやりがいは?
新たな疾病予防策の提案により、養殖業の疾病防除の分野において、今後飛躍的な発展が見込まれ、この重要かつ長期にわたるプロジェクトの一端に携わっていることにやりがいを感じています。また、これまでに得た知識や経験に基づき、魚病診断を行い、対策を提案することができたときにもやりがいを感じます。

Q4. これからの目標は?
試験結果を論文等で発表し、ガイドライン策定の根拠を積み重ねていくことです。また、漁業者や養殖業者の困りごとにすぐに対応し、頼りにされる技術者となれるよう、常に知識、技術や情報を更新し続けたいと思います。

Q5. 学生時代に熱中したことは?
大学では自分の興味のある講義がたくさんあり、手当たり次第に履修して受講していました。最初はそれぞれの講義内容は点と点でしたが、得た知識が増えるにつれて体系立ったものとなり、自分で考えられる力がついたと思います。また、勉強と同じくらい趣味の音楽や旅行にも力を注ぎました。

受験生に一言
大学に入ると選択肢が広がり、視界が開けた気分になると思います。いろんなことに興味を持って積極的に身を投じ、想像していたよりもずっと面白いこと、楽しいことにたくさん出会ってください。また、私は一度学部を卒業して就職した後に社会人修士として大学院に入りました。仕事を経験してから学び直すことで、知識の習得の際により解像度が高くなったと思います。多様な背景を持つ学生が増えることで互いによい刺激になると思いました。受験生の皆さんを応援しています!

環境・情報科学館 Mie Environmental & Informational Platform



1階 環境情報の発信拠点



ジオラマ展示(トリムトレイル)

企画・展示機能

1階ホールは、環境や教育・研究活動に関する情報発信、地域コミュニティとの交流プラットホームとして、シンポジウム、展示会、講演会、会議などさまざまな用途に利用いただけます。また、トリムトレイル(Trim:利用者の体調を整える、Trail:みどり豊かな遊歩道)をキャンパス内に整備しており、コースのジオラマを展示しています。構内に点在する史跡や文化遺産、豊かな自然などのみどころを案内しています。



マルチディスプレイ(1Fホール)

2階 ラーニングコモンズ



光精工 ラーニングコモンズ

能動的学習支援機能

利用者間の情報共有や新しい発想を促すために、可動式の椅子やテーブル、液晶ディスプレイを備えています。また、よりプライベート感をもって課題探究活動ができるグループ学習室もあります。

3階 授業やゼミのための新しい教室空間



PBL演習室、ティーチングコモンズ

人材育成機能

廊下側の壁がないオープン・スクール形式の教室空間では、それぞれのプライバシーを確保しながら、お互いの気配を感じることによって、刺激しあえる空間となっています。可動式の椅子やテーブルを備えていますので、多様な教育方法に対応できます。



屋上ウッドデッキ

環境・情報科学館は、環境学習の充実や双方向的な学習・教育研究を図ることを目的とした建物で、MEIPL館(Mie Environmental & Informational Platform)の愛称で親しまれています。

隣接する図書館とは2階の連絡通路でつながっており、アカデミックコモンズの一角として、学生による新しい知の創出と共有の場となることを想定しています。

環境への配慮として、建物には太陽光パネルや屋上緑化、LED照明、CO₂センサーなど、自然光の活用やエネルギー削減するさまざまな工夫や環境配慮技術が施されています。また、1階ホールの壁画には、三重大学演習林の間伐材が再利用されており、木の香りを楽しむことができます。

附属図書館



キャンパスの中央に位置する図書館は、延べ面積8,276m²、閲覧座席数741席を備え、約95万冊の図書を所蔵しています。

1階は、利用者自身が必要に応じ学習空間をデザインし、学生同士で相談したり、ディスカッションをしたりしながら学習することができるラーニングコモンズというグループ学習のエリアです。また、各種新聞を閲覧できる新聞コーナー、DVDなどを鑑賞できる視聴覚コーナーがあります。

2階は、学習用の図書や辞書・辞典があるエリアがあり、大学院生と学部最終学年の学生には研究用個室もあります。

3階は、静かに利用するエリアです。静謐な学習空間となっています。

図書館における情報リテラシー教育について

図書館では、皆さんの学部あるいは大学院での学習・研究活動を支援するために、資料の収集や情報サービスの充実に努めています。なかでも、コンピューターとネットワークによる学術的情報の収集発信(読み書き)能力を主とした情報リテラシーの育成を支援する活動に力をいれています。

図書館利用ガイド

- 図書館ツアー
- 書庫利用ガイド



情報検索講習会

- 藏書検索入門
- 国内文献検索講習会
- 海外文献検索講習会



その他

- 授業内容に関連した講習会など

開館時間

- ◎ 平日(月～金) 8:30～20:00
- ◎ 土・日・祝日 11:00～18:30
- ◎ 春・夏・冬季休業期(月～金) 8:45～17:00

休館日

- ◎ 入学試験日(一般選抜)、年末年始(12月28日から1月4日)
- ◎ 夏季一斉休業日、春・夏・冬季休業中の土・日・祝日
- ◎ メンテナンスに必要な日

図書館利用に関するお問い合わせ

- ◎ 図書館チームサービス担当
TEL:059-231-9088 (平日 9:00～17:00)
E-mail:lib-service@ab.mie-u.ac.jp

情報基盤センター

<https://www.cc.mie-u.ac.jp/>



情報基盤センターは、情報システム管理運用を行い大学における情報基盤システムの構築並びに維持発展のため戦略策定を行っています。学内にWi-Fi環境を整備し、ノートパソコンを持ち込んで大学のネットワークに接続することができるようになっています。さらにVPN環境を構築することで、安全に学外からリモートで教育・研究活動を行える環境を提供しています。研究用ソフトウェア、教育用プリンタ、WordPressサービスなど、便利なサービスも展開しています。また、DSセミナーにて、最先端の情報技術やデータサイエンス・DXなどの話題に触れる機会を設けています。さらに、PCのお悩み相談窓口のサポートデスクを設けております。

教育推進・学生支援機構



全学共通教育センター

三重大学のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、全学共通教育に係る理念やカリキュラム構成に関する事項について再定義し、社会に求められる人材育成のため、本学の全学共通教育を展開することを目的としています。

大学院部門

三重大学が掲げる大学院教育の目標に向けた取り組みを検討し、実施するとともに、大学院学生の修学支援を行い、大学院教育の充実に資することを目的としています。

アドミッションセンター

三重大学が定めるアドミッション・ポリシーに基づき、高校教育及び大学教育の連続性と一貫性に立つ高大接続を推進するとともに、多面的かつ総合的な評価で構成する入学者選抜方法の開発及び実現を通して、地域に貢献する人材の育成に寄与することを目的としています。

地域創造教育センター

三重大学が取り組む地域共創活動のために、幅広い分野で地域社会を牽引する地域創造マインドを持つ人材を育成するとともに、地域社会の持続的発展に寄与することを目的としています。

学生支援・キャリアセンター



<https://www.hedp.mie-u.ac.jp/>

教育推進・学生支援機構は、各部局等と連携・協働し、三重大学が掲げる教育目標の達成に向けた教育諸活動の創造、開発等を推進するとともに、学生の修学、就職、生活環境等への総合的な支援体制を構築・整備し、教育及び学生支援に係る質的向上を図り、質を保証するために必要な取り組みを行うことを目的としています。

資格プログラム部門

三重大学において開設する教職課程(教育学部における教職課程を除く。)及び学芸員養成課程等資格に係る事項について、プログラムの拡充及び質保証に係る必要な措置を講ずることを目的としています。

教育企画部門

三重大学が掲げる教育目標に向けた全学的な取り組みの企画・立案及び実施をするとともに、質の保証に資する教育諸活動の充実及び改善を図ることを目的としています。

学生支援・キャリアセンター

三重大学における学生支援の基本方針、三重大学キャリア教育方針及び三重大学における障害のある学生の支援に関する基本方針に基づき、三重大学の学生の修学、キャリア教育、就職及び生活等への総合的な支援体制を整備するとともに、学生支援の質保証に向けた取り組みの推進を行うことにより、充実した学生生活の実現を図ることを目的としています。

リカレント教育センター

社会人、企業等が要望するリカレント教育プログラムを提供し、地域社会における人材育成に寄与することを目的としています。

<https://www.mie-u.ac.jp/life/>

みえの未来図共創機構



<https://www.mrpco.mie-u.ac.jp>

みえの未来図共創機構は、新たな成果の創出を目指した4つの施設等(地域共創展開センター、地域圏防災・減災研究センター、感染症みらい社会教育研究センター、博学連携推進室)で構成され、三重大学が地域社会とともに発展を目指す地域共創大学として、地域で展開する実践力豊かな人材の育成や研究成果の価値向上を図るとともに、社会の発展に資する諸活動を支援しています。

研究基盤推進機構



研究基盤推進機構は、先端科学研究支援センター、半導体・デジタル未来創造センター、鯨類研究センター、国際忍者研究センター、神事・産業・医療用大麻研究センター、戦略的リサーチコアで構成され、共同利用機器を活用した研究開発や人材育成の支援を行い、分野横断的・独創的な先端研究等を推進する組織として、三重大学の研究活動を支えています。

国際交流センター →P69.70



<https://www.mie-u.ac.jp/international>

国際交流センターは、三重大学の国際化の要となることを目指し、2005年10月1日に留学生センターを改編し、学内共同教育研究施設として設置されました。現在33か国・地域、111大学・機関と学術交流協定を締結し、学生の派遣・受入を行っています。

また外国人留学生のための日本語教育、英語等による国際教育、国際キャリアアッププログラムなどを実施しています。

地域拠点サテライト

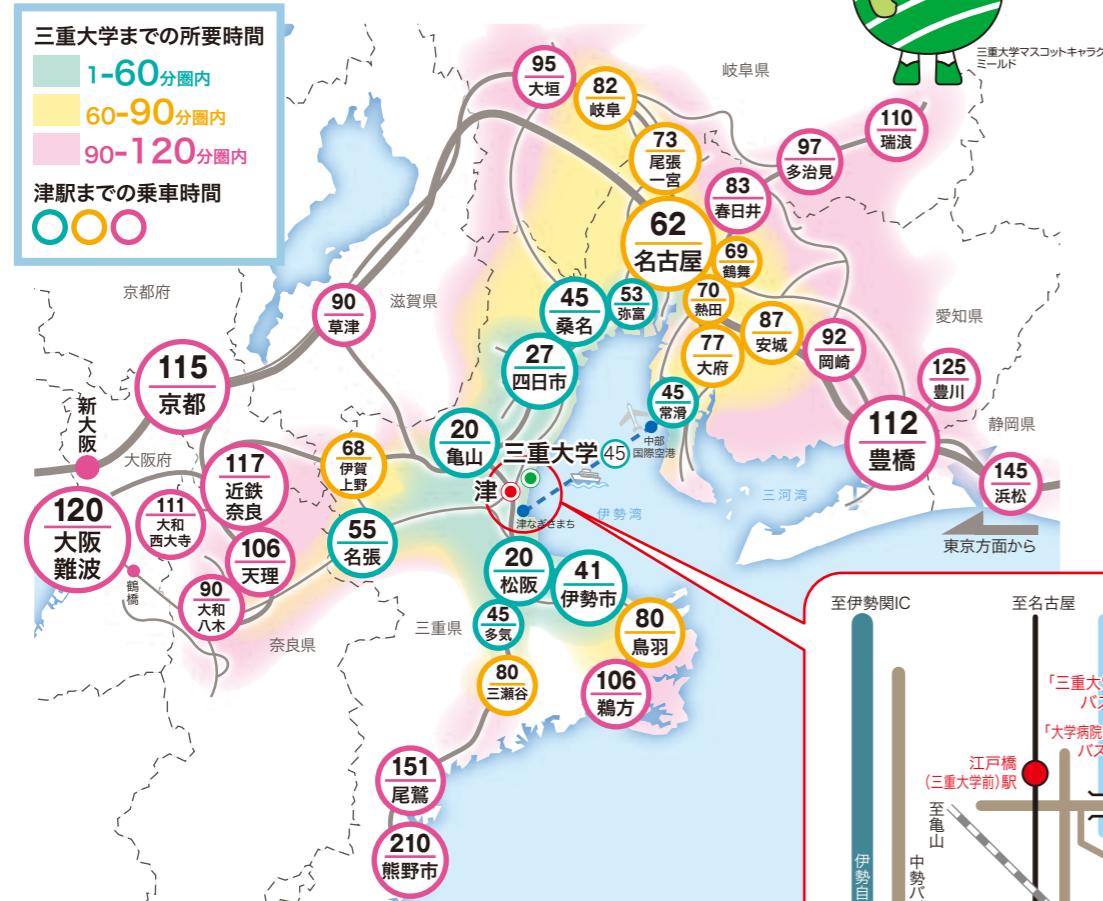


<https://www.rscn.mie-u.ac.jp>

地域拠点サテライトは、三重県全域を三重大学の教育研究活動の「場(フィールド)」とし、「特色ある各地域の資源」・「学生たちの若き力」・「大学の教育研究力」をもって、地域と大学が一体となって地域に秘められた可能性を発掘することで、地域・大学相互の発展を目指します。自治体・教育機関等との連携および協力をもとに、5つの地域サテライト(北勢サテライト、伊賀サテライト、松阪多気サテライト、伊勢志摩サテライト、東紀州サテライト)を設置し、教員や学生がフィールドワーク等の実践的な教育研究活動を行っています。



三重大学へのアクセス



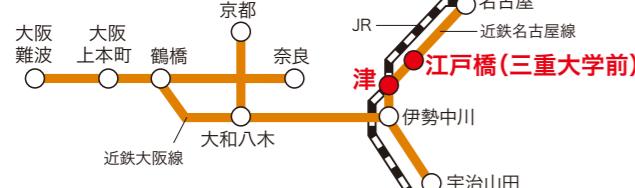
交通案内

東京方面から

JR「新幹線のぞみ」で

東京より JR東京駅 約100分 JR名古屋駅 JR名古屋駅からはJR、近鉄とも利用出来ます。

名古屋、大阪、京都方面から



近鉄電車「急行」で



インターネット出願のご案内

令和7年度(令和6年度実施)の**一般選抜**(前期・後期日程)、**特別選抜**(学校推薦型選抜、社会人特別選抜、帰国生徒特別選抜、私費外国人留学生特別選抜)は**インターネット出願**となります。

ネット出願の手順



各選抜の学生募集要項は配布しませんので、三重大学入試情報ウェブサイトよりダウンロードをお願いします。

- 学校推薦型選抜 8月下旬公表予定
- 一般選抜 11月中旬公表予定

<https://www.mie-u.ac.jp/exam/faculty/guidelines/>

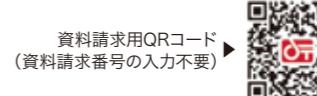


入学者選抜要項・学部案内の入手方法

インターネット(パソコン、スマート・携帯電話)で請求する場合

テレメールを利用

① テレメールのサイトにアクセスしてください。



資料請求用QRコード
(資料請求番号の入力不要)

② ご希望の資料の資料請求番号を入力してください。

資料名	資料請求番号
三重大学案内	564380
入学者選抜要項	584380
三重大学案内と入学者選抜要項	564350
一般選抜募集要項	584350
人文学部案内	584370
工学部案内	544390
生物資源学部案内	564570
生物資源学部 教員紹介パンフレット	707080

スマートフォンでテレメールQRコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。

※医学部医学科案内は、三重大学入試情報ウェブサイトから閲覧またはダウンロードしてください。

三重大学ウェブサイト「入試情報」: <https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>

※教育学部案内は、三重大学案内に含まれています。

③ ガイダンスに従ってお届け先等を登録してください。テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。

- 資料請求終了時および受付確認メール内に表示される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。
- 随時発送の資料が1週間以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。予約受付の資料が発送開始日を1週間過ぎても届かない場合、資料の完成遅れや在庫不足等の理由により発送開始日が変更になっていることがあります。なお、土曜・日曜・祝日の配達は通常ありませんので、お急ぎでない場合は翌配達日のお届けを確認した上で、お問い合わせください。
- 資料の料金は、お届けする資料に同封の支払い方法をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。
- 料金のお支払い方法は「コンビニ支払い」「スマートアプリの請求書支払い」「au PAY 請求書支払い」「携帯キャリア支払い」「PayPay」「クレジットカード支払い」がご利用になります。コンビニ支払いとスマートアプリの請求書支払いは支払い手数料118円が、携帯キャリア支払い、PayPayとクレジットカード支払いはテレメールお支払いサイト利用料30円が、支払い時に別途必要です。

請求方法についてのお問い合わせ先

モバっちょを利用

① 下記の方法でモバっちょにアクセスしてください。



インターネット
●パソコン
●スマート
●携帯電話

<https://djc-mb.jp/mie-u2/>

※パソコン、携帯電話とも共通アドレスです。
※携帯電話なら、ケータイ用バーコードを読み取るだけでアクセスできます。



② 以降はガイダンスに従ってください。

●受付から2~5日程度で発送されます。ただし、発送開始日までのご請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送します。

請求方法についてのお問い合わせ先

モバっちょカスタマーセンター
TEL 050-3540-5005
(平日10:00~18:00)

テレメールカスタマーセンター
TEL 050-8601-0102
(9:30~18:00)

周辺交通案内

江戸橋(三重大学前)駅から

徒歩約15分

津駅から

1.バスで約15分

三重交通バス津駅東口「4番」のりばより「白塚駅」(06系統)、「三重病院」(51系統)、「椋本(むくもと)」(52系統)、「豊が丘」(52系統)、「サイエンシティ」(52系統)、「東豊野」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きに乗り、「三重大学前」下車。
(附属病院、医学部、工学部へは「大学病院前」下車)

2.タクシーで約10分

中部国際空港(セントレア)から

津エアポートライン(船)で津なぎさまちへ45分

- 1.「津なぎさまち」から三重交通バスで「津駅前」まで約15分
- 2.「津なぎさまち」からタクシーで三重大学まで約15分

本学の最新情報等はこちらをご覧ください

<https://www.mie-u.ac.jp>

